

平成 19 年度
神奈川区区民意識調査
報 告 書

発行 平成20年1月

横浜市神奈川区役所

神奈川県神奈川区区民意識調査報告書

平成20年1月

発行：神奈川県神奈川区役所 区政推進課
〒221-0824
横浜市神奈川区広台太田町3-8
電話 045(411)7026
Fax 045(314)8890
◆調査実施機関：株式会社 地域環境計画

神奈川県 区民意識調査

目 次

調査概要.....	2
I. 回答者の属性.....	3
II. 集計分析結果.....	9
1. 普段の生活について.....	9
2. 地域での生活について.....	60
3. 健康・食生活について.....	77
4. 身の回りの情報について.....	93
5. 横浜市や神奈川区の取組について.....	109

【注】 図（グラフ）の中で使用しているアルファベットの意味は、次のとおりである。

MA：複数回答（マルチアンサー）の設問

n：その設問に対する回答者数

神奈川県 区民意識調査

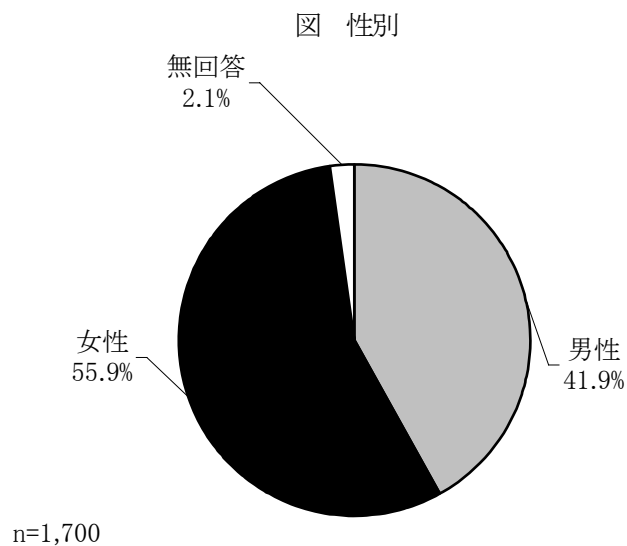
調査概要

- ◆調査対象
 - 調査対象数 神奈川県に在住する 20 歳以上の区民 3,000 人
(住民基本台帳、外国人登録原票から無作為抽出)
 - 回収数 1,700 件
 - 回収率 56.7%
- ◆調査方法
 - 郵送方式
- ◆調査期間
 - 平成 19 年 10 月～11 月
- ◆調査実施機関
 - 株式会社 地域環境計画

I. 回答者の属性

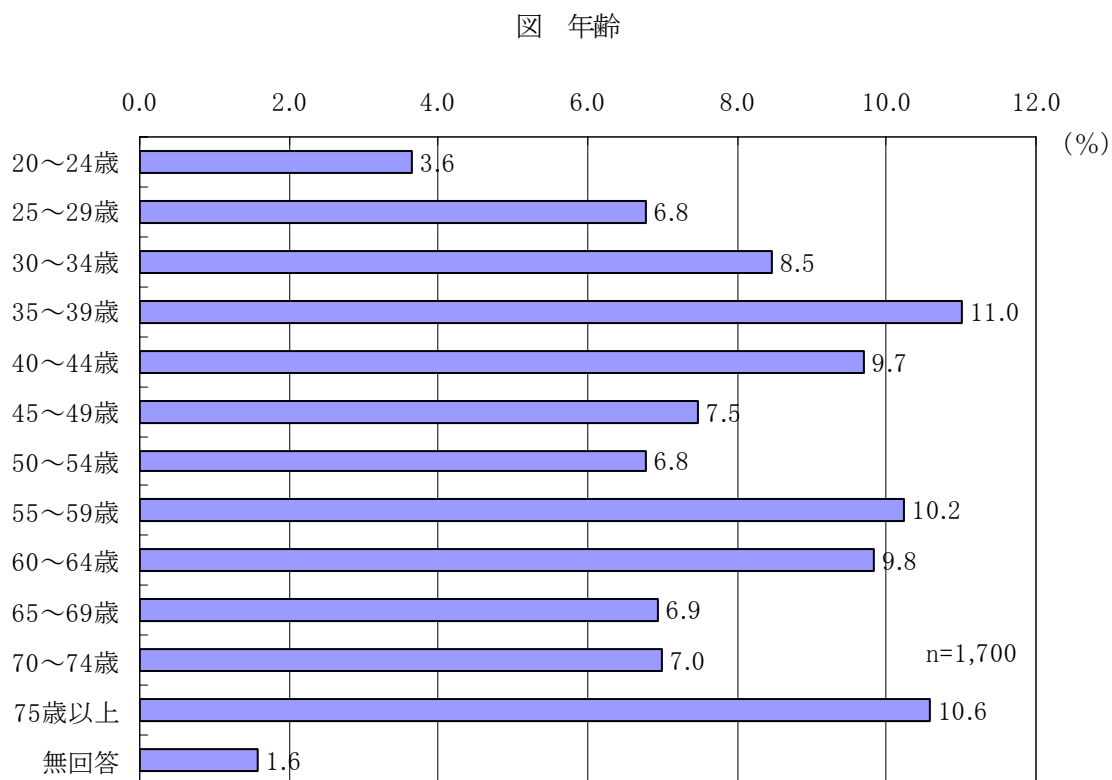
F1 性別

- 「男性」41.9%、「女性」55.9%で、女性が過半数を占めている。



F2 年齢

- 最も多いのが35～39歳の11.0%、最も少ないのは20～24歳の3.6%である。



F3 居住地域

- 最も多いのは「青木」と「神奈川幸ヶ谷」の9.9%、次いで「神西神北」7.9%、最も少ないのは「松見」4.8%である。

図 町名

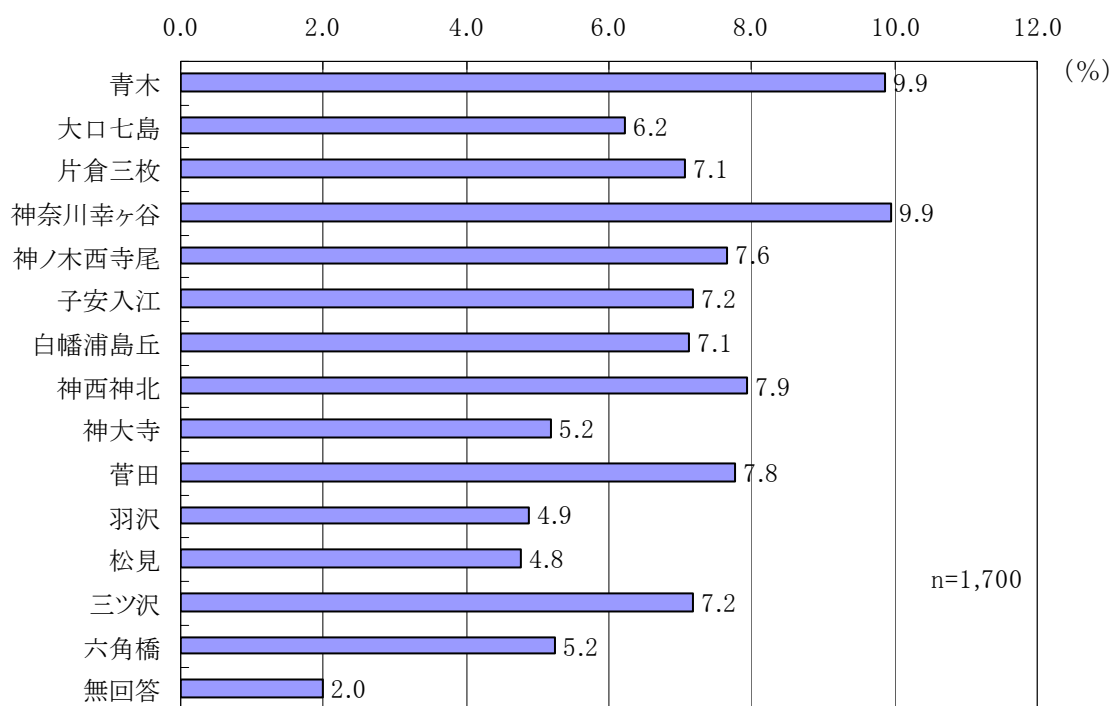


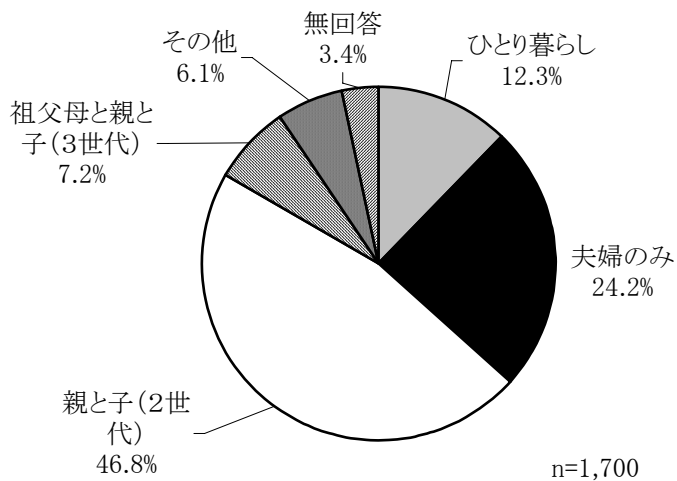
表 地区区分一覧

地区名	町名
子安入江	子安通2～3丁目, 新子安1～2丁目, 子安台1～2丁目, 子安通1丁目, 入江1～2丁目
神ノ木西寺尾	神之木台, 神之木町, 西寺尾1～4丁目
松見	松見町1～4丁目
大口七島	大口通, 大口仲町, 七島町, 西大口
白幡浦島丘	白幡東町, 白幡南町, 白幡西町, 白幡仲町, 白幡向町, 白幡上町, 白幡町, 浦島丘
神奈川幸ヶ谷	神奈川1～2丁目, 神奈川本町, 東神奈川1～2丁目, 亀住町, 新町, 浦島町, 星野町, 橋本町1～3丁目, 千若町1～3丁目, 新浦島町1～4丁目, 出田町, 恵比須町, 宝町, 鈴繁町, 瑞穂町, 守屋町1～4丁目, 山内町, 幸ヶ谷, 金港町, 栄町, 大野町, 青木町
神西神北	二ツ谷町, 西神奈川1～3丁目, 富家町, 鳥越, 立町, 二本榎, 平川町, 斉藤分町, 中丸, 白楽
青木	高島台, 広台太田町, 旭ヶ丘, 栗田谷, 松本町1～6丁目, 泉町, 反町1～4丁目, 沢渡, 松ヶ丘, 桐畑, 上反町1～2丁目, 鶴屋町1～3丁目, 台町
三ツ沢	三ツ沢上町, 三ツ沢下町, 三ツ沢中町, 三ツ沢東町, 三ツ沢南町, 三ツ沢西町
六角橋	六角橋1～6丁目
神大寺	神大寺1～4丁目
片倉三枚	片倉1～5丁目, 三枚町
菅田	菅田町
羽沢	羽沢町, 羽沢南1～4丁目

F4 同居の家族構成

- 最も多いのが「親と子(2世代)」で、46.8%を占めている。次いで「夫婦のみ」(24.2%)、「ひとり暮らし」(12.3%)、「祖父母と親と子(3世代)」(7.2%)、「その他」(6.1%)と続く。

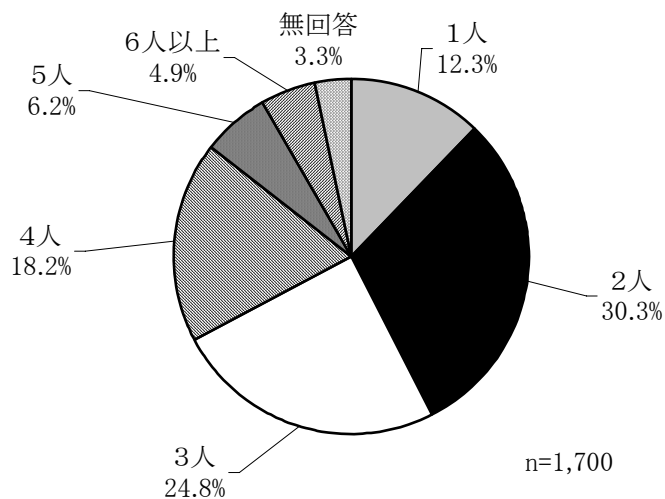
図 家族構成



F5 同居家族の人数(本人含む)

- 最も多いのは「2人」の30.3%である。次いで「3人」(24.8%)、「4人」(18.2%)、「1人」(12.3%)、「5人」(6.2%)、「6人以上」(4.9%)と続く。

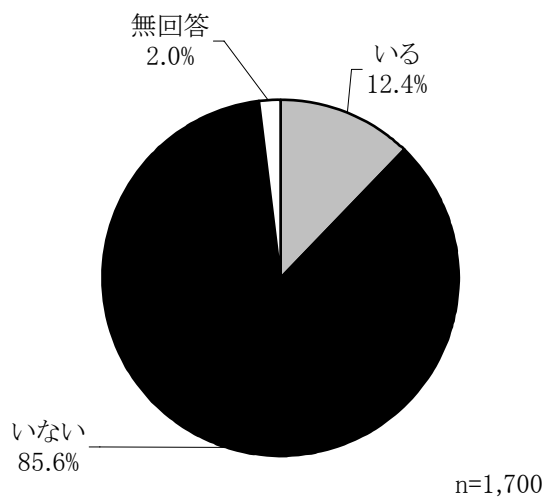
図 同居家族の人数



F6 未就学の子どもの有無

- ・ 「いない」が85.6%で全体の8割以上を占めており、「いる」(12.4%)を上回っている。

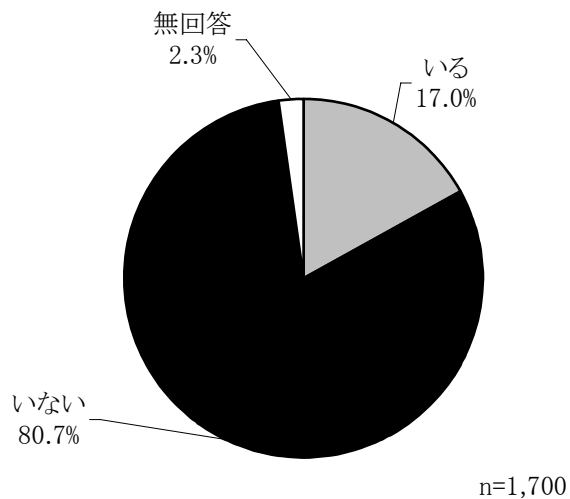
図 未就学の子どもの有無



F7 小学生以上18歳未満の子どもの有無

- ・ 「いない」が80.7%で全体の8割を占めており、「いる」(17.0%)を上回っている。

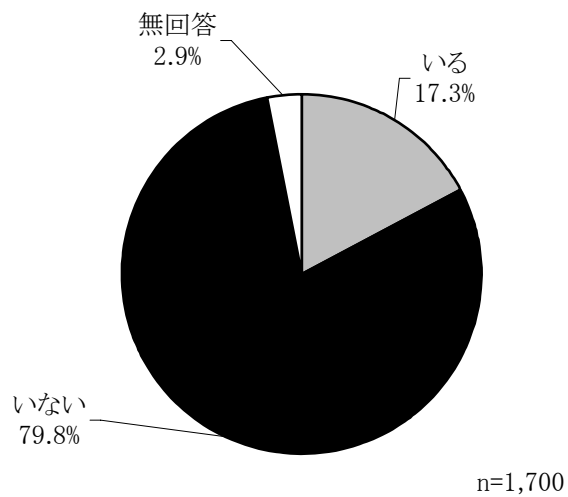
図 小学生以上18歳未満の子どもの有無



F8 65～74歳の高齢者の有無

- ・ 「いない」が79.8%で、「いる」(17.3%)を上回っている。

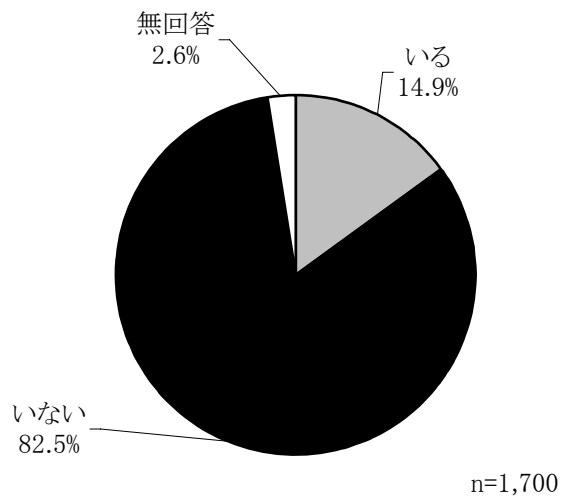
図 65～74歳の高齢者の有無



F9 75歳以上の高齢者の有無

- ・ 「いない」が82.5%で、「いる」(14.9%)を上回っている。

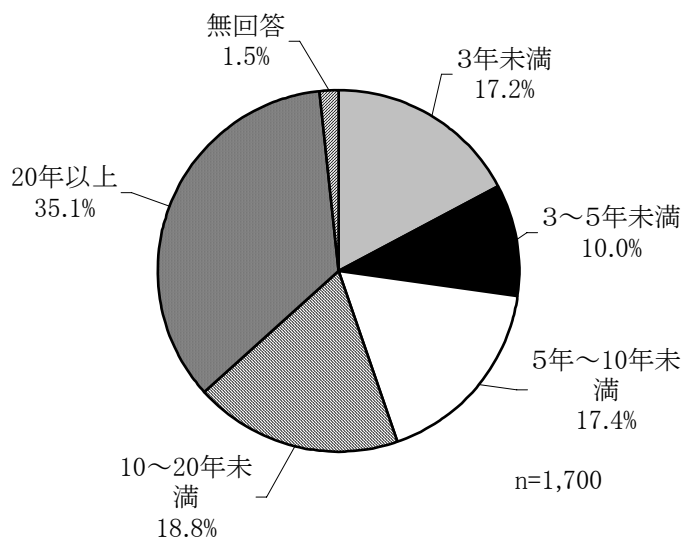
図 75歳以上の高齢者の有無



F10 居住年数

- 最も多いのは「20年以上」の35.1%である。次いで「10～20年未満」(18.8%)、「5年～10年未満」(17.4%)、「3年未満」(17.2%)、「3～5年未満」(10.0%)となっている。

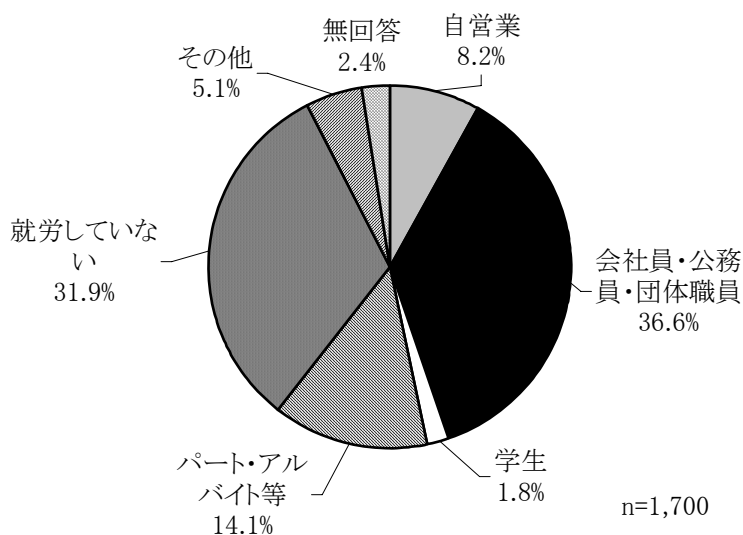
図 居住年数



F11 就労状態

- 最も多いのは「会社員・公務員」の36.6%である。次いで「就労していない」(31.9%)、「パート・アルバイト等」(14.1%)、「自営業」(8.2%)、「その他」(5.1%)、「学生」(1.8%)の順となっている。

図 就労状態



II. 集計分析結果

1. 普段の生活について

1) 普段の活動場所と利便性

問1 あなたは普段、次の活動をどこで行っていますか。また、あなたのご自宅からそこに行くまでの交通の利便性はどうか。(○は(1)、(2)のそれぞれについて1つずつ)

(1) 活動場所

- ①～⑥の活動について、「その活動は行っていない」と「無回答」を除き、それぞれ普段の活動場所をみた。
- ①通勤については、「神奈川区内」(25.0%)が最も多く4分の1を占めており、次いで「東京(東京駅方面)」(21.0%)、「その他の横浜市」(12.6%)、「西区・中区」(12.0%)、「その他」(10.9%)となっている。
- ②通学については、該当者は140人となっており、そのうち「神奈川区内」(35.0%)が最も多く、「西区・中区」(20.7%)が続く。次いで「東京(新宿・渋谷駅方面)」(13.6%)となっている。
- ③通院については、「神奈川区内」(68.5%)が最も多く、7割近くを占めている。次いで「その他の横浜市」(10.2%)、「港北区・都筑区等北部方面」(8.7%)、「西区・中区」(6.8%)となっている。
- ④ボランティアや地域の活動については、「神奈川区内」(76.5%)が最も多く、次いで「その他の横浜市」(8.6%)、「西区・中区」(5.4%)、「港北区・都筑区等北部方面」(4.9%)となっている。
- 買い物については、⑤食料品や日用品の買い物は「神奈川区内」(76.2%)が最も多く、次いで「西区・中区」(11.1%)、「その他の横浜市」(6.1%)、「港北区・都筑区等北部方面」(6.0%)となっているが、⑥洋服や電気製品、趣味の道具などの買い回り品については、「西区・中区」(58.8%)、「神奈川区内」(15.9%)、「その他の横浜市」(12.9%)、「港北区・都筑区等北部方面」(6.9%)となっており、区内のウエイトが低くなり、西区・中区を中心とした市内他区の割合が高くなっている。
- 全体的にみると、神奈川区内で活動している項目として特に多いのは、④ボランティアや地域の活動、⑤食料品や日用品の買い物、③通院である。

表 普段の活動の場 (「その活動は行っていない」「無回答」を除く)

	活動の内容	全体	神奈川区内	西区・中区	港北区・都筑区等北部方面	その他の横浜市	東京(東京駅方面)	東京(新宿・渋谷駅方面)	その他	全体
割合	①仕事に行く(通勤)	N=965	25.0	12.0	9.0	12.6	21.0	9.4	10.9	100.0
	②勉強に行く(通学)	N=140	35.0	20.7	5.0	12.1	5.7	13.6	7.9	100.0
	③医療機関に行く	N=1,220	68.5	6.8	8.7	10.2	2.3	1.9	1.6	100.0
	④ボランティアや地域の活動に行く	N=349	76.5	5.4	4.9	8.6	2.0	1.4	1.1	100.0
	⑤食料品や日用品を買いに行く	N=1,359	76.2	11.1	6.0	6.1	0.3	0.1	0.2	100.0
	⑥洋服や電気製品、趣味の道具などを買いに行く	N=1,268	15.9	58.8	6.9	12.9	2.1	2.1	1.3	100.0

■年齢別 通勤先(F2×問1(1)①)

- 年齢別にみると、「20～24歳」では「神奈川県内」と「西区・中区」が同じ割合であるが、25歳以上44歳までの層では「東京（東京駅方面）」が最も高くなっており、特に「25～29歳」では3割を超えている。45歳以上では全ての年齢層で「神奈川県内」の割合が最も高くなっている。

表 年齢別 通勤先（「その活動は行っていない」「無回答」を除く）

問1（1） 活動の状況・場所
仕事に行く（通勤）

		全体	神奈川県内	西区・中区	港北区・都筑区等 北部方面	その他の 横浜市	東京（東 京駅方 面）	東京（新 宿・渋谷 駅方面）	その他
全 体		965	241	116	87	122	203	91	105
		100.0	25.0	12.0	9.0	12.6	21.0	9.4	10.9
F 2 年齢	20～24歳	41	19.5	19.5	9.8	14.6	14.6	14.6	7.3
	25～29歳	92	8.7	13.0	7.6	13.0	31.5	18.5	7.6
	30～34歳	106	16.0	14.2	13.2	10.4	24.5	11.3	10.4
	35～39歳	142	19.0	8.5	9.2	15.5	21.8	14.1	12.0
	40～44歳	121	22.3	7.4	6.6	9.1	28.9	8.3	17.4
	45～49歳	108	29.6	14.8	9.3	11.1	18.5	5.6	11.1
	50～54歳	84	38.1	15.5	4.8	11.9	10.7	6.0	13.1
	55～59歳	112	25.0	10.7	8.9	15.2	18.8	8.0	13.4
	60～64歳	73	37.0	12.3	8.2	16.4	16.4	2.7	6.8
	65～69歳	44	31.8	18.2	15.9	9.1	15.9	4.5	4.5
	70～74歳	18	50.0	5.6	16.7	5.6	16.7	5.6	0.0
	75歳以上	13	61.5	0.0	0.0	23.1	7.7	7.7	0.0
	無回答	11	36.4	9.1	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1

■居住地域別 通勤先(F3×問1(1)①)

- 居住地域別にみると、「神奈川幸ヶ谷」、「神ノ木西寺尾」、「子安入江」、「白幡浦島丘」の4地域では「東京（東京駅方面）」が最も高くなっており、特に「子安入江」では3割を超えている。また「神大寺」では「その他の横浜市」が最も多くなっている。その他の地域では、「神奈川区内」が最も多くなっているが、「羽沢」では「西区・中区」も同率となっている。

■就労状況別 通勤先(F11×問1(1)①)

- 就労状況別にみると、「会社員・公務員・団体職員」では「東京（東京駅方面）」が3割で最も高くなっている。その他の就労形態では全て「神奈川区内」が最も多くなっているが、「パート・アルバイト等」では「西区・中区」が16.8%と他と比べてやや高くなっている。

表 居住地域、就労状況別 通勤先（「その活動は行っていない」「無回答」を除く）

		問1(1) 活動の状況・場所 仕事に行く(通勤)							
		全体	神奈川区内	西区・中区	港北区・都筑区等 北部方面	その他の横浜市	東京（東京駅方面）	東京（新宿・渋谷駅方面）	その他
全体		965 100.0	241 25.0	116 12.0	87 9.0	122 12.6	203 21.0	91 9.4	105 10.9
F3 居住地域	青木	98	20.4	13.3	7.1	14.3	19.4	10.2	15.3
	大口七島	68	27.9	11.8	2.9	14.7	23.5	8.8	10.3
	片倉三枚	73	24.7	9.6	19.2	20.5	12.3	4.1	9.6
	神奈川幸ヶ谷	103	28.2	9.7	2.9	7.8	29.1	10.7	11.7
	神ノ木西寺尾	60	16.7	11.7	5.0	20.0	28.3	8.3	10.0
	子安入江	74	18.9	8.1	5.4	12.2	33.8	9.5	12.2
	白幡浦島丘	75	20.0	18.7	6.7	12.0	22.7	12.0	8.0
	神西神北	77	23.4	14.3	3.9	7.8	20.8	9.1	20.8
	神大寺	54	11.1	11.1	11.1	20.4	18.5	13.0	14.8
	菅田	71	36.6	5.6	25.4	9.9	14.1	2.8	5.6
	羽沢	48	22.9	22.9	16.7	14.6	10.4	0.0	12.5
	松見	46	41.3	4.3	0.0	10.9	13.0	23.9	6.5
	三ツ沢	57	26.3	19.3	8.8	10.5	21.1	8.8	5.3
	六角橋	44	36.4	9.1	13.6	4.5	18.2	13.6	4.5
無回答	17	29.4	11.8	17.6	5.9	17.6	11.8	5.9	
F11 就労状況	自営業	94	54.3	10.6	5.3	13.8	7.4	3.2	5.3
	会社員・公務員・団体職員	587	12.3	10.4	8.7	11.8	30.2	12.4	14.3
	学生	8	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5
	パート・アルバイト等	220	41.8	16.8	11.4	13.2	5.5	5.9	5.5
	就労していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	39	46.2	10.3	5.1	20.5	10.3	5.1	2.6
無回答	17	17.6	17.6	17.6	17.6	17.6	0.0	11.8	

■ 居住地域別 通院先(F3×問1(1)③)

- 居住地域別では、全ての地域で「神奈川区内」が最も多くなっており、特に「大口七島」と「白幡浦島丘」では8割を超えている。「羽沢」では「その他の横浜市」が3割を超えており、「菅田」と「松見」では、「港北区・都筑区等北部方面」がそれぞれ3割近くとなっている。

表 居住地域別 通院先（「その活動は行っていない」「無回答」を除く）

問1(1) 活動の状況・場所

医療機関に行く

		全体	神奈川区 内	西区・中 区	港北区・ 都筑区等 北部方面	その他の 横浜市	東京（東 京駅方 面）	東京（新 宿・渋谷 駅方面）	その他
全 体		1,220 100.0	836 68.5	83 6.8	106 8.7	124 10.2	28 2.3	23 1.9	20 1.6
F3	青木	127	70.1	14.2	3.9	9.4	0.0	0.0	2.4
居住地域	大口七島	77	81.8	2.6	5.2	3.9	5.2	1.3	0.0
	片倉三枚	80	78.8	2.5	8.8	7.5	1.3	1.3	0.0
	神奈川幸ヶ谷	119	62.2	16.8	2.5	9.2	3.4	0.8	5.0
	神ノ木西寺尾	98	73.5	2.0	8.2	12.2	2.0	2.0	0.0
	子安入江	85	69.4	5.9	3.5	8.2	4.7	3.5	4.7
	白幡浦島丘	85	81.2	3.5	2.4	4.7	0.0	5.9	2.4
	神西神北	98	77.6	4.1	5.1	9.2	4.1	0.0	0.0
	神大寺	68	73.5	2.9	7.4	8.8	1.5	5.9	0.0
	菅田	104	46.2	5.8	27.9	16.3	0.0	1.9	1.9
	羽沢	62	35.5	11.3	14.5	33.9	1.6	1.6	1.6
	松見	56	58.9	3.6	28.6	7.1	1.8	0.0	0.0
	三ツ沢	87	67.8	8.0	5.7	12.6	3.4	2.3	0.0
	六角橋	57	77.2	3.5	8.8	0.0	5.3	1.8	3.5
	無回答	17	88.2	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0

■ 居住地域別 買い物先／食料品・日用品(F3×問1(1)⑤)

- 居住地域別では、全ての地域で「神奈川区内」が最も多くなっており、特に「神ノ木西寺尾」では9割を超えている。「神奈川区内」の割合が最も低いのは「菅田」である。「青木」、「神奈川幸ヶ谷」、「三ツ沢」では「西区・中区」の割合も高くなっている。また「菅田」と「松見」では「港北区・都筑区等北部方面」、「羽沢」では「その他の横浜市」の割合がそれぞれ2割を超え高くなっている。

表 居住地域別 買い物先／食料品・日用品
 (「その活動は行っていない」「無回答」を除く)

問1(1) 活動の状況・場所
 食料品や日用品を買いに行く

		全体	神奈川区 内	西区・中 区	港北区・ 都筑区等 北部方面	その他の 横浜市	東京(東 京駅方 面)	東京(新 宿・渋谷 駅方面)	その他
全 体		1,359 100.0	1,035 76.2	151 11.1	81 6.0	83 6.1	4 0.3	2 0.1	3 0.2
F 3 居住地域	青木	136	70.6	25.0	0.7	3.7	0.0	0.0	0.0
	大口七島	86	87.2	7.0	2.3	2.3	1.2	0.0	0.0
	片倉三枚	99	79.8	6.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	神奈川幸ヶ谷	137	73.0	19.7	0.7	5.1	0.0	0.7	0.7
	神ノ木西寺尾	101	91.1	2.0	2.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	子安入江	99	81.8	6.1	3.0	4.0	3.0	0.0	2.0
	白幡浦島丘	105	84.8	6.7	5.7	2.9	0.0	0.0	0.0
	神西神北	111	83.8	9.0	0.9	6.3	0.0	0.0	0.0
	神大寺	72	86.1	6.9	2.8	4.2	0.0	0.0	0.0
	菅田	103	52.4	6.8	23.3	17.5	0.0	0.0	0.0
	羽沢	67	53.7	11.9	10.4	22.4	0.0	1.5	0.0
	松見	62	69.4	3.2	25.8	1.6	0.0	0.0	0.0
	三ツ沢	99	68.7	24.2	1.0	6.1	0.0	0.0	0.0
	六角橋	60	76.7	10.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	22	95.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 年齢・居住地域別 買い物先／洋服や電機製品、趣味の道具など (F2、F3×問1(1)⑥)

- ・ 年齢別にみると、どの年齢層も「西区・中区」が最も多くなっている。年齢が高くなるにつれて「神奈川県内」の割合が高くなる傾向がみられ、特に「70～74歳」では区内の比率が3割を超えている。39歳以下では「西区・中区」の次に多いのは「その他の横浜市」となっているが、40歳以上では全て「神奈川県内」となっている。「35～39歳」では「港北区・都筑区等北部方面」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。
- ・ 居住地域別では、全ての地域で「西区・中区」が最も多くなっており、特に「青木」と「三ツ沢」では7割を超えている。「神ノ木西寺尾」では「神奈川県内」の割合が高く3割を超えている。また「羽沢」、「菅田」では、「西区・中区」のウエイトが低く、「港北区・都筑区等北部方面」や「その他の横浜市」など他の区に分散している。

表 年齢、居住地域別 買い物先／洋服や電気製品、趣味の道具など
 (「その活動は行っていない」「無回答」を除く)

問1(1) 活動の状況・場所

洋服や電気製品、趣味の道具などを買いに行く

		全体	神奈川県内	西区・中区	港北区・都筑区等北部方面	その他の横浜市	東京(東京駅方面)	東京(新宿・渋谷駅方面)	その他
全 体		1,268	201	746	88	164	26	27	16
		100.0	15.9	58.8	6.9	12.9	2.1	2.1	1.3
F 2 年齢	20～24歳	55	5.5	65.5	5.5	12.7	0.0	9.1	1.8
	25～29歳	94	9.6	66.0	4.3	11.7	2.1	5.3	1.1
	30～34歳	124	8.1	60.5	8.9	12.9	3.2	3.2	3.2
	35～39歳	154	5.8	64.3	10.4	13.0	2.6	1.3	2.6
	40～44歳	142	12.7	64.1	7.7	10.6	1.4	2.8	0.7
	45～49歳	106	12.3	63.2	5.7	11.3	3.8	1.9	1.9
	50～54歳	99	19.2	54.5	8.1	14.1	1.0	2.0	1.0
	55～59歳	131	19.1	56.5	9.2	10.7	2.3	0.8	1.5
	60～64歳	123	23.6	55.3	4.1	13.8	3.3	0.0	0.0
	65～69歳	84	23.8	53.6	4.8	15.5	2.4	0.0	0.0
	70～74歳	71	36.6	40.8	8.5	12.7	0.0	1.4	0.0
75歳以上	73	23.3	57.5	2.7	15.1	0.0	1.4	0.0	
無回答	12	25.0	33.3	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0	
F 3 居住地域	青木	126	14.3	74.6	3.2	4.0	1.6	1.6	0.8
	大口七島	80	21.3	55.0	2.5	12.5	7.5	1.3	0.0
	片倉三枚	88	10.2	56.8	18.2	13.6	0.0	1.1	0.0
	神奈川幸ヶ谷	127	16.5	66.1	0.8	11.0	1.6	1.6	2.4
	神ノ木西寺尾	95	30.5	45.3	0.0	17.9	2.1	1.1	3.2
	子安入江	89	14.6	56.2	1.1	11.2	9.0	4.5	3.4
	白幡浦島丘	100	17.0	60.0	2.0	11.0	3.0	6.0	1.0
	神西神北	105	16.2	64.8	3.8	9.5	0.0	4.8	1.0
	神大寺	67	7.5	68.7	13.4	9.0	0.0	1.5	0.0
	菅田	100	10.0	32.0	30.0	25.0	1.0	2.0	0.0
	羽沢	65	13.8	43.1	7.7	33.8	0.0	1.5	0.0
	松見	60	20.0	55.0	10.0	10.0	0.0	0.0	5.0
	三ツ沢	92	9.8	77.2	3.3	8.7	1.1	0.0	0.0
	六角橋	56	19.6	60.7	8.9	5.4	1.8	1.8	1.8
	無回答	18	22.2	50.0	0.0	27.8	0.0	0.0	0.0

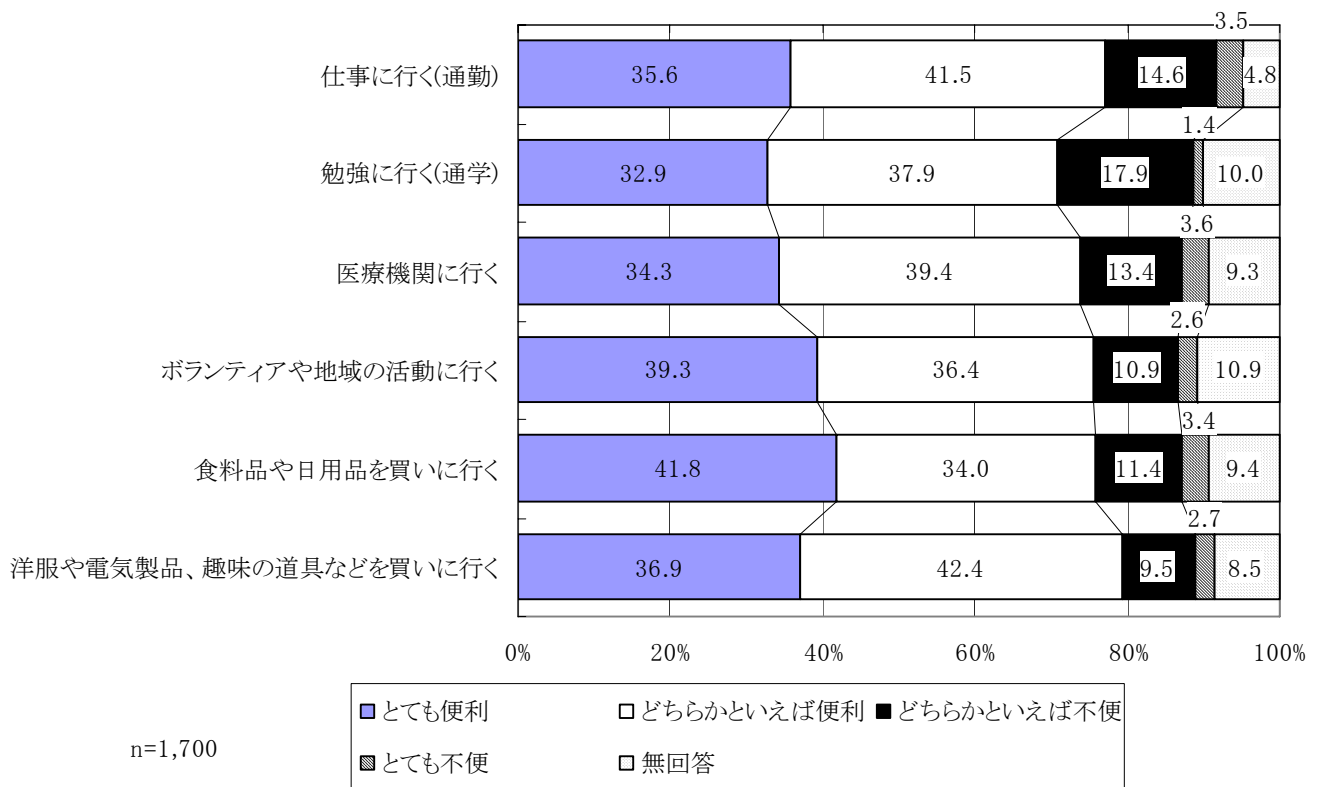
(2) 利便性

- 全体的にみると、「とても便利」の割合が最も高いのは⑤食料品や日用品の買い物（41.8%）、④ボランティアや地域の活動（39.3%）で、最も低いのは②通学（32.9%）である。6項目全てにおいて、3割以上の方が「とても便利」と回答しており、「どちらかといえば便利」をあわせると7割以上であることから、生活の利便性に対する満足度は概ね高いといえる。
- ①通勤については、「とても便利」（35.6%）と、「どちらかといえば便利」（41.5%）をあわせて77.1%であり、6項目の中で2番目に高い割合となっている。
- ②通学については、該当者が140人と少ないが、「とても便利」（32.9%）と、「どちらかといえば便利」（37.9%）をあわせて70.7%であり全項目の中で最も低い。また「どちらかといえば不便」（17.9%）の割合が高くなっている。
- ③通院については、「とても便利」（34.3%）と、「どちらかといえば便利」（39.4%）をあわせて73.7%であり、6項目の中で2番目に低い割合となっている。
- ④ボランティアや地域の活動については、「とても便利」（39.3%）と、「どちらかといえば便利」（36.4%）をあわせて75.6%である。
- ⑤食料品や日用品の買い物については「とても便利」（41.8%）と、「どちらかといえば便利」（34.0%）をあわせて75.8%であり、「とても便利」の割合は6項目中最も高い割合となっている。
- ⑥洋服や電気製品、趣味の道具などの買い回り品では、「とても便利」（36.9%）と、「どちらかといえば便利」（42.4%）をあわせて79.3%である。「とても便利」の割合は食料品・日用品に比べて低くなるが、「どちらかといえば便利」をあわせた数字では6項目中最も高い割合となっている。

表 普段の活動の利便性

	活動の内容	全体	とても便利	どちらかといえば便利	どちらかといえば不便	とても不便	とても便利+どちらかといえば便利	とても不便+どちらかといえば不便
割合	①仕事に行く(通勤)	N=965	35.6	41.5	14.6	3.5	77.1	18.1
	②勉強に行く(通学)	N=140	32.9	37.9	17.9	1.4	70.7	19.3
	③医療機関に行く	N=1,220	34.3	39.4	13.4	3.6	73.7	17.0
	④ボランティアや地域の活動に行く	N=349	39.3	36.4	10.9	2.6	75.6	13.5
	⑤食料品や日用品を買いに行く	N=1,359	41.8	34.0	11.4	3.4	75.8	14.8
	⑥洋服や電気製品、趣味の道具などを買いに行く	N=1,268	36.9	42.4	9.5	2.7	79.3	12.1

図 普段の活動の利便性



■ 居住地域別 利便性(F3×問1(2))

- ・ 居住地域別に「とても便利」と「どちらかといえば便利」をあわせた割合をみると、「青木」、「神西神北」、「松見」で特に高くなっており、「青木」では6項目すべてにおいて、「神西神北」と「松見」では5項目で8割以上となっている。
- ・ 「羽沢」では「通勤」と「洋服や電気製品、趣味の道具などを買いに行く」では約半数が便利としているが、他の項目では割合が低くなっている。

表 居住地域別 利便性
 (「とても便利」、「どちらかといえば便利」をあわせた割合、無回答を含む)

		仕事に行く(通勤)	勉強に行く(通学)	医療機関に行く	ボランティアや地域の活動に行く	食料品や日用品を買いに行く	洋服や電気製品、趣味の道具などを買いに行く
全 体		77.1	70.7	73.7	75.6	75.8	79.3
F 3 居住地域	青木	84.7	85.7	81.9	87.1	83.1	88.1
	大口七島	69.1	100.0	83.1	73.7	84.9	88.8
	片倉三枚	83.6	87.5	73.8	82.1	76.8	80.7
	神奈川幸ヶ谷	88.3	63.2	73.1	76.9	73.0	85.0
	神ノ木西寺尾	78.3	75.0	77.6	84.6	78.2	69.5
	子安入江	79.7	66.7	78.8	71.4	77.8	84.3
	白幡浦島丘	73.3	60.0	75.3	85.0	79.0	84.0
	神西神北	87.0	76.9	85.7	82.1	85.6	86.7
	神大寺	59.3	25.0	69.1	94.7	81.9	76.1
	菅田	62.0	63.6	50.0	67.7	65.0	61.0
	羽沢	50.0	20.0	43.5	30.4	44.8	50.8
	松見	87.0	90.0	83.9	79.3	82.3	85.0
	三ツ沢	84.2	66.7	74.7	68.2	66.7	83.7
	六角橋	72.7	66.7	77.2	77.8	71.7	73.2
	無回答	82.4	66.7	70.6	50.0	81.8	83.3

■ 通勤先別 利便性(問1(1)①×問1(2)①)

- 通勤先別に利便性をみると、いずれの地域も概ね7割以上が「とても便利」または「どちらかといえば便利」と回答している。特に「神奈川区内」では半数以上が「とても便利」としている。「とても便利」と「どちらかといえば便利」をあわせた割合でみると、「神奈川区内」と「西区・中区」では8割を超えている。また「港北区・都筑区等北部方面」、「その他の横浜市」、「その他」は、便利とする割合が他と比べて低く、不便とする回答が2割を超えている。

表 通勤先別 利便性

問1(2) 利便性

仕事に行く(通勤)

		全体	とても便利	どちらかといえば便利	どちらかといえば不便	とても不便	無回答
全 体		965	344	400	141	34	46
		100.0	35.6	41.5	14.6	3.5	4.8
問1(1) 仕事に行く(通勤)	神奈川区内	241	56.0	25.7	9.1	2.1	7.1
	西区・中区	116	49.1	31.9	12.1	3.4	3.4
	港北区・都筑区等北部方面	87	26.4	42.5	19.5	6.9	4.6
	その他の横浜市	122	27.0	45.1	18.0	4.9	4.9
	東京(東京駅方面)	203	28.6	50.7	12.3	3.4	4.9
	東京(新宿・渋谷駅方面)	91	22.0	57.1	15.4	3.3	2.2
	その他	105	17.1	51.4	25.7	2.9	2.9
	その活動は行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ 買い物先(食料品・日用品)別 利便性(問1(1)⑤×問1(2)⑤)

- 食料品・日用品の買い物先別に利便性をみると、「西区・中区」で便利との回答が高く、半数近くが「とても便利」と回答している。「どちらかといえば便利」をあわせると8割以上となっている。「港北区・都筑区等北部方面」では不便とする回答が約3割となっている。

表 買い物先(食料品・日用品)別 利便性

問1(2) 利便性

食料品や日用品を買いに行く

		全体	とても便利	どちらかといえば便利	どちらかといえば不便	とても不便	無回答
全 体		1,359	568	462	155	46	128
		100.0	41.8	34.0	11.4	3.4	9.4
問1(1) 食料品や日用品を 買いに行く	神奈川区内	1,035	44.9	31.5	10.2	2.8	10.5
	西区・中区	151	48.3	35.1	7.3	2.6	6.6
	港北区・都筑区等北部方面	81	16.0	48.1	22.2	8.6	4.9
	その他の横浜市	83	19.3	50.6	21.7	3.6	4.8
	東京(東京駅方面)	4	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
	東京(新宿・渋谷駅方面)	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	その他	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	その活動は行っていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

■ 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段別 ⑤食料品・日用品の買い物の利便性(問3×問1(2)⑤)

- 食料品・日用品を購入する際の主な交通手段別に利便性をみると、「とても便利」または「どちらかといえば便利」の割合は「鉄道」で最も高く、僅差で「自転車」、「徒歩」の順となっており、いずれも8割以上となっている。「原付・バイク」、「自家用車」、「バス」の順で便利とする割合が低くなり、「バス」では57.3%が便利としている一方、25.2%が不便としている。

表 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段別 ⑤食料品・日用品の買い物の利便性

問1(2) 利便性
食料品や日用品を買いに行く

		全体	とても便利	どちらか といえば 便利	どちらか といえば 不便	とても不 便	無回答	とても便 利 +どちら かといえ ば便利	どちらか といえば 不便+と ても不便
全 体		1,326 100.0	556 41.9	452 34.1	151 11.4	45 3.4	122 9.2	76.0	14.8
問3 食料品や 日用品を 購入する際の 主な交通手段	徒歩	582	51.4	30.6	6.4	1.7	10.0	82.0	8.1
	自転車	183	47.0	35.5	9.8	1.6	6.0	82.5	11.5
	原付・バイク	46	30.4	43.5	19.6	2.2	4.3	73.9	21.7
	バス	103	18.4	38.8	15.5	9.7	17.5	57.3	25.2
	自家用車	341	29.9	38.1	18.5	5.3	8.2	68.0	23.8
	鉄道	55	61.8	21.8	7.3	5.5	3.6	83.6	12.7
	その他	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	13	7.7	38.5	30.8	0.0	23.1	46.2	30.8

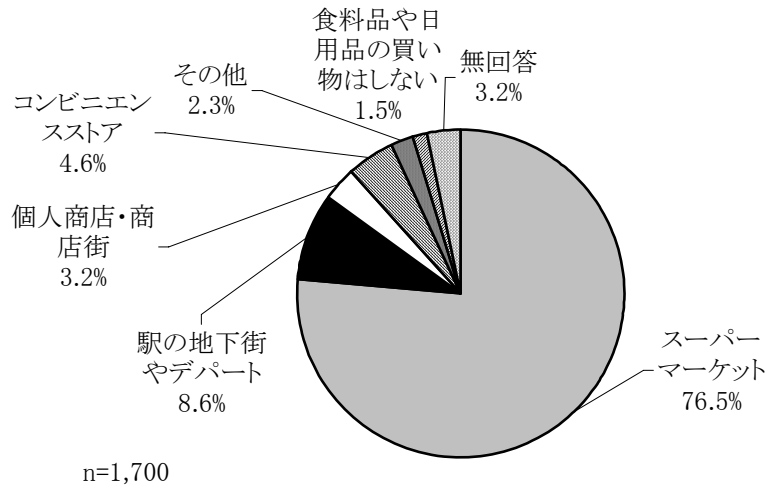
2) 日常の買い物について

(1) 食料品や日用品の購入場所

問2 食料品や日用品を主にどこで購入しますか。(〇は1つ)

- 「スーパーマーケット」(76.5%) が最も多く、次いで「駅の地下街やデパート」(8.6%)、「コンビニエンスストア」(4.6%)、「個人商店・商店街」(3.2%)、「その他」(2.3%) と続いている。

図 食料品や日用品の購入場所



■ 居住地域別 食料品や日用品の購入場所(F3×問2)

- いずれの地域でも「スーパーマーケット」が最も多く、特に「片倉三枚」、「神ノ木西寺尾」、「子安入江」、「菅田」、「松見」では8割を超えている。「三ツ沢」、「神奈川幸ヶ谷」、「青木」「羽沢」では「駅の地下街やデパート」が多く、特に「三ツ沢」では2割以上である。「個人商店・商店街」の割合が高いのは「大口七島」と「三ツ沢」、「コンビニエンスストア」の割合が高いのは「大口七島」である。

表 居住地域別 食料品や日用品の購入場所

		全体	スーパーマーケット	駅の地下街やデパート	個人商店・商店街	コンビニエンスストア	その他	食料品や日用品の買い物はない	無回答
全体		1,700	1,300	146	55	79	39	26	55
		100.0	76.5	8.6	3.2	4.6	2.3	1.5	3.2
F 3	青木	168	74.4	12.5	2.4	3.6	3.0	1.8	2.4
居住地域	大口七島	106	70.8	4.7	6.6	9.4	0.0	0.9	7.5
	片倉三枚	120	83.3	2.5	1.7	3.3	5.8	1.7	1.7
	神奈川幸ヶ谷	169	69.2	14.8	3.0	2.4	4.1	2.4	4.1
	神ノ木西寺尾	130	86.2	2.3	1.5	6.2	0.8	1.5	1.5
	子安入江	122	85.2	2.5	4.1	4.9	0.8	0.0	2.5
	白幡浦島丘	121	76.9	7.4	5.0	5.0	2.5	0.8	2.5
	神西神北	135	74.8	9.6	2.2	4.4	1.5	3.0	4.4
	神大寺	88	78.4	9.1	0.0	5.7	1.1	1.1	4.5
	菅田	132	86.4	6.1	0.8	3.0	2.3	0.8	0.8
	羽沢	83	74.7	12.0	3.6	3.6	2.4	0.0	3.6
	松見	81	87.7	3.7	3.7	2.5	1.2	0.0	1.2
	三ツ沢	122	54.9	23.0	8.2	4.1	1.6	2.5	5.7
	六角橋	89	74.2	5.6	2.2	7.9	4.5	2.2	3.4
	無回答	34	70.6	5.9	5.9	8.8	0.0	5.9	2.9

■年齢別 食料品や日用品の購入場所(F2×問2)

- ・ 全ての年齢層で「スーパーマーケット」が最も多くなっている。「駅の地下街やデパート」の割合は「70～74歳」と「50～54歳」でやや高い。「20～24歳」では他の年齢層に比べて「スーパーマーケット」の割合が低く、「個人商店・商店街」や「コンビニエンスストア」の割合が高くなっている。

表 年齢別 食料品や日用品の購入場所

問2 食料品や日用品の主な購入先

		全体	スーパー マーケッ ト	駅の地下 街やデ パート	個人商 店・商店 街	コンビニ エンスス トア	その他	食料品や 日用品の 買い物は しない	無回答
全 体		1,700	1,300	146	55	79	39	26	55
		100.0	76.5	8.6	3.2	4.6	2.3	1.5	3.2
F 2 年齢	20～24歳	62	53.2	11.3	6.5	24.2	0.0	3.2	1.6
	25～29歳	115	75.7	9.6	1.7	10.4	0.9	0.9	0.9
	30～34歳	144	88.2	4.2	1.4	2.8	0.7	0.7	2.1
	35～39歳	187	83.4	7.5	0.5	3.7	2.1	1.1	1.6
	40～44歳	165	78.8	5.5	3.0	7.9	1.8	0.6	2.4
	45～49歳	127	82.7	5.5	3.9	4.7	0.0	0.8	2.4
	50～54歳	115	80.0	13.9	0.9	1.7	0.9	1.7	0.9
	55～59歳	174	84.5	5.2	2.3	1.1	2.9	1.1	2.9
	60～64歳	167	74.9	12.6	4.2	1.8	2.4	0.6	3.6
	65～69歳	118	71.2	7.6	5.9	0.8	6.8	1.7	5.9
70～74歳	119	71.4	14.3	5.0	1.7	4.2	0.8	2.5	
75歳以上	180	61.1	11.1	5.0	6.1	3.9	4.4	8.3	
無回答	27	70.4	0.0	7.4	3.7	0.0	7.4	11.1	

■男女別・年齢別 食料品や日用品の購入場所(F1×F2×問2)

- 全ての層で「スーパーマーケット」が最も多くなっており、特に「30～34歳・男性」と「45～49歳・女性」では9割を超えている。「駅の地下街やデパート」は、「50～54歳・女性」で高くなっており、他には20代の男女と、70代以上の男性、60代以上の女性でやや高い。「個人商店・商店街」の利用は、「20～24歳・女性」でやや高い。また「コンビニエンスストア」は「20～24歳・男性」で特に高く3割を超えている。また「20～24歳・女性」と40代の男性の利用も高い。

表 男女別・年齢別 食料品や日用品の購入場所

問2 食料品や日用品の主な購入先

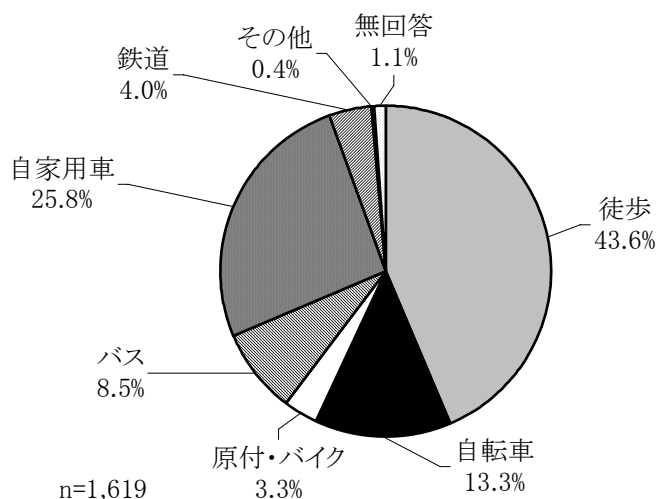
				全体	スーパー マーケット	駅の地下街 やデパート	個人商店・ 商店街	コンビニエ ンスストア	その他	食料品や日 用品の買い 物はしない	無回答
全 体				1,700	1,300	146	55	79	39	26	55
				100.0	76.5	8.6	3.2	4.6	2.3	1.5	3.2
F 1 性別	男性	F 2 年齢	20～24歳	28	46.4	10.7	3.6	35.7	0.0	0.0	3.6
			25～29歳	50	68.0	10.0	2.0	16.0	2.0	2.0	0.0
			30～34歳	52	90.4	3.8	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0
			35～39歳	70	78.6	7.1	0.0	8.6	1.4	1.4	2.9
			40～44歳	77	70.1	5.2	1.3	16.9	2.6	1.3	2.6
			45～49歳	57	71.9	7.0	5.3	10.5	0.0	1.8	3.5
			50～54歳	46	80.4	8.7	2.2	4.3	0.0	4.3	0.0
			55～59歳	73	83.6	2.7	1.4	2.7	4.1	2.7	2.7
			60～64歳	64	78.1	9.4	1.6	4.7	1.6	1.6	3.1
			65～69歳	64	73.4	7.8	7.8	1.6	1.6	3.1	4.7
			70～74歳	49	65.3	16.3	4.1	2.0	8.2	2.0	2.0
75歳以上	83	59.0	12.0	7.2	9.6	3.6	3.6	4.8			
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
F 1 性別	女性	F 2 年齢	20～24歳	34	58.8	11.8	8.8	14.7	0.0	5.9	0.0
			25～29歳	65	81.5	9.2	1.5	6.2	0.0	0.0	1.5
			30～34歳	92	87.0	4.3	2.2	2.2	1.1	0.0	3.3
			35～39歳	116	86.2	7.8	0.9	0.9	2.6	0.9	0.9
			40～44歳	88	86.4	5.7	4.5	0.0	1.1	0.0	2.3
			45～49歳	69	91.3	4.3	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4
			50～54歳	69	79.7	17.4	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4
			55～59歳	100	85.0	7.0	3.0	0.0	2.0	0.0	3.0
			60～64歳	103	72.8	14.6	5.8	0.0	2.9	0.0	3.9
			65～69歳	53	69.8	7.5	3.8	0.0	13.2	0.0	5.7
			70～74歳	69	75.4	13.0	5.8	1.4	1.4	0.0	2.9
75歳以上	92	62.0	9.8	3.3	3.3	4.3	5.4	12.0			
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0			

(2) 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段

問3 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段は何ですか。(○は1つ)

- ・ 「徒歩」(43.6%) が最も多く、次いで「自家用車」(25.8%)、「自転車」(13.3%)、「バス」(8.5%)、「鉄道」(4.0%)、「原付・バイク」(3.3%) と続いている。

図 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段



■ 居住地域別 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段(F3×問3)

- ・ 「徒歩」では「神西神北」が7割を超えて最も多く、「青木」、「大口七島」、「神奈川幸ヶ谷」、「子安入江」でも半数を超えている。「自転車」が多いのは「神ノ木西寺尾」で3割近くとなっている。「バス」は「菅田」、「羽沢」で多くそれぞれ4分の1以上である。また「自家用車」では「片倉三枚」、「菅田」、「羽沢」で4割を超えている。「鉄道」の割合が高いのは「三ツ沢」である。

表 居住地域別 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段

問3 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段

		全体	徒歩	自転車	原付・バイク	バス	自家用車	鉄道	その他	無回答
全 体		1,619	706	216	53	138	417	65	6	18
		100.0	43.6	13.3	3.3	8.5	25.8	4.0	0.4	1.1
F3 居住地域	青木	161	59.0	10.6	4.3	3.1	18.0	4.3	0.6	0.0
	大口七島	97	52.6	16.5	3.1	1.0	21.6	4.1	0.0	1.0
	片倉三枚	116	35.3	12.1	2.6	4.3	44.0	0.9	0.0	0.9
	神奈川幸ヶ谷	158	53.8	15.8	1.3	3.2	19.6	5.7	0.6	0.0
	神ノ木西寺尾	126	40.5	27.0	4.0	4.8	19.8	0.8	0.8	2.4
	子安入江	119	52.9	17.6	1.7	1.7	16.0	7.6	0.0	2.5
	白幡浦島丘	117	45.3	17.9	2.6	4.3	23.1	4.3	0.9	1.7
	神西神北	125	71.2	9.6	1.6	3.2	8.8	4.8	0.0	0.8
	神大寺	83	41.0	10.8	4.8	12.0	30.1	0.0	0.0	1.2
	菅田	130	16.2	5.4	6.2	25.4	43.8	0.0	0.8	2.3
	羽沢	80	8.8	5.0	1.3	28.8	52.5	2.5	0.0	1.3
	松見	80	43.8	17.5	3.8	5.0	27.5	2.5	0.0	0.0
	三ツ沢	112	25.0	8.0	5.4	15.2	30.4	15.2	0.9	0.0
	六角橋	84	46.4	11.9	2.4	14.3	21.4	1.2	0.0	2.4
無回答	31	45.2	9.7	6.5	19.4	16.1	3.2	0.0	0.0	

■ 男女別・年齢別 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段(F1×F2×問3)

- ・ 「徒歩」では「25～29歳・男女」と、「75歳以上・男性」、70代以上の女性で5割を超えている。「自転車」は、「20～24歳・男性」、30代から40代前半の女性の利用が多い。「バス」は高齢者の利用が顕著であり、「75歳以上・男性」と70歳以上の女性で2割を超えている。また「自家用車」については、30代後半から50代前半の男性の4割が挙げている。

表 男女別・年齢別 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段

問3 食料品や日用品を購入する際の主な交通手段

				全体	徒歩	自転車	原付・バイク	バス	自家用車	鉄道	その他	無回答
全体				1,619	706	216	53	138	417	65	6	18
				100.0	43.6	13.3	3.3	8.5	25.8	4.0	0.4	1.1
F1 性別	男性	F2 年齢	20～24歳	27	48.1	22.2	11.1	0.0	3.7	14.8	0.0	0.0
			25～29歳	49	53.1	16.3	12.2	2.0	12.2	4.1	0.0	0.0
			30～34歳	51	39.2	15.7	7.8	3.9	31.4	2.0	0.0	0.0
			35～39歳	67	34.3	9.0	6.0	3.0	44.8	3.0	0.0	0.0
			40～44歳	74	37.8	10.8	0.0	0.0	48.6	1.4	1.4	0.0
			45～49歳	54	40.7	7.4	3.7	0.0	42.6	3.7	0.0	1.9
			50～54歳	44	31.8	4.5	4.5	6.8	43.2	4.5	0.0	4.5
			55～59歳	69	44.9	7.2	2.9	2.9	36.2	5.8	0.0	0.0
			60～64歳	61	42.6	11.5	1.6	4.9	37.7	1.6	0.0	0.0
			65～69歳	59	33.9	15.3	1.7	8.5	37.3	3.4	0.0	0.0
			70～74歳	47	40.4	14.9	0.0	14.9	21.3	6.4	2.1	0.0
75歳以上	76	55.3	9.2	0.0	21.1	7.9	2.6	1.3	2.6			
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
F1 性別	女性	F2 年齢	20～24歳	32	46.9	18.8	3.1	9.4	15.6	6.3	0.0	0.0
			25～29歳	64	56.3	4.7	6.3	1.6	18.8	12.5	0.0	0.0
			30～34歳	89	41.6	23.6	3.4	3.4	23.6	2.2	0.0	2.2
			35～39歳	114	34.2	21.9	5.3	6.1	28.1	3.5	0.9	0.0
			40～44歳	86	37.2	26.7	0.0	4.7	26.7	1.2	0.0	3.5
			45～49歳	68	36.8	14.7	7.4	5.9	29.4	4.4	0.0	1.5
			50～54歳	68	45.6	10.3	1.5	10.3	29.4	2.9	0.0	0.0
			55～59歳	97	47.4	17.5	1.0	6.2	22.7	3.1	0.0	2.1
			60～64歳	99	43.4	15.2	2.0	11.1	22.2	5.1	0.0	1.0
			65～69歳	50	46.0	10.0	8.0	14.0	10.0	10.0	2.0	0.0
			70～74歳	67	53.7	1.5	1.5	26.9	11.9	4.5	0.0	0.0
75歳以上	76	64.5	1.3	0.0	21.1	6.6	1.3	1.3	3.9			
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

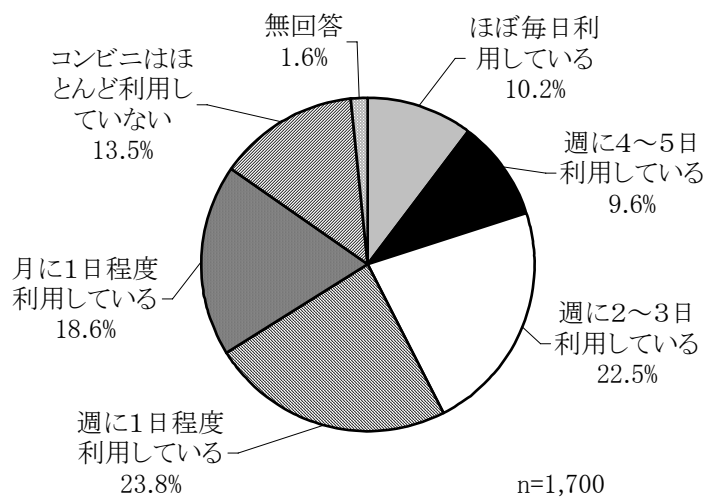
3) コンビニエンスストアの利用について

(1) コンビニエンスストアの利用頻度

問4 あなたはコンビニエンスストアをどの程度利用していますか。(○は1つ)

- 「週に1日程度利用している」(23.8%) が最も多く、次いで「週に2～3日利用している」(22.5%) である。「週に4～5日利用している」(9.6%)、「ほぼ毎日利用している」(10.2%) をあわせると、66.1%の人が週に1日以上コンビニエンスストアを利用しており、区民生活に身近な存在であることがわかる。なお、「月に1回程度利用している」(18.6%)、「コンビニエンスストアはほとんど利用していない」(13.5%) となっている。

図 コンビニエンスストアの利用頻度



■男女別・年齢別 コンビニエンスストア利用頻度(F1×F2×問4)

- 「ほぼ毎日利用している」の割合は20代の男女が顕著であり、特に「25～29歳・男性」では4割近くが「ほぼ毎日利用している」としている。女性では「25～29歳」で利用頻度が高い。「週に2～3日利用している」、「週に4～5日利用している」、「ほぼ毎日利用している」を合わせた数字では、20代男性で8割以上となっており、男性では40代までが6割以上となっている。全体的にみて、女性よりも男性の方がコンビニエンスストアの利用頻度が高いことがわかる。

表 男女別・年齢別 コンビニエンスストアの利用頻度

問4 コンビニの利用頻度

				全体	ほぼ毎日 利用して いる	週に4～ 5日利用 している	週に2～ 3日利用 している	週に1日 程度利用 している	月に1日 程度利用 している	コンビニ はほとん ど利用し ていない	無回答	週に2日 以上の利 用
全 体				1,700 100.0	174 10.2	164 9.6	383 22.5	404 23.8	317 18.6	230 13.5	28 1.6	42.4
F 1 性別	男性	F 2 年齢	20～24歳	28	21.4	35.7	25.0	10.7	3.6	0.0	3.6	82.1
			25～29歳	50	38.0	16.0	28.0	12.0	2.0	4.0	0.0	82.0
			30～34歳	52	26.9	13.5	30.8	21.2	5.8	1.9	0.0	71.2
			35～39歳	70	15.7	15.7	32.9	21.4	7.1	5.7	1.4	64.3
			40～44歳	77	20.8	14.3	28.6	24.7	10.4	1.3	0.0	63.6
			45～49歳	57	19.3	12.3	35.1	17.5	8.8	7.0	0.0	66.7
			50～54歳	46	8.7	8.7	30.4	26.1	13.0	13.0	0.0	47.8
			55～59歳	73	13.7	5.5	23.3	21.9	24.7	9.6	1.4	42.5
			60～64歳	64	6.3	6.3	17.2	29.7	21.9	17.2	1.6	29.7
			65～69歳	64	3.1	9.4	25.0	20.3	29.7	12.5	0.0	37.5
70～74歳	49	4.1	8.2	20.4	36.7	12.2	18.4	0.0	32.7			
75歳以上	83	7.2	13.3	21.7	20.5	12.0	20.5	4.8	42.2			
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
F 1 性別	女性	F 2 年齢	20～24歳	34	14.7	23.5	26.5	23.5	8.8	2.9	0.0	64.7
			25～29歳	65	24.6	16.9	30.8	16.9	7.7	3.1	0.0	72.3
			30～34歳	92	8.7	9.8	20.7	30.4	23.9	6.5	0.0	39.1
			35～39歳	116	8.6	5.2	23.3	38.8	19.0	5.2	0.0	37.1
			40～44歳	88	5.7	9.1	25.0	29.5	20.5	9.1	1.1	39.8
			45～49歳	69	7.2	10.1	18.8	36.2	21.7	5.8	0.0	36.2
			50～54歳	69	2.9	8.7	10.1	26.1	27.5	24.6	0.0	21.7
			55～59歳	100	1.0	4.0	15.0	22.0	33.0	24.0	1.0	20.0
			60～64歳	103	0.0	3.9	14.6	26.2	34.0	19.4	1.9	18.4
			65～69歳	53	5.7	0.0	22.6	18.9	26.4	26.4	0.0	28.3
70～74歳	69	5.8	8.7	11.6	15.9	23.2	29.0	5.8	26.1			
75歳以上	92	6.5	6.5	19.6	10.9	16.3	32.6	7.6	32.6			
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0			

■地域別 コンビニエンスストア利用頻度(F3×問4)

- ・ 「ほぼ毎日利用している」の割合をみると「大口七島」(16.0%)が最も高く、「週に2日以上の利用」の割合でも「大口七島」のみ半数を超えており、利用頻度が高い地域であることがうかがえる。また「神奈川幸ヶ谷」(49.7%)、「青木」(48.8%)でも高い。
- ・ 一方「菅田」では「ほぼ毎日利用している」(5.3%)が最も低い。また「週に2日以上の利用」の割合で見ると、「神ノ木西寺尾」(30.8%)、「松見」(33.3%)、「羽沢」(33.7%)で低くなっている。

表 地域別 コンビニエンスストアの利用頻度

問4 コンビニの利用頻度

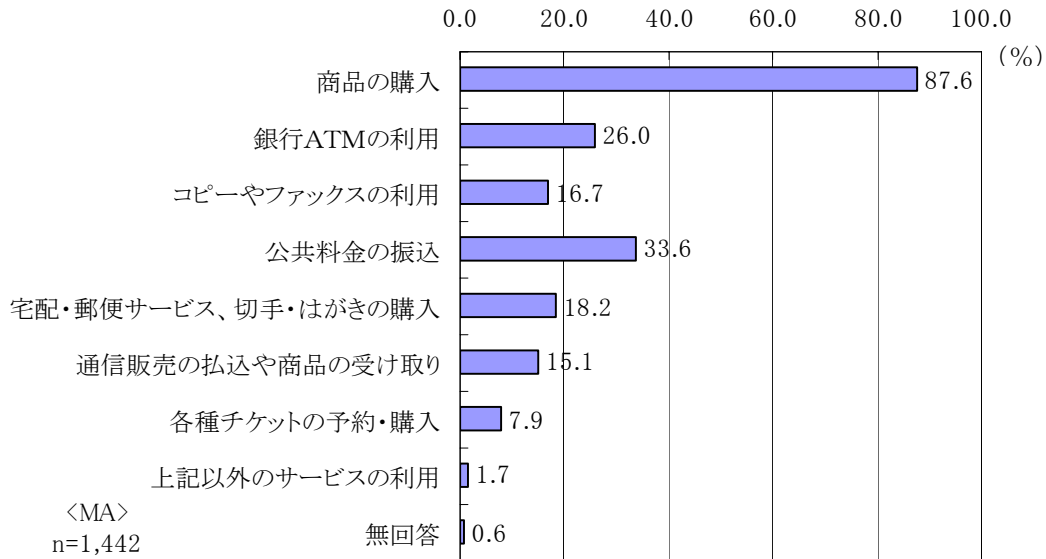
		全体	ほぼ毎日 利用して いる	週に4～ 5日利用 している	週に2～ 3日利用 している	週に1日 程度利用 している	月に1日 程度利用 している	コンビニ はほとん ど利用し ていない	無回答	週に2日 以上の利 用
全 体		1,700	174	164	383	404	317	230	28	
		100.0	10.2	9.6	22.5	23.8	18.6	13.5	1.6	42.4
F3	青木	168	8.3	10.1	30.4	23.8	16.7	10.1	0.6	48.8
居住地域	大口七島	106	16.0	14.2	20.8	21.7	17.0	7.5	2.8	50.9
	片倉三枚	120	9.2	10.0	23.3	23.3	17.5	14.2	2.5	42.5
	神奈川幸ヶ谷	169	13.6	11.8	24.3	23.7	13.0	11.8	1.8	49.7
	神ノ木西寺尾	130	9.2	6.2	15.4	28.5	24.6	15.4	0.8	30.8
	子安入江	122	9.8	15.6	20.5	21.3	18.0	14.8	0.0	45.9
	白幡浦島丘	121	9.1	7.4	24.0	27.3	19.8	11.6	0.8	40.5
	神西神北	135	14.1	8.9	22.2	20.7	15.6	16.3	2.2	45.2
	神大寺	88	9.1	9.1	23.9	25.0	23.9	8.0	1.1	42.0
	菅田	132	5.3	9.1	23.5	25.0	12.9	21.2	3.0	37.9
	羽沢	83	8.4	6.0	19.3	22.9	26.5	14.5	2.4	33.7
	松見	81	11.1	1.2	21.0	24.7	24.7	16.0	1.2	33.3
	三ツ沢	122	12.3	5.7	23.0	24.6	18.0	13.9	2.5	41.0
	六角橋	89	7.9	15.7	19.1	22.5	24.7	10.1	0.0	42.7
	無回答	34	5.9	14.7	20.6	14.7	14.7	23.5	5.9	41.2

(2) コンビニエンスストアの利用目的

問5 どのような目的でコンビニエンスストアを利用していますか。(〇はいくつでも)

- ・ 「商品の購入」(87.6%) が最も多く、次いで「公共料金の振込」(33.6%)、「銀行ATMの利用」(26.0%)、「宅配・郵便サービス、切手・はがきの購入」(18.2%)、「コピーやファックスの利用」(16.7%)、「通信販売の払込や商品の受け取り」(15.1%)、「各種チケットの予約・購入」(7.9%)、「上記以外のサービスの利用」(1.7%) となっている。

図 コンビニエンスストアの利用目的



■年齢別 コンビニエンスストア利用目的(F2×問5)

- ・ いずれの年齢も「商品の購入」が最も多く、特に40代までは9割以上が挙げている。また「銀行ATMの利用」は年齢層が若いほど利用が高い傾向がみられ、30代前半までは4割以上が挙げている。

表 年齢別 コンビニエンスストアの利用目的

問5 コンビニ利用の目的 (複数回答)

		全体	商品の購入	銀行ATMの利用	コピーやファックスの利用	公共料金の振込	宅配・郵便サービス、切手・はがきの購入	通信販売の払込や商品の受け取り	各種チケットの予約・購入	上記以外のサービスの利用	無回答	
全体		1,442	1,263	375	241	484	263	218	114	24	9	
			—	87.6	26.0	16.7	33.6	18.2	15.1	7.9	1.7	0.6
F2 年齢	20～24歳	60	98.3	46.7	20.0	25.0	8.3	8.3	15.0	3.3	0.0	
	25～29歳	111	93.7	46.8	10.8	43.2	18.9	11.7	16.2	0.9	0.0	
	30～34歳	137	92.7	40.9	16.1	34.3	14.6	10.2	10.2	0.7	0.0	
	35～39歳	176	93.8	34.7	11.4	32.4	17.6	15.9	10.8	1.7	0.0	
	40～44歳	155	94.8	28.4	13.5	31.6	18.7	19.4	15.5	1.3	0.0	
	45～49歳	119	93.3	34.5	22.7	39.5	21.8	16.8	5.9	0.8	0.0	
	50～54歳	92	82.6	28.3	17.4	40.2	28.3	21.7	14.1	3.3	0.0	
	55～59歳	141	85.8	22.7	19.1	33.3	22.7	19.1	2.8	0.7	0.0	
	60～64歳	133	75.2	9.8	21.1	39.1	17.3	15.0	2.3	1.5	1.5	
	65～69歳	96	74.0	9.4	20.8	33.3	19.8	12.5	1.0	2.1	1.0	
	70～74歳	85	84.7	2.4	20.0	20.0	14.1	12.9	1.2	2.4	0.0	
75歳以上	120	81.7	8.3	14.2	24.2	12.5	13.3	0.0	3.3	5.0		
無回答	17	70.6	5.9	11.8	41.2	23.5	11.8	5.9	0.0	0.0		

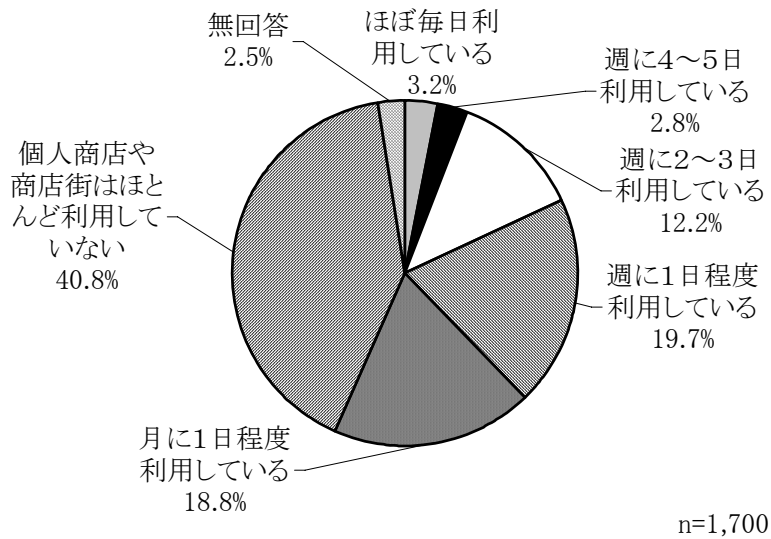
4) 個人商店や商店街の利用について

(1) 個人商店や商店街の利用頻度

問6 あなたは個人商店や商店街をどの程度利用していますか。(○は1つ)

- ・ 「個人商店や商店街は利用していない」(40.8%)が最も多く、次いで「週に1日程度利用している」(19.7%)、「月に1日程度利用している」(18.8%)、「週に2～3日利用している」(12.2%)と続いている。「ほぼ毎日利用している」は3.2%、「週に4～5日利用している」は2.8%にとどまっている。

図 個人商店や商店街の利用頻度



■ 年齢別 個人商店や商店街の利用頻度(F2×問6)

- ・ 年齢が上がるにつれて「個人商店や商店街はほとんど利用していない」の割合が低くなる傾向がみられ、20代から30代では半数前後が「ほとんど利用していない」としているが、70代では3割に達していない。
- ・ 「週に2～3日利用している」、「週に4～5日利用している」、「ほぼ毎日利用している」をあわせた割合では「75歳以上」、「60～64歳」の割合が高くなっている。

表 年齢別 個人商店や商店街の利用頻度

問6 個人商店や商店街の利用頻度

		全体	ほぼ毎日 利用して いる	週に4～ 5日利用 している	週に2～ 3日利用 している	週に1日 程度利用 している	月に1日 程度利用 している	個人商店 や商店街 はほとん ど利用し ていない	無回答	週2日以 上
全 体		1,700 100.0	54 3.2	47 2.8	208 12.2	335 19.7	320 18.8	694 40.8	42 2.5	18.2
F 2 年齢	20～24歳	62	0.0	0.0	8.1	21.0	14.5	56.5	0.0	8.1
	25～29歳	115	1.7	0.9	14.8	12.2	21.7	48.7	0.0	17.4
	30～34歳	144	0.7	0.7	7.6	18.8	21.5	50.0	0.7	9.0
	35～39歳	187	0.5	3.2	10.2	11.8	21.9	50.8	1.6	13.9
	40～44歳	165	1.8	2.4	9.1	17.6	21.2	46.1	1.8	13.3
	45～49歳	127	3.1	3.1	13.4	22.0	22.8	34.6	0.8	19.7
	50～54歳	115	6.1	1.7	7.8	16.5	22.6	44.3	0.9	15.7
	55～59歳	174	2.3	2.3	11.5	23.6	17.8	40.8	1.7	16.1
	60～64歳	167	4.2	5.4	17.4	16.2	18.6	35.9	2.4	26.9
	65～69歳	118	5.1	2.5	10.2	27.1	18.6	33.1	3.4	17.8
	70～74歳	119	2.5	5.0	10.9	35.3	12.6	29.4	4.2	18.5
	75歳以上	180	7.2	3.9	19.4	20.6	13.3	28.3	7.2	30.6
無回答	27	11.1	0.0	22.2	14.8	3.7	33.3	14.8	33.3	

■居住地域別 個人商店や商店街の利用頻度(F3×問6)

- ・ 「個人商店や商店街はほとんど利用していない」の割合が高いのは、「片倉三枚」、「神奈川幸ヶ谷」、「神大寺」、「菅田」の各地域でいずれも半数以上である。一方「大口七島」では他の地域と比べて「個人商店や商店街はほとんど利用していない」の割合が低く、16.0%にとどまっている。
- ・ 「週に2～3日利用している」、「週に4～5日利用している」、「ほぼ毎日利用している」をあわせた割合では「大口七島」の割合が34.9%で最も高くなっている。次いで「三ツ沢」、「白幡浦島丘」、「子安入江」の順でいずれも2割を超えている。

表 居住地域別 個人商店や商店街の利用頻度

問6 個人商店や商店街の利用頻度

		全体	ほぼ毎日 利用して いる	週に4～ 5日利用 している	週に2～ 3日利用 している	週に1日 程度利用 している	月に1日 程度利用 している	個人商店 や商店街 はほとん ど利用し ていない	無回答	週2日以 上
全 体		1,700	54	47	208	335	320	694	42	
		100.0	3.2	2.8	12.2	19.7	18.8	40.8	2.5	18.2
F 3 居住地域	青木	168	1.8	1.8	10.1	16.7	20.2	47.6	1.8	13.7
	大口七島	106	7.5	5.7	21.7	27.4	16.0	16.0	5.7	34.9
	片倉三枚	120	3.3	0.8	6.7	15.8	15.8	54.2	3.3	10.8
	神奈川幸ヶ谷	169	1.8	1.2	7.7	13.6	16.0	55.6	4.1	10.7
	神ノ木西寺尾	130	3.1	0.0	9.2	23.8	28.5	34.6	0.8	12.3
	子安入江	122	5.7	6.6	13.1	21.3	15.6	36.1	1.6	25.4
	白幡浦島丘	121	2.5	5.0	18.2	24.8	21.5	26.4	1.7	25.6
	神西神北	135	2.2	1.5	14.1	20.0	17.8	40.7	3.7	17.8
	神大寺	88	1.1	1.1	9.1	17.0	19.3	51.1	1.1	11.4
	菅田	132	0.8	3.8	6.8	16.7	14.4	53.8	3.8	11.4
	羽沢	83	1.2	3.6	12.0	16.9	24.1	41.0	1.2	16.9
	松見	81	2.5	1.2	16.0	23.5	21.0	34.6	1.2	19.8
	三ツ沢	122	4.9	5.7	17.2	18.9	18.0	34.4	0.8	27.9
	六角橋	89	5.6	2.2	11.2	25.8	21.3	32.6	1.1	19.1
	無回答	34	8.8	0.0	20.6	17.6	8.8	38.2	5.9	29.4

(2) 地域の商店街への期待

問7 地域の商店街があなたにとって「行ってみたい場所」となるために、期待することは何ですか。
自由にお書き下さい。

- ・ 地域の商店街への期待については、全部で1,581件の意見が出された。内容を分類したところ、「商品・価格」に関する意見が678件と最も多く、次いで「店舗・設備」(298件)、「環境・雰囲気」(228件)、「サービス」(176件)、「接客」(119件)、「立地」(55件)となっており、多岐にわたっている。
- ・ 「商品・価格」については、「豊富な品揃え」と「低価格」に対する意見が特に多く、「店舗・設備」については、「店舗数の多さ」と「駐車場、駐輪場の設置」に関する意見が多くなっている。「環境・雰囲気」については、「活気があること」に関する意見が約半数を占めており、「清潔感」への期待も多くなっている。また「イベントの実施」、「営業時間の拡大」など「サービス」全般に関する意見も多く出されたほか、「親切・丁寧な対応」などの「接客」に関する意見もみられた。

表 地域の商店街が「行ってみたい場所」となるために、期待すること

分類	件数	意見内容	件数
商品・価格	678	豊富な品揃え	226
		低価格	207
		新鮮な商品	70
		質の良い商品	67
		他にはない、専門的な商品	41
		新しい商品	20
		おいしい食品	17
		目玉商品	14
		小分け売り	5
		地元産の商品	5
		その他	6
		店舗・設備	298
駐車場、駐輪場の設置	64		
特徴のある店	36		
飲食店の充実	33		
専門店の充実	16		
広い店舗	15		
アーケードの設置	10		
各店舗の連携	9		
休憩所の設置	8		
センスがよい	7		
きれいなトイレ	6		
公共機関がある	3		
大型スーパー、複合施設の併設	2		
喫煙所がほしい	2		
公園がある	2		
子供用の施設	2		
道路の整備	2		
その他	8		

表 地域の商店街が「行ってみたい場所」となるために、期待すること（続き）

分類	件数	意見内容	件数		
環境・雰囲気	228	活気がある	102		
		清潔感	42		
		明るい	18		
		安心・安全	15		
		買い物がしやすい	11		
		楽しい雰囲気	10		
		親しみがある	8		
		きれいな町並み	7		
		昔ながらの雰囲気	6		
		ゆっくり買い物ができる	3		
		地域密着、コミュニティの場	3		
		その他	3		
サービス	176	サービスの充実	38		
		イベントの実施	37		
		営業時間の延長	34		
		積極的な広告・PR	20		
		安売りセール	13		
		宅配サービス	9		
		土日の営業	9		
		クーポン券・ポイントカード	8		
		商店街やお店の情報提供	5		
		その他	3		
		接客	119	親切、丁寧な対応	79
				気軽に店内に入れる雰囲気	16
専門知識を持っていて、教えてくれる	13				
店内の商品をゆっくりみられる	8				
その他	3				
立地	55	自宅近くにある	47		
		交通の便がよい	5		
		駅の近くにある	3		
その他	27	商店街の維持を望む	11		
		バス路線について	6		
		商店主の努力が必要	4		
		その他	6		
合計	1,581	合計	1,581		

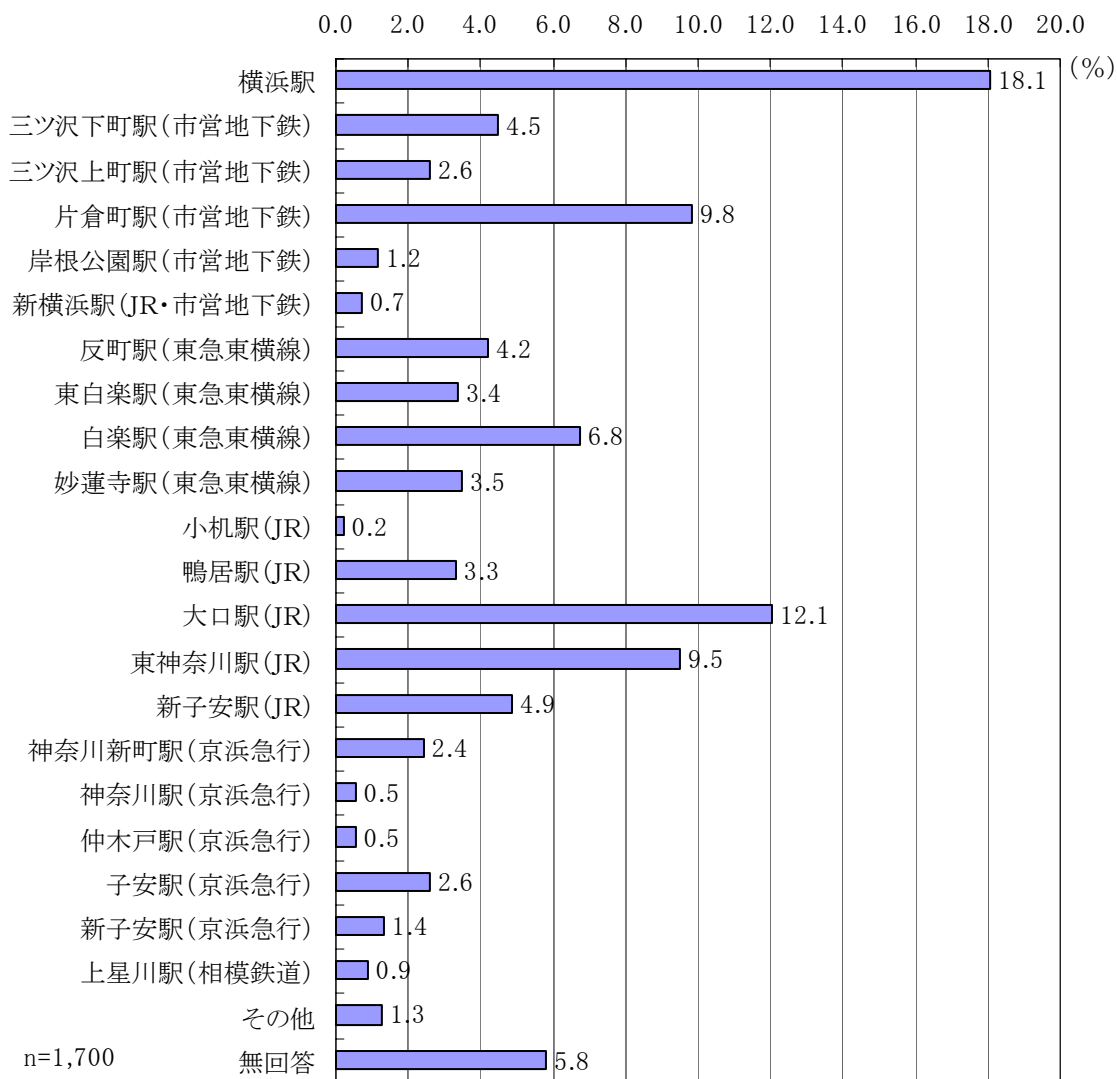
5) 鉄道駅の利用について

(1) 普段よく利用する最寄り駅

問8 あなたが普段よく利用する最寄り駅をお知らせください。(〇は1つ)

- ・ 「横浜駅」(18.1%) が最も多く、次いで「大口駅 (JR)」(12.1%)、「片倉町駅 (市営地下鉄)」(9.8%) 「東神奈川駅 (JR)」(9.5%)、「白楽駅 (東急東横線)」(6.8%) と続いている。他は5%以下の利用となっている。

図 普段よく利用する最寄り駅



■居住地域別 最寄り駅(F3×問8)

- 居住地域別に最寄り駅をみると、「片倉三枚」(68.3%が「片倉町駅」を利用)や「神ノ木西寺尾」(62.3%が「大口駅」を利用)など、特定の駅利用に集中している地域と、「神大寺」(「横浜駅」と「片倉町駅」)、「菅田」(「片倉町駅」と「鴨居駅」)など複数の駅利用に分散している地域がみられる。

表 居住地域別 普段よく利用する最寄り駅 (網かけはその地域で最も利用割合の高い駅)

問8 普段よく利用する最寄り駅

		全体	横浜 駅	三ツ 沢下 町駅 (市 営地 下 鉄)	三ツ 沢上 町駅 (市 営地 下 鉄)	片倉 町駅 (市 営地 下 鉄)	岸根 公園 駅 (市 営地 下 鉄)	新横 浜駅 (J R・ 市営 地下 鉄)	反町 駅 (東 急東 横 線)	東白 楽駅 (東 急東 横 線)	白楽 駅 (東 急東 横 線)	妙蓮 寺駅 (東 急東 横 線)	小机 駅 (J R)
全 体		1,700	307	76	44	167	20	12	71	57	115	59	4
		100.0	18.1	4.5	2.6	9.8	1.2	0.7	4.2	3.4	6.8	3.5	0.2
F 3 居住地域	青木	168	37.5	9.5	0.0	0.0	0.0	0.6	35.7	0.6	0.0	0.0	0.0
	大口七島	106	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.3	0.0
	片倉三枚	120	15.0	0.0	3.3	68.3	0.8	0.8	0.0	1.7	0.8	0.0	0.0
	神奈川幸ヶ谷	169	37.9	0.0	0.0	3.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
	神ノ木西寺尾	130	3.1	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	子安入江	122	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	白幡浦島丘	121	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	5.0	40.5	1.7	0.0
	神西神北	135	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	26.7	16.3	0.0	0.0
	神大寺	88	31.8	8.0	0.0	31.8	1.1	1.1	1.1	3.4	4.5	0.0	0.0
	菅田	132	15.9	0.0	0.0	31.1	0.0	0.8	0.0	1.5	0.0	0.0	2.3
	羽沢	83	59.0	0.0	3.6	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	松見	81	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	50.6	0.0
	三ツ沢	122	17.2	42.6	28.7	0.8	0.0	0.0	4.1	0.0	0.8	0.0	0.0
	六角橋	89	13.5	0.0	0.0	4.5	20.2	0.0	1.1	5.6	39.3	0.0	0.0
	無回答	34	11.8	2.9	2.9	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	8.8	2.9	0.0

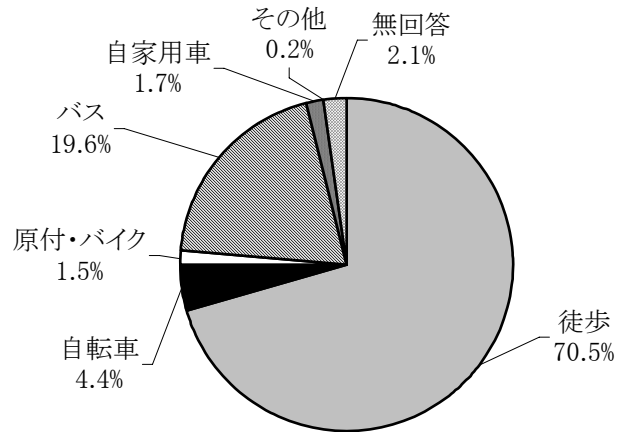
		全体	鴨居 駅 (J R)	大口 駅 (J R)	東神 奈川 駅 (J R)	新子 安駅 (J R)	神奈 川新 町駅 (京 浜急 行)	神奈 川 駅 (京 浜急 行)	仲木 戸駅 (京 浜急 行)	子安 駅 (京 浜急 行)	新子 安駅 (京 浜急 行)	上星 川駅 (相 模鉄 道)	その 他	無回 答
全 体		1,700	56	205	162	83	41	9	9	44	23	15	22	99
		100.0	3.3	12.1	9.5	4.9	2.4	0.5	0.5	2.6	1.4	0.9	1.3	5.8
F 3 居住地域	青木	168	0.0	0.6	7.1	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	大口七島	106	0.0	53.8	0.9	2.8	0.0	0.0	0.0	19.8	0.0	0.0	0.0	8.5
	片倉三枚	120	0.8	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	5.8
	神奈川幸ヶ谷	169	0.6	0.0	25.4	0.0	17.2	4.7	1.2	0.6	0.6	0.0	0.0	7.1
	神ノ木西寺尾	130	0.0	62.3	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	1.5	4.6	0.0	6.2	4.6
	子安入江	122	0.0	17.2	0.0	46.7	0.8	0.0	0.0	14.8	12.3	0.0	0.0	5.7
	白幡浦島丘	121	0.0	6.6	21.5	0.0	8.3	0.0	2.5	0.8	0.0	0.0	0.0	5.0
	神西神北	135	0.0	1.5	37.0	0.7	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.7	6.7
	神大寺	88	0.0	0.0	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8
	菅田	132	38.6	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	3.8
	羽沢	83	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.1	2.4	4.8
	松見	81	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.3	1.2
	三ツ沢	122	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9
	六角橋	89	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	無回答	34	2.9	23.5	8.8	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	8.8

(2)最寄り駅までの交通手段

問9 あなたが利用する最寄り駅までの交通手段をお知らせください。(〇は1つ)

- ・ 「徒歩」(70.5%) が最も多く、次いで「バス」(19.6%)、「自転車」(4.4%)、「自家用車」(1.7%)、「原付・バイク」(1.5%)、「その他」(0.2%) となっている。

図 最寄り駅までの交通手段



n=1,700

■年齢別 最寄り駅までの交通手段(F2×問9)

- ・ 年齢別にみると、年齢があがるにつれて「徒歩」の割合が減り、「バス」の割合が高くなっている。50代後半になると「バス」の利用が2割を超え、70代以上では3割以上の利用となっている。「自転車」は20代から30代前半の利用が中心となっている。

■居住地域別 最寄り駅までの交通手段(F3×問9)

- ・ 居住地域別にみると、「菅田」、「羽沢」、「神大寺」以外の地域では「徒歩」の割合が6割以上となっており、特に「大口七島」、「子安入江」、「神西神北」の3地域では「徒歩」の割合が9割を超えている。「神ノ木西寺尾」では「自転車」の利用が他の地域に比べて高くなっている。
- ・ 「菅田」と「羽沢」では「徒歩」の割合が2割に満たず、「バス」の割合が高くなっており、「菅田」で72.0%、「羽沢」で67.5%の利用となっている。「神大寺」でも「バス」の割合が4割を超えている。

表 年齢別、居住地域別 最寄り駅までの交通手段

問9 最寄り駅までの交通手段

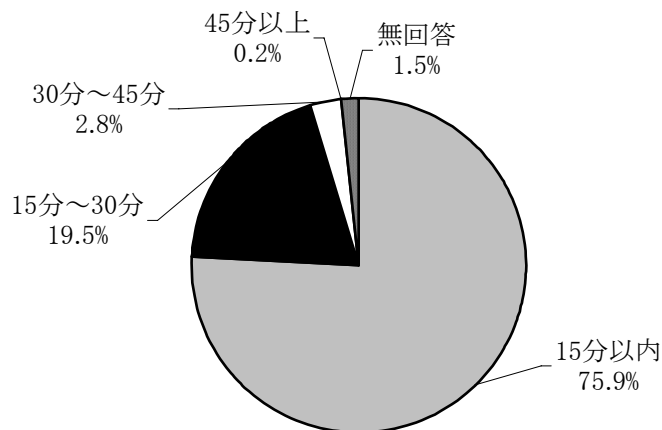
		全体	徒歩	自転車	原付・バイク	バス	自家用車	その他	無回答
全 体		1,700	1,198	75	25	334	29	3	36
		100.0	70.5	4.4	1.5	19.6	1.7	0.2	2.1
F 2 年齢	20～24歳	62	71.0	11.3	6.5	8.1	1.6	0.0	1.6
	25～29歳	115	73.9	7.0	4.3	12.2	0.9	0.0	1.7
	30～34歳	144	75.7	9.0	1.4	9.7	3.5	0.0	0.7
	35～39歳	187	70.6	6.4	2.1	19.3	0.5	0.0	1.1
	40～44歳	165	79.4	3.6	0.0	16.4	0.6	0.0	0.0
	45～49歳	127	74.0	4.7	3.9	14.2	1.6	0.0	1.6
	50～54歳	115	76.5	3.5	0.9	15.7	1.7	0.0	1.7
	55～59歳	174	74.7	1.7	0.0	21.3	1.1	0.0	1.1
	60～64歳	167	65.3	4.2	1.2	23.4	3.0	0.0	3.0
	65～69歳	118	67.8	3.4	1.7	22.0	2.5	0.0	2.5
	70～74歳	119	63.0	0.8	0.0	31.1	1.7	0.8	2.5
	75歳以上	180	58.3	1.1	0.0	31.7	2.2	1.1	5.6
	無回答	27	59.3	7.4	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1
F 3 居住地域	青木	168	85.1	3.0	1.8	7.1	0.6	0.6	1.8
	大口七島	106	90.6	3.8	0.0	1.9	0.9	0.0	2.8
	片倉三枚	120	74.2	2.5	0.8	16.7	4.2	0.0	1.7
	神奈川幸ヶ谷	169	81.1	4.1	0.6	11.8	0.6	0.0	1.8
	神ノ木西寺尾	130	60.0	16.9	3.1	16.2	0.8	0.0	3.1
	子安入江	122	96.7	0.0	0.0	1.6	0.8	0.0	0.8
	白幡浦島丘	121	79.3	7.4	1.7	9.1	0.8	0.8	0.8
	神西神北	135	92.6	0.7	0.0	3.7	0.7	0.0	2.2
	神大寺	88	44.3	8.0	2.3	40.9	0.0	0.0	4.5
	菅田	132	15.9	2.3	2.3	72.0	6.1	0.0	1.5
	羽沢	83	19.3	0.0	2.4	67.5	8.4	0.0	2.4
	松見	81	82.7	4.9	2.5	7.4	1.2	0.0	1.2
	三ツ沢	122	73.8	4.1	4.1	13.9	0.0	0.8	3.3
	六角橋	89	68.5	3.4	0.0	27.0	1.1	0.0	0.0
		無回答	34	64.7	5.9	0.0	20.6	0.0	0.0

(3)最寄り駅までの所要時間

問 10 あなたが利用する最寄り駅までの所要時間をお知らせください。(○は1つ)

- ・ 「15分以内」(75.9%)が最も多く、次いで「15～30分」(19.5%)、「30～45分」(2.8%)、「45分以上」(0.2%)となっている。

図 最寄り駅までの所要時間



n=1,700

■ 居住地域別 最寄り駅までの所要時間(F3×問10)

- ・ 居住地域別にみると、「菅田」、「羽沢」、「神大寺」以外の地域では「15分以内」が7割以上となっており、特に「大口七島」、「子安入江」、「松見」の3地域では9割を超えている。問9の最寄り駅までの交通手段とあわせてみると、「大口七島」、「子安入江」の2地域は徒歩での移動が9割を超えていることから、最寄り駅までのアクセスが良好であるといえる。「羽沢」では「15～30分」の割合が68.7%と7割近くを占めている。また「羽沢」と「菅田」では、「30～45分」の割合が他の地域と比べて高くなっている。

表 居住地域別 最寄り駅までの所要時間

問10 最寄り駅までの所要時間

		全体	15分以内	15分～30分	30分～45分	45分以上	無回答
全 体		1,700	1,290	332	48	4	26
		100.0	75.9	19.5	2.8	0.2	1.5
F3	青木	168	83.9	12.5	1.2	0.0	2.4
居住地域	大口七島	106	92.5	5.7	0.0	0.0	1.9
	片倉三枚	120	75.8	20.8	2.5	0.8	0.0
	神奈川幸ヶ谷	169	87.6	10.7	1.2	0.0	0.6
	神ノ木西寺尾	130	71.5	24.6	1.5	0.0	2.3
	子安入江	122	95.1	4.1	0.0	0.0	0.8
	白幡浦島丘	121	80.2	17.4	0.0	0.8	1.7
	神西神北	135	89.6	7.4	0.7	0.0	2.2
	神大寺	88	52.3	43.2	2.3	0.0	2.3
	菅田	132	43.2	40.2	13.6	0.8	2.3
	羽沢	83	15.7	68.7	14.5	0.0	1.2
	松見	81	90.1	8.6	0.0	0.0	1.2
	三ツ沢	122	84.4	12.3	2.5	0.0	0.8
	六角橋	89	71.9	25.8	2.2	0.0	0.0
	無回答	34	85.3	2.9	2.9	2.9	5.9

6)生活価値観について

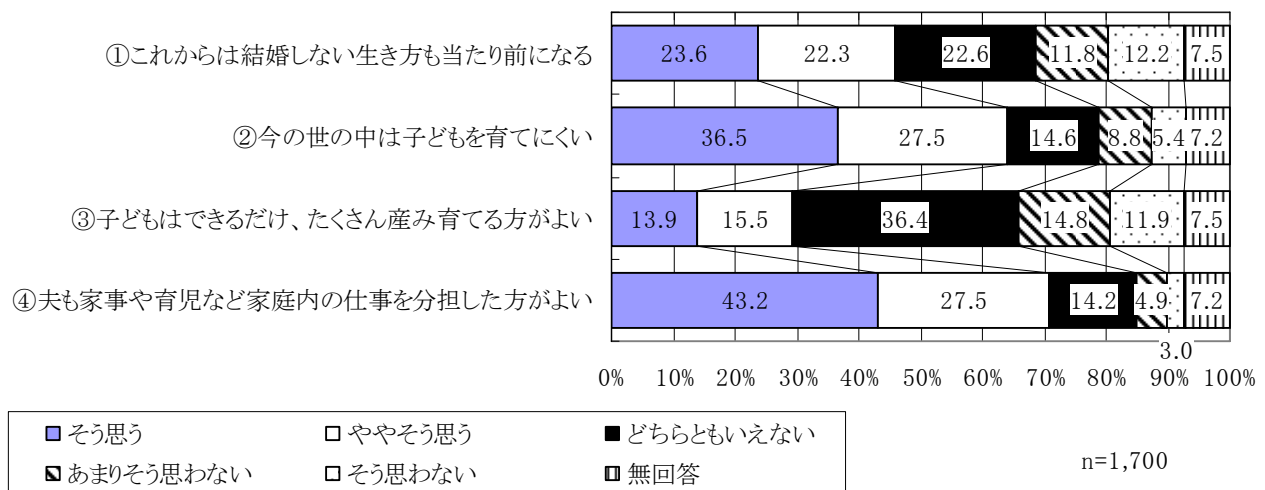
問 11 あなたは次にあげる①～⑭の意見についてどう思われますか。右欄の「そう思う」から「そう思わない」までの中から選んで記号に○をつけてください。(それぞれ○は一つ)

【注】問 11 は、区民の生活行動の前提となる生活価値観を把握するために設定したもので、全市の状況と比較できるようにするために、「平成 12 年度横浜市民意識調査」と同じ設問で調査を行った。
なお、特に顕著な傾向が表れたものについては、表中の数値を網掛けで表示した。

(1)結婚・子どもに関するもの(①～④)

- ・ 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「これからは結婚しない生き方も当たり前になる」45.9%、「今の世の中は子どもを育てにくい」64.0%、「子どもはできるだけ、たくさん産み育てる方がよい」29.4%、「夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい」70.7%である。「夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい」については7割で特に支持が高くなっている。
- ・ 「子どもはできるだけ、たくさん産み育てる方がよい」については「どちらともいえない」(36.4%)の割合が高い。

図 生活価値観／結婚・子どもに関するもの



■男女別 生活価値観／結婚・子どもに関するもの(F1×問11①～④)

- 男女別に「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、女性の方が高いのは「これからは結婚しない生き方も当たり前になる」、「今の世の中は子どもを育てにくい」、「夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい」であり、特に「夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい」は7割を超えている。

■年齢別 生活価値観／結婚・子どもに関するもの(F2×問11①～④)

- 年齢別にみると、「これからは結婚しない生き方も当たり前になる」については、「35～39歳」と「40～44歳」、「50～54歳」で半数を超えている。「今の世の中は子どもを育てにくい」は、「30～34歳」が76.4%で最も多く、現在子育て中の方が肯定していると考えられる。「子どもはできるだけ、たくさん産み育てる方がよい」については、「25～29歳」が4割を超えており最も高く、「20～24歳」も38.7%で、20代が肯定的であることが特徴である。

表 男女別、年齢別 生活価値観／結婚・子どもに関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

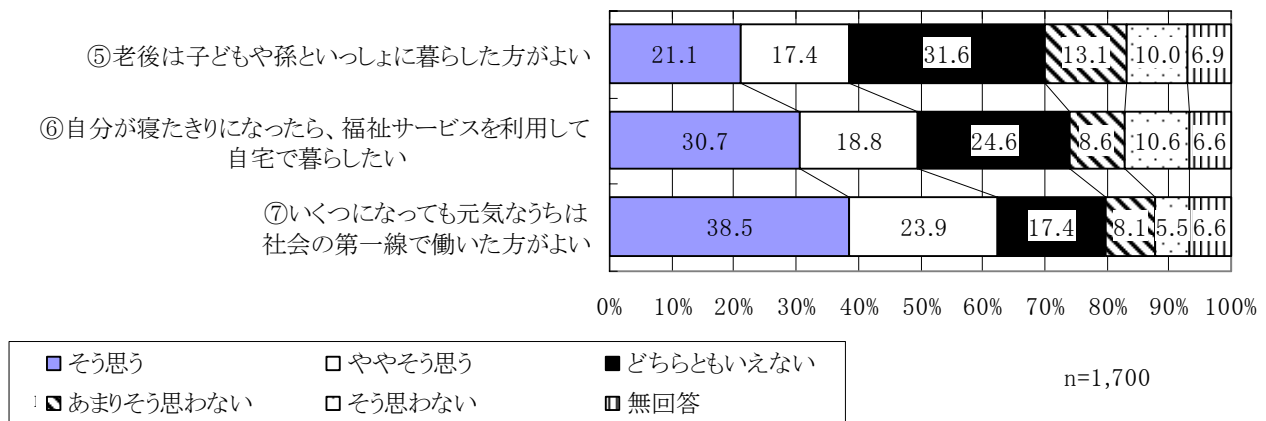
問11①～④

		全体	①これからは結婚しない生き方も当たり前になる	②今の世の中は子どもを育てにくい	③子どもはできるだけ、たくさん産み育てる方がよい	④夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい
全体		1,700 100.0	45.9	64.1	29.4	70.6
F 1 性別	男性	713	40.8	61.7	32.1	67.5
	女性	951	49.6	65.6	27.0	73.6
	無回答	36	50.0	69.4	36.1	55.6
F 2 年齢	20～24歳	62	41.9	54.8	38.7	80.6
	25～29歳	115	44.3	63.5	40.9	76.5
	30～34歳	144	49.3	76.4	31.3	79.2
	35～39歳	187	54.0	67.9	26.7	74.9
	40～44歳	165	53.9	69.7	24.2	71.5
	45～49歳	127	47.2	64.6	26.0	72.4
	50～54歳	115	51.3	65.2	24.3	76.5
	55～59歳	174	48.3	67.8	29.9	70.1
	60～64歳	167	43.7	59.9	19.8	65.9
	65～69歳	118	42.4	58.5	30.5	66.1
	70～74歳	119	39.5	62.2	37.0	64.7
	75歳以上	180	30.0	50.6	30.0	60.6
	無回答	27	59.3	77.8	48.1	55.6

(2) 老後の生き方に関するもの(⑤~⑦)

- ・ 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「老後は子どもや孫といっしょに暮らした方がよい」38.5%、「自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい」49.5%、「いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい」62.4%である。「自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい」は半数、「いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい」については6割が支持している。
- ・ 「老後は子どもや孫といっしょに暮らした方がよい」については「どちらともいえない」(31.6%)の割合が高い。

図 生活価値観／老後の生き方に関するもの



■男女別 生活価値観／老後の生き方に関するもの(F1×問11⑤～⑦)

- 男女別に「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、全ての項目で男性の方が高くなっている。特に「老後は子どもや孫といっしょに暮らした方がよい」は、女性が35.0%に対して男性が43.1%で8.1ポイントの差がある。

■年齢別 生活価値観／老後の生き方に関するもの(F2×問11⑤～⑦)

- 年齢別にみると、「老後は子どもや孫といっしょに暮らした方がよい」は「75歳以上」が45.6%で最も高くなっている。また20代から30代前半の若い年齢層でも4割を超えている。「自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい」については、「70～74歳」が60.5%で最も高くなっている。「いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい」は「20～24歳」が72.6%で最も高くなっており、「45～49歳」でも7割を超えている。

表 男女別、年齢別 生活価値観／老後の生き方に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

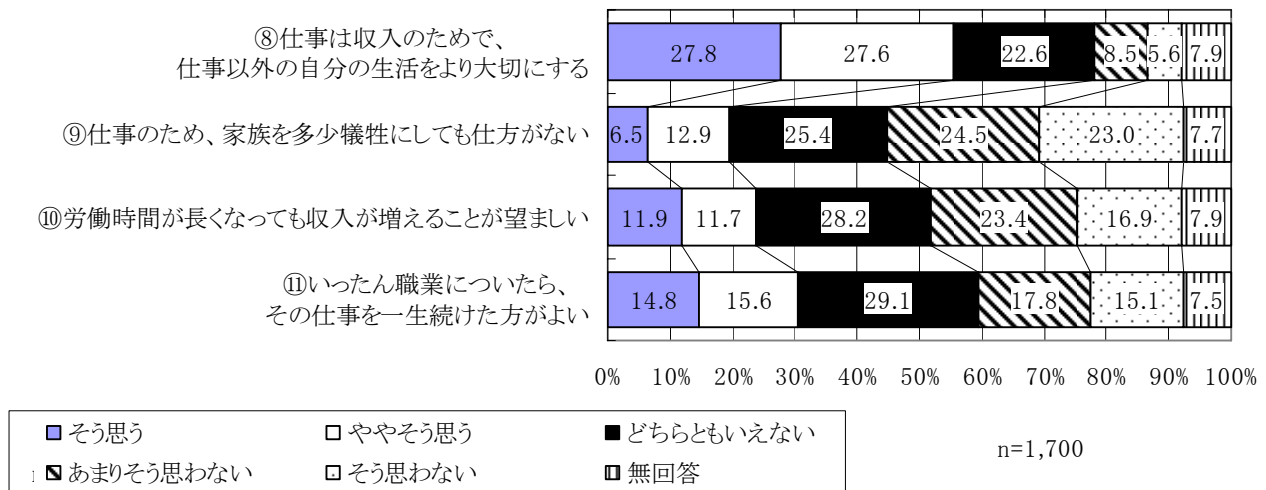
問11⑤～⑦

		全体	⑤老後は子どもや孫といっしょに暮らした方がよい	⑥自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい	⑦いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい
全体		1,700 100.0	38.5	49.5	62.4
F 1 性別	男性	713	43.1	52.6	63.5
	女性	951	35.0	46.6	61.7
	無回答	36	38.9	66.7	58.3
F 2 年齢	20～24歳	62	41.9	41.9	72.6
	25～29歳	115	41.7	39.1	57.4
	30～34歳	144	43.1	47.9	63.2
	35～39歳	187	37.4	45.5	63.1
	40～44歳	165	35.2	48.5	62.4
	45～49歳	127	33.1	46.5	70.1
	50～54歳	115	28.7	45.2	61.7
	55～59歳	174	38.5	47.7	62.1
	60～64歳	167	36.5	54.5	61.1
	65～69歳	118	39.8	48.3	66.9
	70～74歳	119	42.0	60.5	59.7
	75歳以上	180	45.6	57.8	57.2
	無回答	27	29.6	70.4	55.6

(3) 働き方に関するもの(⑧~⑪)

- ・ 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする」55.4%、「仕事のため、家族を多少犠牲にしても仕方がない」19.4%、「労働時間が長くなっても収入が増えることが望ましい」23.6%、「いったん職業についたら、その仕事を一生続けた方がよい」30.4%である。
- ・ 全体的には、自分の時間や家族を犠牲にする働き方に対しては否定的であり、終身雇用制に対しても積極的に支持する割合は少ない。

図 生活価値観／働き方に関するもの



■男女別 生活価値観／働き方に関するもの(F1×問11⑧～⑩)

- 男女別に「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする」は女性の方が高く、その他の項目は男性の方が高くなっている。特に「労働時間が長くなっても収入が増えることが望ましい」については、女性が21.5%に対して男性が26.1%で他の項目と比べて差が大きくなっている。

■年齢別 生活価値観／働き方に関するもの(F2×問11⑧～⑩)

- 年齢別にみると、「仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする」は「25～29歳」と「30～34歳」、「50～54歳」で6割を超えている。
- 「65～69歳」では「仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする」は46.6%で最も低くなっている一方、「仕事のため、家族を多少犠牲にしても仕方がない」については26.3%で最も高くなっている。
- また「いったん職業についたら、その仕事を一生続けた方がよい」については年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられ、60代では4割近く、70代では4割を超えている。

表 男女別、年齢別 生活価値観／働き方に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

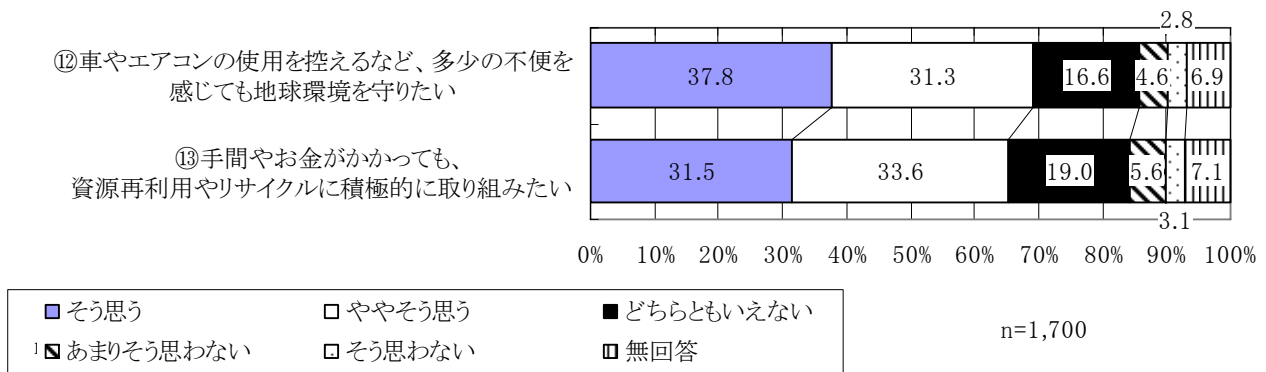
問11⑧～⑩

		全体	⑧仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする	⑨仕事のため、家族を多少犠牲にしても仕方がない	⑩労働時間が長くなっても収入が増えることが望ましい	⑪いったん職業についたら、その仕事を一生続けた方がよい
全 体		1,700 100.0	55.4	19.4	23.6	30.4
F 1 性別	男性	713	53.9	20.8	26.1	32.4
	女性	951	56.6	18.4	21.5	28.2
	無回答	36	52.8	19.4	33.3	50.0
F 2 年齢	20～24歳	62	48.4	11.3	25.8	27.4
	25～29歳	115	68.7	15.7	21.7	15.7
	30～34歳	144	62.5	16.7	29.2	21.5
	35～39歳	187	56.7	11.2	24.6	22.5
	40～44歳	165	50.9	20.0	24.8	18.8
	45～49歳	127	59.8	15.7	32.3	25.2
	50～54歳	115	60.0	20.0	20.9	27.0
	55～59歳	174	55.2	22.4	17.2	28.7
	60～64歳	167	50.3	25.1	21.6	39.5
	65～69歳	118	46.6	26.3	23.7	39.8
	70～74歳	119	55.5	25.2	21.8	44.5
	75歳以上	180	50.6	20.0	21.1	47.8
	無回答	27	55.6	22.2	33.3	48.1

(4)環境に関するもの(⑫~⑬)

- ・ 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「車やエアコンの使用を控えるなど、多少の不便を感じても地球環境を守りたい」69.1%、「手間やお金がかかっても、資源再利用やリサイクルに積極的に取り組みたい」65.1%である。
- ・ 2項目とも「そう思う」が3割を超えており、他の項目に比べて肯定的な回答の割合が高い。

図 生活価値観／環境に関するもの



■男女別 生活価値観／環境に関するもの(F1×問11⑫～⑬)

- 男女別に「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、どちらの項目も男性よりも女性の方が高く、特に「車やエアコンの使用を控えるなど、多少の不便を感じても地球環境を守りたい」については、男性が64.0%に対して女性が73.1%となっている。

■年齢別 生活価値観／環境に関するもの(F2×問11⑫～⑬)

- 2項目とも若年層よりも中高年層の方で割合が高い傾向がみられ、「車やエアコンの使用を控えるなど、多少の不便を感じても地球環境を守りたい」については「70～74歳」が78.2%で最も高く、「手間やお金がかかっても、資源再利用やリサイクルに積極的に取り組みたい」については「55～59歳」が76.4%で最も高くなっている。

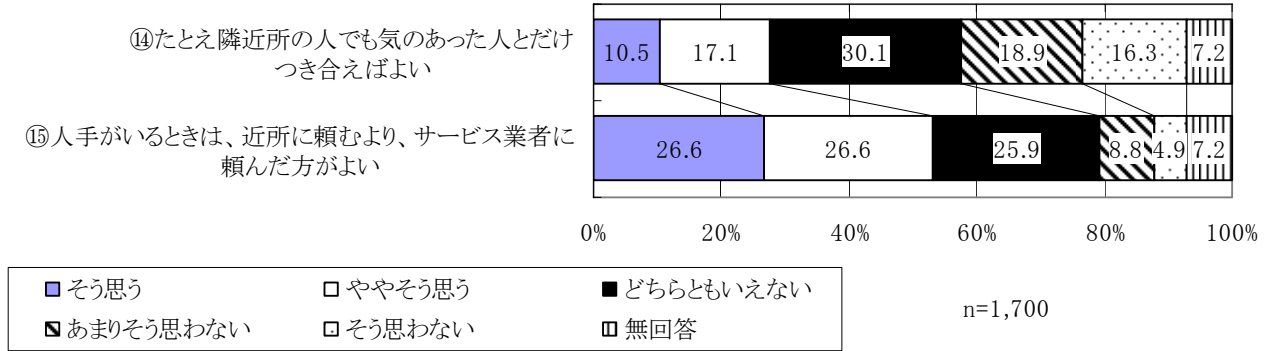
表 男女別、年齢別 生活価値観／環境に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)
 問11⑫～⑬

		全体	⑫車やエアコンの使用を控えるなど、多少の不便を感じても地球環境を守りたい	⑬手間やお金がかかっても、資源再利用やリサイクルに積極的に取り組みたい
全体		1,700 100.0	69.1	65.2
F 1 性別	男性	713	64.0	64.7
	女性	951	73.1	65.6
	無回答	36	66.7	63.9
F 2 年齢	20～24歳	62	62.9	46.8
	25～29歳	115	54.8	50.4
	30～34歳	144	69.4	63.9
	35～39歳	187	64.7	61.0
	40～44歳	165	64.8	60.0
	45～49歳	127	68.5	63.8
	50～54歳	115	67.0	62.6
	55～59歳	174	74.7	76.4
	60～64歳	167	76.0	73.7
	65～69歳	118	73.7	71.2
	70～74歳	119	78.2	68.9
	75歳以上 無回答	180 27	69.4 70.4	68.9 63.0

(5) 地域に関するもの(⑭~⑮)

- ・ 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい」27.6%、「人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい」53.2%である。
- ・ 「たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい」については、「どちらともいえない」(30.1%)の割合が高い。

図 生活価値観／地域に関するもの



■男女別 生活価値観／地域に関するもの(F1×問11⑭～⑮)

- 男女別に「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい」では女性より男性の方が高く、「人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい」については、男性よりも女性の方が高くなっているが大きな差はみられない。

■年齢別 生活価値観／地域に関するもの(F2×問11⑭～⑮)

- 年齢別にみると、「たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい」については「30～34歳」が最も高く3割を超えており、「人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい」については「55～59歳」で最も高く6割を超えている。

表 男女別、年齢別 生活価値観／地域に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

問11⑭～⑮

		全体	⑭たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい	⑮人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい
全 体		1,700 100.0	27.6	53.2
F 1 性別	男性	713	29.3	51.9
	女性	951	25.8	54.3
	無回答	36	41.7	50.0
F 2 年齢	20～24歳	62	27.4	37.1
	25～29歳	115	28.7	53.9
	30～34歳	144	34.0	47.2
	35～39歳	187	27.8	46.5
	40～44歳	165	24.2	51.5
	45～49歳	127	26.8	59.1
	50～54歳	115	30.4	58.3
	55～59歳	174	25.9	63.2
	60～64歳	167	24.0	53.3
	65～69歳	118	22.9	51.7
	70～74歳	119	31.1	59.7
75歳以上	180	26.7	50.0	
	無回答	27	44.4	59.3

■居住地域別 生活価値観／地域に関するもの(F3×問11⑭～⑮)

- 年齢別「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい」については「松見」が最も高く、「六角橋」で最も低い。また、「人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい」については「白幡浦島丘」で最も高く、「大口七島」で最も低い。

表 居住地域別 生活価値観／地域に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

問11 ⑭～⑮

		全体	⑭たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい	⑮人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい
全 体		1,700		
		100.0	27.6	53.2
F 3 居住地域	青木	168	20.8	59.5
	大口七島	106	29.2	41.5
	片倉三枚	120	25.8	50.8
	神奈川幸ヶ谷	169	27.8	49.1
	神ノ木西寺尾	130	29.2	54.6
	子安入江	122	29.5	54.1
	白幡浦島丘	121	25.6	63.6
	神西神北	135	25.9	57.0
	神大寺	88	34.1	55.7
	菅田	132	24.2	49.2
	羽沢	83	24.1	42.2
	松見	81	35.8	54.3
	三ツ沢	122	32.0	50.8
	六角橋	89	22.5	58.4
	無回答	34	44.1	52.9

■地域活動への参加状況別 生活価値観／地域に関するもの(問12×問11⑭～⑮)

- 「たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい」と「人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい」のいずれの項目も、「現在、参加している」と「今後、参加してみたい」に比べて、「特に関心がない」層の方が高い割合を示している傾向がみられる。

表 地域活動への参加状況別 生活価値観／地域に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

		問11 ⑭～⑮		
		全体	⑭たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい	⑮人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい
全 体		1,700 100.0	27.6	53.2
問12 お祭りやバザーなど 地域イベントに関わる活動	現在、参加している	350	25.7	44.6
	今後、参加してみたい	506	23.7	50.2
	特に関心がない	749	32.7	60.9
	無回答	95	14.7	40.0
問12 文化・芸術・スポーツ振興 に関わる活動	現在、参加している	162	25.3	50.6
	今後、参加してみたい	732	26.0	51.1
	特に関心がない	672	33.2	59.5
	無回答	134	11.2	35.8
問12 交通安全や防災・防犯などの 地域の安全活動	現在、参加している	172	22.1	44.8
	今後、参加してみたい	709	26.7	51.2
	特に関心がない	692	32.7	60.8
	無回答	127	12.6	33.9
問12 高齢者、障害者支援などの 福祉活動	現在、参加している	86	20.9	48.8
	今後、参加してみたい	722	25.9	50.1
	特に関心がない	736	33.0	59.8
	無回答	156	13.5	38.5
問12 地域の子育て支援や 青少年支援の活動	現在、参加している	103	25.2	44.7
	今後、参加してみたい	432	25.7	46.5
	特に関心がない	958	31.5	59.8
	無回答	207	14.5	40.6
問12 身近な道路や公園などの 清掃・美化活動	現在、参加している	184	27.2	51.6
	今後、参加してみたい	670	23.9	50.0
	特に関心がない	692	34.1	59.8
	無回答	154	14.9	39.0
問12 外国人や海外との 交流・支援などの活動	現在、参加している	40	37.5	60.0
	今後、参加してみたい	558	27.6	52.3
	特に関心がない	935	29.6	55.9
	無回答	167	13.8	38.9
問12 資源回収やリサイクル、 環境保全に関する活動	現在、参加している	230	24.3	51.3
	今後、参加してみたい	700	25.9	52.9
	特に関心がない	617	33.9	57.4
	無回答	153	15.0	40.5
問12 P T A活動	現在、参加している	108	29.6	46.3
	今後、参加してみたい	132	18.9	42.4
	特に関心がない	1,230	30.8	56.9
	無回答	230	14.3	42.6

■自治会・町内会への加入状況別 生活価値観／地域に関するもの(問16×問11⑭～⑮)

- 自治会・町内会への加入状況別にみると、「たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい」については、「加入しているが、やめたい」で最も高く、半数を超えている。次いで「加入していないし、今後も加入するつもりはない」、「加入している」、「加入していないが、入りたい」の順である。
- 「人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい」については「加入しているが、やめたい」で最も高く、「加入している」、「加入していないし、今後も加入するつもりはない」、「加入していないが、入りたい」の順である。

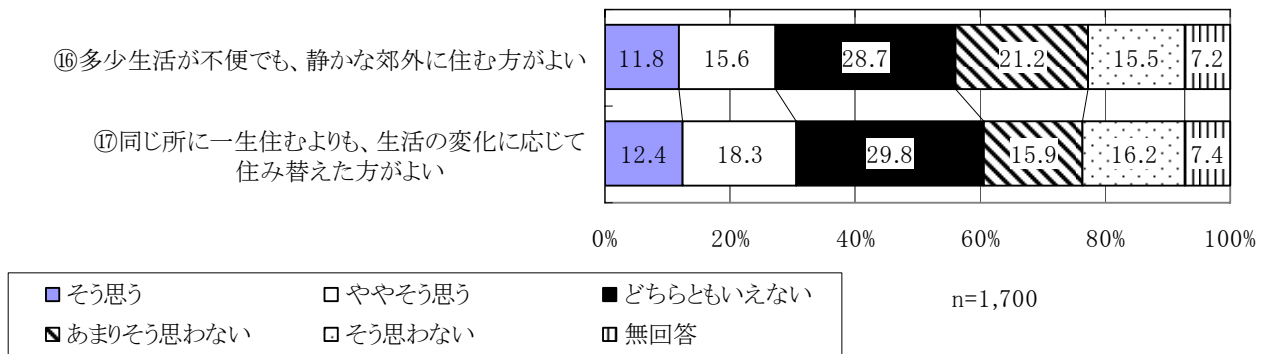
表 自治会・町内会への加入状況別 生活価値観／地域に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

		問11 ⑭～⑮		
		全体	⑭たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい	⑮人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい
問16 自治会・町内会への加入	加入している	1,274	27.1	54.2
	加入しているが、やめたい	25	52.0	56.0
	加入していないが、入りたい	88	18.2	43.2
	加入していないし、今後も加入するつもりはない	271	31.7	53.9
	無回答	42	21.4	35.7

(6)住まいに関するもの (⑩～⑰)

- ・ 「思う」と「やや思う」をあわせた数字をみると、「多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい」27.4%、「同じ所に一生住むよりも、生活の変化に応じて住み替えた方がよい」30.7%である。

図 生活価値観／住まいに関するもの



■男女別 生活価値観／住まいに関するもの(F1×問11⑩～⑰)

- 男女別に「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい」では女性より男性の方が高く、10.0ポイントの開きがある。「同じ所に一生住むよりも、生活の変化に応じて住み替えた方がよい」については、男性よりも女性の方がやや高くなっている。

■年齢別 生活価値観／住まいに関するもの(F2×問11⑩～⑰)

- 年齢別にみると、「多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい」については「70～74歳」が最も高く4割近くに達しており、最も低いのは「40～44歳」である。
- 「同じ所に一生住むよりも、生活の変化に応じて住み替えた方がよい」については「35～39歳」で最も高く4割近くに達している。

表 男女別、年齢別 生活価値観／住まいに関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

問11⑩～⑰

		全体	⑩多少生活 が不便で も、静かな 郊外に住む 方がよい	⑰同じ所に 一生住むよ りも、生活 の変化に応 じて住み替 えた方がよ い
全 体		1,700		
		100.0	27.4	30.6
F 1 性別	男性	713	33.0	29.7
	女性	951	23.0	31.5
	無回答	36	33.3	25.0
F 2 年齢	20～24歳	62	29.0	29.0
	25～29歳	115	35.7	35.7
	30～34歳	144	25.7	30.6
	35～39歳	187	20.9	38.0
	40～44歳	165	20.0	33.3
	45～49歳	127	27.6	33.1
	50～54歳	115	34.8	27.0
	55～59歳	174	29.9	35.1
	60～64歳	167	24.0	28.1
	65～69歳	118	24.6	24.6
	70～74歳	119	38.7	29.4
75歳以上	180	26.1	22.2	
無回答	27	33.3	25.9	

■居住地域別 生活価値観／住まいに関するもの(F3×問11⑩～⑰)

- ・ 居住地域別にみると、「多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい」については「羽沢」が最も高く4割近くに達しており、次いで「菅田」である。最も低いのは「大口七島」である。
- ・ 「同じ所に一生住むよりも、生活の変化に応じて住み替えた方がよい」については「神西神北」で最も高く、「六角橋」で最も低い。

表 居住地域別 生活価値観／住まいに関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)

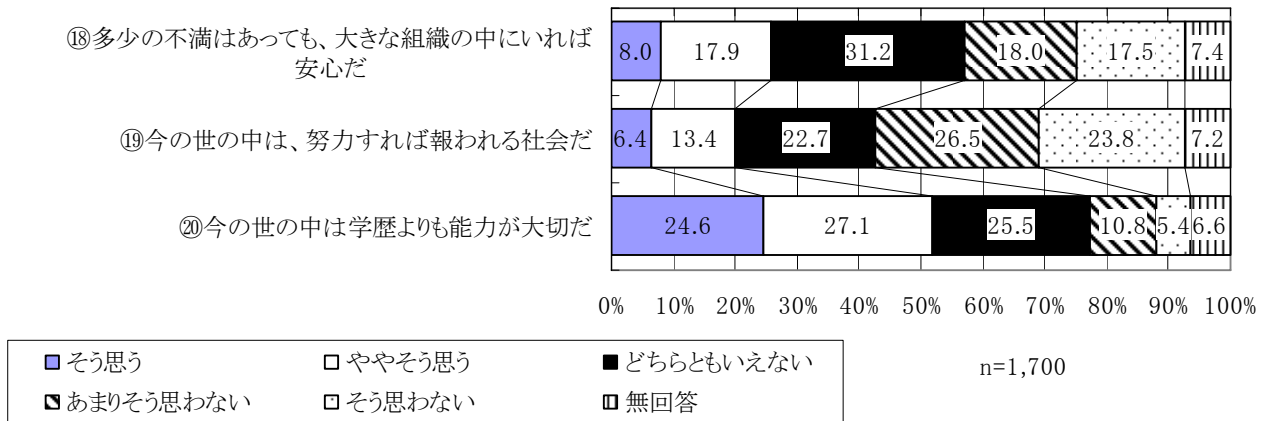
問11 ⑩～⑰

		全体	⑩多少生活 が不便で も、静かな 郊外に住む 方がよい	⑰同じ所に 一生住むよ りも、生活 の変化に応 じて住み替 えた方がよ い
全 体		1,700 100.0	27.4	30.6
F3 居住地域	青木	168	20.2	29.8
	大口七島	106	19.8	28.3
	片倉三枚	120	34.2	26.7
	神奈川幸ヶ谷	169	23.1	34.3
	神ノ木西寺尾	130	28.5	32.3
	子安入江	122	20.5	28.7
	白幡浦島丘	121	26.4	27.3
	神西神北	135	23.0	37.0
	神大寺	88	26.1	35.2
	菅田	132	37.1	31.1
	羽沢	83	38.6	30.1
	松見	81	34.6	28.4
	三ツ沢	122	29.5	32.0
	六角橋	89	29.2	25.8
	無回答	34	35.3	26.5

(7) 社会観に関するもの(⑱~⑳)

- ・ 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、「多少の不満はあっても、大きな組織の中にいれば安心だ」25.9%、「今の世の中は、努力すれば報われる社会だ」19.8%、「今の世の中は学歴よりも能力が大切だ」51.7%である。
- ・ 「今の世の中は、努力すれば報われる社会だ」については、「あまりそう思わない」(26.5%)、「そう思わない」(23.8%) の否定的な意見が半数を超えている。

図 生活価値観／社会観に関するもの



■男女別 生活価値観／社会観に関するもの(F1×問11⑱～㉔)

- 男女別に「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた数字をみると、いずれの項目においても女性より男性の方がやや高くなっている。

■年齢別 生活価値観／社会観に関するもの(F2×問11⑱～㉔)

- 年齢別にみると、「多少の不満はあっても、大きな組織の中にいれば安心だ」については「75歳以上」が最も高く3割を超えている。最も低いのは「40～44歳」で17.0%である。
- 「今の世の中は、努力すれば報われる社会だ」については、「70～74歳」が最も高く、「40～44歳」が最も低い。
- 「今の世の中は学歴よりも能力が大切だ」については、「65～69歳」が最も高く、「55～59歳」が最も低い。

表 男女別、年齢別 生活価値観／社会観に関するもの
 (「そう思う」、「ややそう思う」をあわせた割合、無回答を含む)
 問11⑱～㉔

		全体	⑱多少の不 満があつて も、大きな 組織の中に いれば安心 だ	⑲今の世の 中は、努力 すれば報わ れる社会だ	⑳今の世の 中は学歴よ りも能力が 大切だ
全 体		1,700 100.0	25.9	19.8	51.7
F 1 性別	男性	713	26.2	21.6	53.0
	女性	951	24.9	18.6	50.1
	無回答	36	44.4	16.7	69.4
F 2 年齢	20～24歳	62	29.0	24.2	53.2
	25～29歳	115	26.1	19.1	54.8
	30～34歳	144	20.1	18.8	56.3
	35～39歳	187	23.0	17.6	54.5
	40～44歳	165	17.0	14.5	49.7
	45～49歳	127	29.1	21.3	49.6
	50～54歳	115	26.1	18.3	52.2
	55～59歳	174	25.3	16.7	41.4
	60～64歳	167	25.7	21.0	47.9
	65～69歳	118	27.1	19.5	58.5
	70～74歳	119	29.4	26.9	56.3
	75歳以上	180	32.8	25.0	48.9
無回答	27	44.4	14.8	70.4	

(8) 横浜市民意識調査との比較

- ・ 「平成12年度横浜市民意識調査」の全市データ（n=2,169）と神奈川区データ（n=105）との比較を行った。「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた割合（無回答は除く）を比較したところ、神奈川区の方が全市よりも割合が高い項目は、
 - ② 今の世の中は子どもを育てにくい
 - ④ 夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい
 - ⑩ 労働時間が長くなっても収入が増えることが望ましい
 - ⑫ 車やエアコンの使用を控えるなど、多少の不便を感じても地球環境を守りたい
 - ⑭ たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい
 - ⑮ 人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい
 - ⑰ 多少の不満はあっても、大きな組織の中にいれば安心だ
 - ⑲ 今の世の中は、努力すれば報われる社会だであり、特に「⑮ 人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい」は全市を大きく上回っている。
- ・ 一方、全市よりも割合が低い項目は、
 - ① これからは結婚しない生き方も当たり前になる
 - ③ 子どもはできるだけ、たくさん産み育てる方がよい
 - ⑤ 老後は子どもや孫といっしょに暮らした方がよい
 - ⑥ 自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい
 - ⑦ いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい
 - ⑧ 仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする
 - ⑨ 仕事のため、家族を多少犠牲にしても仕方がない
 - ⑬ 手間やお金がかかっても、資源再利用やリサイクルに積極的に取り組みたい
 - ⑯ 多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい
 - ⑰ 同じ所に一生住むよりも、生活の変化に応じて住み替えた方がよい
 - ⑳ 今の世の中は学歴よりも能力が大切だであり、特に低かった項目は「⑥ 自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい」、
「⑯ 多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい」である。
- ・ 横浜市調査の神奈川区データと比較して、特に割合が高い項目（10ポイント以上高い項目）は、
 - ⑧ 仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする
 - ⑫ 車やエアコンの使用を控えるなど、多少の不便を感じても地球環境を守りたい
 - ⑮ 人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい
 - ⑰ 多少の不満はあっても、大きな組織の中にいれば安心だである。
- ・ 横浜市調査の神奈川区データと比較して、特に割合が低い項目（5ポイント以上低い項目）は、
 - ③ 子どもはできるだけ、たくさん産み育てる方がよい（8.3ポイント低い）
 - ⑥ 自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい（9.9ポイント低い）である。
- ・ 以上のことから、神奈川区民の生活価値観として、「生活面では利便性を追求し、現在の住まいには固執しない」、「家族、近隣との関係などの煩わしさを避け、自分の生活や快適さを重視」、「相応のメリットや効果が得られるのであれば、多少の犠牲を払っても構わない合理主義、現実主義」などの側面がうかがえる。

図 生活価値観／横浜市民意識調査との比較（無回答を除く）

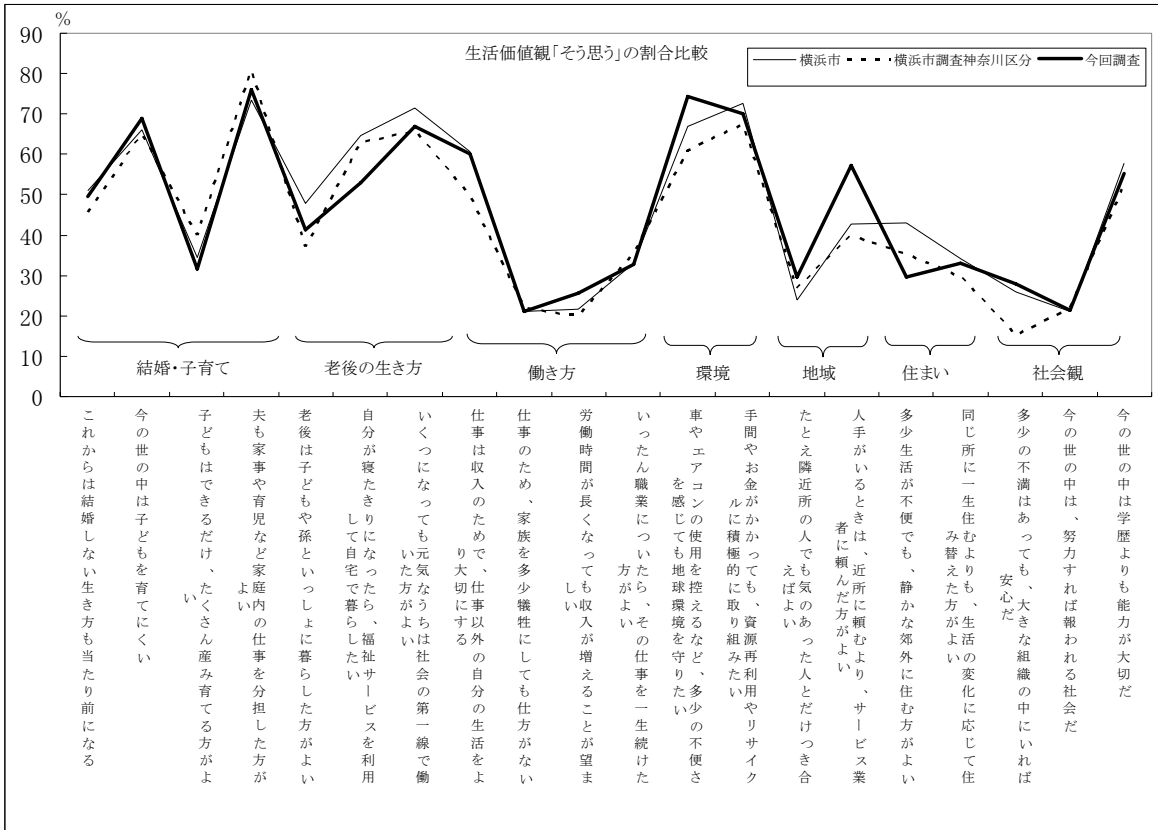
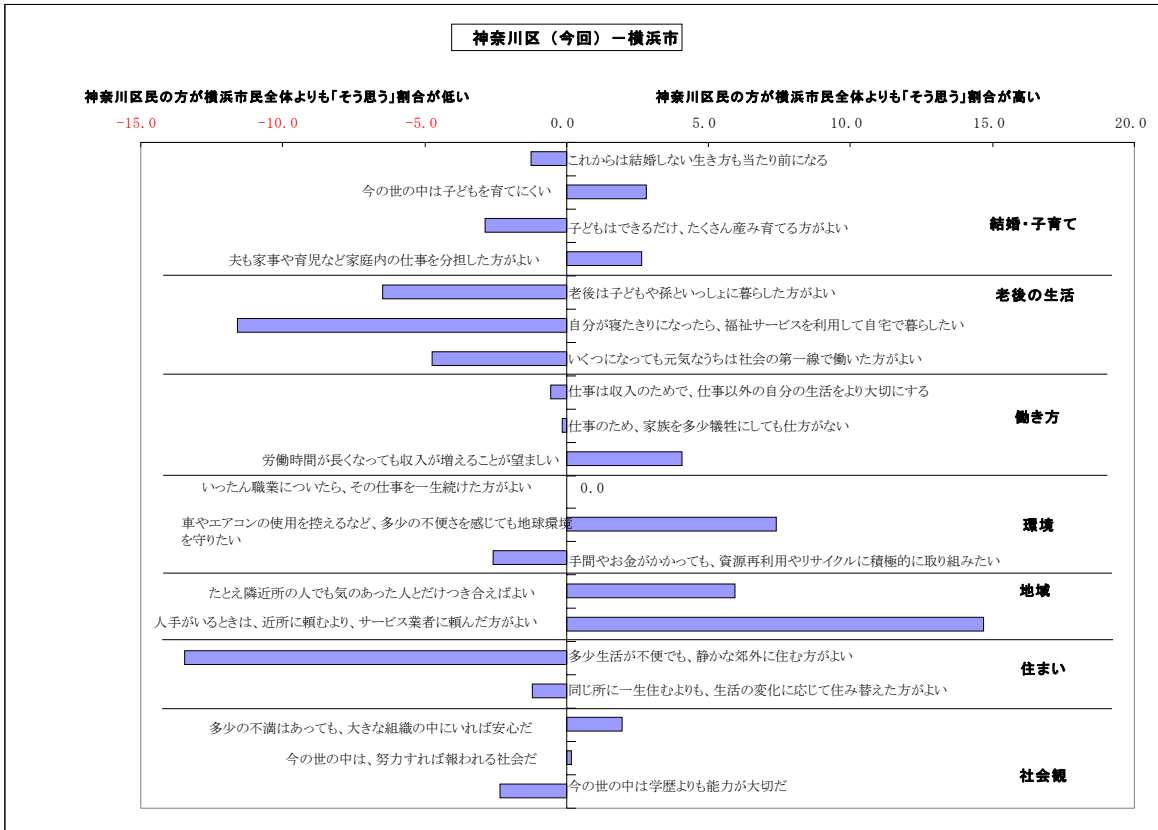


図 生活価値観／全市とのデータ比較（無回答を除く）



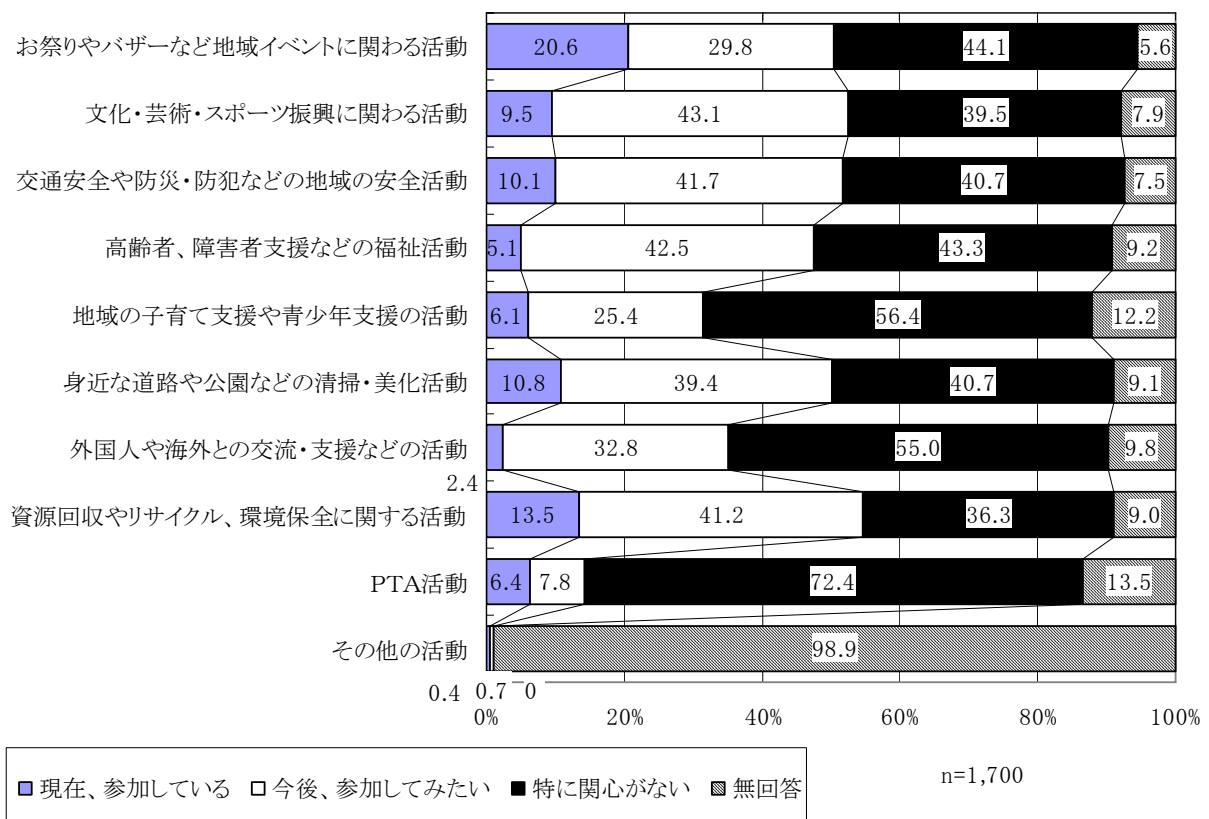
2. 地域での生活について

1) 地域の活動への参加状況と今後の意向

問12 あなたは、現在、地域の活動に参加していますか。また、今後新たに参加してみたい活動はありますか。
(各項目の1、2、3のいずれかに○をしてください)

- 「現在、参加している」の割合が最も高いのは「お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動」(20.6%)で、2割を占めている。次いで、「資源回収やリサイクル、環境保全に関する活動」(13.5%)、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動」(10.8%)、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」(10.1%)となっている。最も割合が低いのは、「外国人や海外との交流・支援などの活動」(2.4%)である。
- 「今後、参加してみたい」の割合が最も高いのは、「文化・芸術・スポーツ振興に関わる活動」(43.1%)で、次いで「高齢者、障害者支援などの福祉活動」(42.5%)、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」(41.7%)、「資源回収やリサイクル、環境保全に関する活動」(41.2%)である。最も割合が低いのは、「PTA活動」(7.3%)である。
- 「特に関心がない」の割合が最も高いのは、「PTA活動」(72.4%)で、次いで「地域の子育て支援や青少年支援の活動」(56.4%)、「外国人や海外との交流・支援などの活動」(55.0%)であり、この3項目は半数以上が「特に関心がない」と回答している。
- なお、今回アンケートに回答した1,700人のうち、1つでも何らかの地域活動に参加している人は615人(36.2%)、現在は全く地域活動に参加していないが、今後何らかの地域活動に参加してみたいと考えている人は776人(45.6%)おり、合わせて全体の約8割の人が地域活動への関心をもっている。地域活動に現在参加していないし、今後も特に関心がないと応えた人は309人(18.2%)であった。

図 地域の活動について



■年齢別 地域の活動について／お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動 (F2×問12①)

- ・年齢別に地域の活動への参加状況（お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動）をみると、「現在、参加している」の割合が最も高いのは「40～44歳」で3割近くにのぼっている。「今後、参加してみたい」では「25～29歳」が最も多く44.3%である。「特に関心がない」は「20～24歳」で最も多く6割以上となっている。

表 年齢別 地域の活動について（お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動）

問12 地域の活動について
お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動

		全体	現在、 参加し ている	今後、 参加し てみた い	特に関 心がない	無回答
全 体		1,700	350	506	749	95
		100.0	20.6	29.8	44.1	5.6
F 2 年齢	20～24歳	62	6.5	30.6	61.3	1.6
	25～29歳	115	8.7	44.3	46.1	0.9
	30～34歳	144	18.1	39.6	40.3	2.1
	35～39歳	187	20.3	36.4	42.8	0.5
	40～44歳	165	27.3	26.1	45.5	1.2
	45～49歳	127	24.4	31.5	43.3	0.8
	50～54歳	115	18.3	28.7	46.1	7.0
	55～59歳	174	23.6	34.5	40.8	1.1
	60～64歳	167	22.2	25.7	47.3	4.8
	65～69歳	118	22.9	33.1	38.1	5.9
	70～74歳	119	25.2	21.0	39.5	14.3
	75歳以上	180	18.9	12.8	47.2	21.1
	無回答	27	22.2	18.5	37.0	22.2

■居住地域別 地域の活動について／お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動（F2×問12①）

- ・ 居住地域別に地域の活動への参加状況（お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動）をみると、「現在、参加している」の割合が最も高いのは「羽沢」で3割以上が参加している。最も低いのは「神奈川幸ヶ谷」である。「今後、参加してみたい」は「大口七島」が最も多く、「特に関心がない」は「白幡浦島丘」で最も多くなっている。

表 居住地域別 地域の活動について（お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活動）

問12 地域の活動について
お祭りやバザーなど地域イベントに関わる活

		全体	現在、 参加し ている	今後、 参加し てみた い	特に関 心がない	無回答
全 体		1,700	350	506	749	95
		100.0	20.6	29.8	44.1	5.6
F 3	青木	168	16.1	33.9	43.5	6.5
居住地域	大口七島	106	17.9	35.8	42.5	3.8
	片倉三枚	120	21.7	34.2	40.0	4.2
	神奈川幸ヶ谷	169	15.4	34.9	45.0	4.7
	神ノ木西寺尾	130	23.8	26.9	44.6	4.6
	子安入江	122	17.2	32.0	42.6	8.2
	白幡浦島丘	121	17.4	26.4	51.2	5.0
	神西神北	135	16.3	28.1	48.9	6.7
	神大寺	88	21.6	29.5	46.6	2.3
	菅田	132	25.8	28.0	39.4	6.8
	羽沢	83	33.7	24.1	36.1	6.0
	松見	81	30.9	24.7	40.7	3.7
	三ツ沢	122	19.7	28.7	46.7	4.9
	六角橋	89	19.1	25.8	47.2	7.9
	無回答	34	29.4	17.6	41.2	11.8

2) 地域の子育て支援や青少年支援の活動について

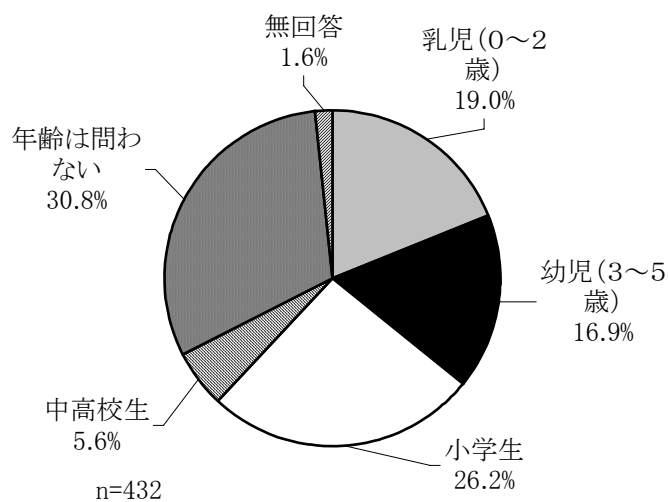
(1) 関心のある対象年齢

問13 (地域の子育て支援や青少年支援の活動に参加してみたいと回答された方にうかがいます。)

関心のある活動の対象年齢についてお答えください。(〇は1つ)

- 問12で「地域の子育て支援や青少年支援の活動に参加してみたい」を選んだ人(432人)に関心のある活動の対象年齢を聞いたところ、「年齢は問わない」(30.8%)が最も多く、次いで「小学生」(26.2%)、「乳児(0～2歳)」(19.0%)、「幼児(3～5歳)」(16.9%)、「中高校生」(5.6%)の順である。

図 地域の子育て支援や青少年支援について／関心のある対象年齢



■ 年齢別 関心のある対象年齢 (F2×問13)

- 年齢別に関心のある活動の対象年齢をみると、「乳児(0～2歳)」については「30～34歳」で割合が高く45.5%となっている。30代前半までの若い年齢層では乳児・幼児の割合が高くなっているが、「35～39歳」で「小学生」の割合が大きくなり、「40～44歳」では「小学生」が4割を超えている。また年齢が上がるにつれて「年齢は問わない」の割合が高くなる傾向がみられる。

■ 未就学の子どもの有無別 関心のある対象年齢 (F6×問13)

- 未就学児の有無別に関心のある活動の対象年齢をみると、「いる」では「乳児(0～2歳)」の割合が高く33.0%、「幼児(3～5歳)」が22.6%となっている。「いない」では「年齢は問わない」や「小学生」の割合が大きくなっている。

■ 小学生～18歳未満の子どもの有無別 関心のある対象年齢 (F7×問13)

- 小学生から18歳未満の子どもの有無別に関心のある活動の対象年齢をみると、「いる」では「小学生」の割合が4割を占めている。「いない」では「年齢は問わない」が最も多く、「乳児(0～2歳)」、「幼児(3～5歳)」、「小学生」がそれぞれ2割である。

表 年齢別、小学校入学前の子どもの有無別、小学校以上18歳未満の子どもの有無別
地域の子育て支援や青少年支援について／関心のある対象年齢

問13 関心のある活動の対象年齢

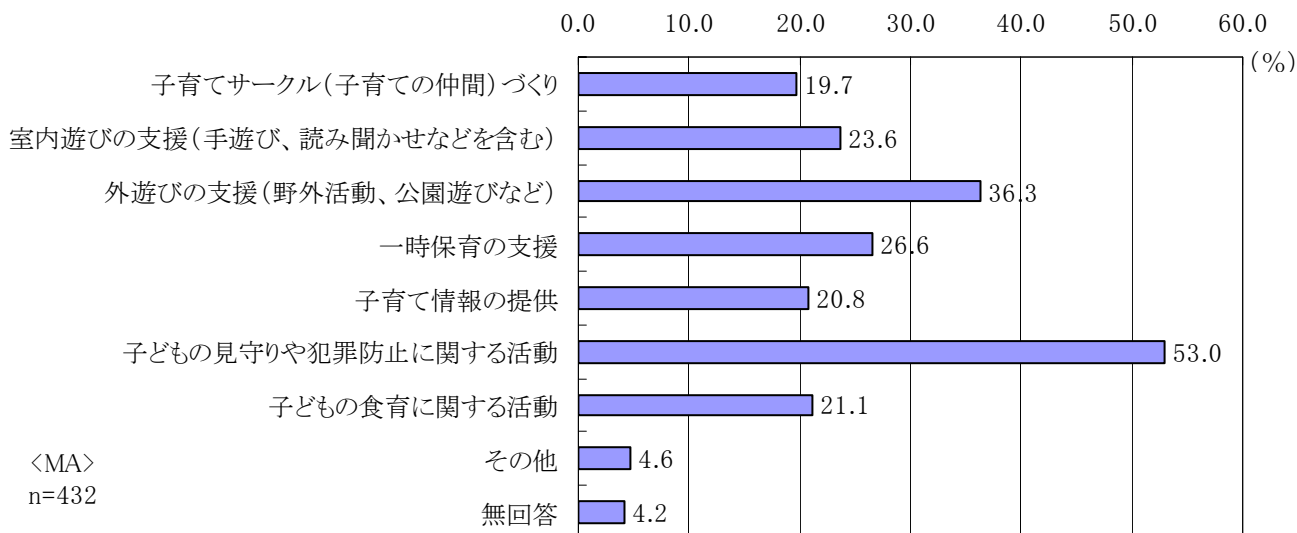
		全体	乳児 (0～2歳)	幼児 (3～5歳)	小学生	中高校生	年齢は問わな	無回答
全 体		432 100.0	82 19.0	73 16.9	113 26.2	24 5.6	133 30.8	7 1.6
F 2 年齢	20～24歳	15	26.7	20.0	6.7	20.0	20.0	6.7
	25～29歳	38	23.7	26.3	13.2	2.6	34.2	0.0
	30～34歳	55	45.5	20.0	16.4	5.5	12.7	0.0
	35～39歳	73	20.5	20.5	30.1	2.7	21.9	4.1
	40～44歳	48	10.4	14.6	43.8	10.4	18.8	2.1
	45～49歳	32	9.4	12.5	21.9	12.5	43.8	0.0
	50～54歳	29	10.3	13.8	17.2	0.0	55.2	3.4
	55～59歳	50	12.0	16.0	26.0	4.0	42.0	0.0
	60～64歳	34	11.8	11.8	41.2	2.9	32.4	0.0
	65～69歳	30	13.3	16.7	26.7	10.0	30.0	3.3
	70～74歳	14	21.4	7.1	35.7	0.0	35.7	0.0
75歳以上	10	10.0	0.0	20.0	0.0	70.0	0.0	
無回答	4	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	
F 6 小学校入学 前の子供	いる	106	33.0	22.6	23.6	2.8	16.0	1.9
	いない	319	14.4	15.4	27.3	6.6	34.8	1.6
	無回答	7	14.3	0.0	14.3	0.0	71.4	0.0
F 7 小学校以上 18歳未満	いる	106	12.3	8.5	40.6	8.5	27.4	2.8
	いない	316	20.6	20.3	22.2	4.7	31.0	1.3
	無回答	10	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0

(2) 関心のある活動内容

問14 どのような活動に関心がありますか。(〇はいくつでも)

- 「子どもの見守りや犯罪防止に関する活動」(53.0%) が最も多く、次いで「外遊びの支援(野外活動、公園遊びなど)」(36.3%)、「一時保育の支援」(26.6%)、「室内遊びの支援(手遊び、読み聞かせなどを含む)」(23.6%)、「子どもの食育に関する活動」(21.1%)、「子育て情報の提供」(20.8%)、「子育てサークル(子育ての仲間)づくり」(19.7%)、「その他」(4.6%) の順である。

図 地域の子育て支援や青少年支援について/関心のある活動



男女別 関心のある活動 (F1×問14)

- 男女別に関心のある活動についてみると、男性では「子どもの見守りや犯罪防止に関する活動」と「外遊びの支援(野外活動、公園遊びなど)」が特に高くなっている。一方で「一時保育の支援」や「子育て情報の提供」の割合は低くなっている。

表 男女別 地域の子育て支援や青少年支援について/関心のある活動

問14 関心のある活動(複数回答)

	全体	子育てサークル(子育ての仲間)づくり	室内遊びの支援(手遊び、読み聞かせなどを含む)	外遊びの支援(野外活動、公園遊びなど)	一時保育の支援	子育て情報の提供	子どもの見守りや犯罪防止に関する活動	子どもの食育に関する活動	その他	無回答
全体	432	85	102	157	115	90	229	91	20	18
	—	19.7	23.6	36.3	26.6	20.8	53.0	21.1	4.6	4.2
F1	167	13.2	15.0	52.1	9.0	9.0	60.5	12.0	7.2	4.2
性別	260	24.2	29.6	26.5	38.5	28.8	47.7	27.3	3.1	3.8
	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0

■年齢別 関心のある活動 (F2×問14)

- 年齢別に関心のある活動についてみると、回答者が少ないので比較は難しいが、「子育てサークル(子育ての仲間)づくり」については「30～34歳」で4割以上となっており、他の年齢に比べて高くなっている。また「子育て情報の提供」については「25～29歳」と「30～34歳」の4割以上が挙げている。「一時保育の支援」は20代、30代が中心となっている。また「子どもの見守りや犯罪防止に関する活動」については60代の意向も高い。

■居住地域別 関心のある活動 (F3×問14)

- 居住地域別に関心のある活動についてみると、回答者が少ないので比較は難しいが、「神西神北」ではどの項目も高い割合を示している。「外遊びの支援」については、「神西神北」のほか「子安入江」でも半数が挙げている。また「子どもの見守りや犯罪防止に関する活動」については、「神西神北」「白幡浦島丘」で7割を超えており、「羽沢」、「松見」でも6割を超えている。

表 年齢別、居住地域別 地域の子育て支援や青少年支援について／関心のある活動

問14 関心のある活動(複数回答)

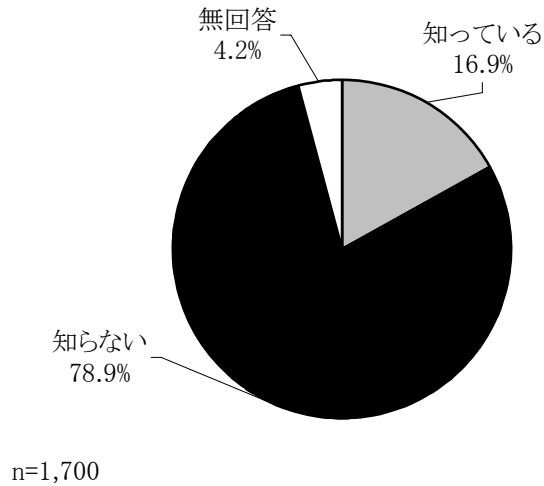
		全体	子育てサークル(子育ての仲間)づくり	室内遊びの支援(手遊び、読み聞かせを含む)	外遊びの支援(野外活動、公園遊びなど)	一時保育の支援	子育て情報の提供	子どもの見守りや犯罪防止に関する活動	子どもの食育に関する活動	その他	無回答
全 体		432	85	102	157	115	90	229	91	20	18
		—	19.7	23.6	36.3	26.6	20.8	53.0	21.1	4.6	4.2
F 2 年齢	20～24歳	15	20.0	13.3	40.0	46.7	26.7	26.7	33.3	6.7	6.7
	25～29歳	38	36.8	26.3	50.0	36.8	42.1	44.7	26.3	0.0	0.0
	30～34歳	55	43.6	32.7	50.9	34.5	41.8	52.7	32.7	7.3	0.0
	35～39歳	73	30.1	20.5	45.2	37.0	19.2	54.8	20.5	4.1	5.5
	40～44歳	48	12.5	22.9	25.0	18.8	20.8	58.3	27.1	4.2	4.2
	45～49歳	32	6.3	25.0	34.4	25.0	12.5	56.3	18.8	3.1	3.1
	50～54歳	29	17.2	27.6	20.7	27.6	31.0	44.8	24.1	3.4	3.4
	55～59歳	50	8.0	24.0	28.0	20.0	14.0	52.0	14.0	6.0	2.0
	60～64歳	34	11.8	23.5	35.3	17.6	5.9	58.8	14.7	5.9	5.9
	65～69歳	30	0.0	16.7	23.3	13.3	3.3	60.0	10.0	6.7	13.3
	70～74歳	14	7.1	28.6	28.6	7.1	0.0	57.1	14.3	0.0	7.1
75歳以上	10	0.0	10.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	10.0	10.0	
無回答	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
F 3 居住地域	青木	41	29.3	19.5	34.1	26.8	24.4	36.6	22.0	4.9	4.9
	大口七島	31	25.8	16.1	35.5	32.3	19.4	38.7	16.1	3.2	3.2
	片倉三枚	39	12.8	28.2	30.8	23.1	15.4	46.2	17.9	5.1	2.6
	神奈川幸ヶ谷	45	13.3	24.4	28.9	17.8	17.8	57.8	28.9	2.2	4.4
	神ノ木西寺尾	26	23.1	11.5	23.1	34.6	26.9	46.2	7.7	11.5	0.0
	子安入江	32	12.5	21.9	50.0	15.6	15.6	56.3	6.3	9.4	6.3
	白幡浦島丘	29	27.6	20.7	44.8	27.6	20.7	75.9	34.5	3.4	0.0
	神西神北	25	36.0	40.0	56.0	48.0	36.0	72.0	40.0	0.0	0.0
	神大寺	27	33.3	33.3	37.0	40.7	37.0	44.4	22.2	0.0	7.4
	菅田	34	11.8	14.7	38.2	23.5	14.7	50.0	26.5	8.8	5.9
	羽沢	28	17.9	25.0	32.1	21.4	17.9	67.9	14.3	7.1	0.0
	松見	19	10.5	15.8	21.1	26.3	10.5	63.2	15.8	0.0	5.3
	三ツ沢	28	7.1	35.7	35.7	25.0	21.4	53.6	25.0	3.6	10.7
	六角橋	23	21.7	30.4	43.5	26.1	21.7	34.8	17.4	4.3	8.7
	無回答	5	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(3)地域子育て支援拠点の認知度

問15 JR東神奈川駅前に地域子育て支援拠点があるのをあなたはご存知ですか。(○は1つ)

- ・ 「知らない」(78.9%) が8割近くを占めており、「知っている」(16.9%) を大きく上回っている。

図 地域子育て支援拠点の認知度



■年齢別 地域子育て支援拠点の認知度 (F2×問15)

- ・ 年齢別に認知度をみると、全ての年齢層で「知らない」の割合の方が高くなっている。「知っている」の割合は「65～69歳」で最も高くなっている。30代から40代前半では「知っている」が2割で他の年齢と比べて高くなっている。

表 年齢別 地域子育て支援拠点の認知度

問15 JR東神奈川駅前に地域子育て支援拠点があるのをご存知ですか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,700	287	1,341	72
		100.0	16.9	78.9	4.2
F 2	20～24歳	62	1.6	96.8	1.6
年齢	25～29歳	115	13.0	84.3	2.6
	30～34歳	144	21.5	75.7	2.8
	35～39歳	187	21.4	74.9	3.7
	40～44歳	165	20.6	77.6	1.8
	45～49歳	127	12.6	82.7	4.7
	50～54歳	115	13.9	80.9	5.2
	55～59歳	174	15.5	81.0	3.4
	60～64歳	167	18.0	79.0	3.0
	65～69歳	118	24.6	72.0	3.4
	70～74歳	119	16.8	73.1	10.1
	75歳以上	180	12.2	80.6	7.2
	無回答	27	22.2	70.4	7.4

■居住地域別 地域子育て支援拠点の認知度 (F3×問15)

- ・ 居住地域別に認知度をみると、全ての年齢層で「知らない」の割合の方が高くなっている。「知っている」の割合は「白幡浦島丘」で最も高くなっている。「神奈川幸ヶ谷」と「子安入江」では「知っている」が2割でやや高くなっている。

■未就学の子どもの有無別 地域子育て支援拠点の認知度 (F6×問15)

- ・ 未就学児の有無別に認知度をみると、いずれも「知らない」の割合の方が高くなっているが、未就学児がいる家庭で「知っている」の割合は3割を超えている。

■小学生～18歳未満の子どもの有無別 地域子育て支援拠点の認知度 (F7×問15)

- ・ 小学生から18歳未満の子どもの有無別に認知度をみると、いずれも「知らない」の割合の方が高くなっている。子どもがいる家庭の方が、いない家庭よりも「知っている」の割合がやや高くなっているが、未就学児の有無ほどの差はみられない。

表 居住地域別、未就学児の有無別、小学生から18歳未満の子どもの有無別 地域子育て支援拠点の認知度

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,700	287	1,341	72
		100.0	16.9	78.9	4.2
F 3	青木	168	17.9	76.2	6.0
居住地域	大口七島	106	15.1	78.3	6.6
	片倉三枚	120	15.8	79.2	5.0
	神奈川幸ヶ谷	169	21.9	74.6	3.6
	神ノ木西寺尾	130	17.7	78.5	3.8
	子安入江	122	20.5	75.4	4.1
	白幡浦島丘	121	24.0	73.6	2.5
	神西神北	135	14.1	83.0	3.0
	神大寺	88	12.5	84.1	3.4
	菅田	132	11.4	85.6	3.0
	羽沢	83	8.4	88.0	3.6
	松見	81	13.6	81.5	4.9
	三ツ沢	122	17.2	79.5	3.3
	六角橋	89	19.1	73.0	7.9
	無回答	34	20.6	76.5	2.9
	F 6	いる	210	33.3	63.8
小学校入学 前の子供	いない	1,456	14.1	81.5	4.3
	無回答	34	32.4	58.8	8.8
F 7	いる	289	19.4	76.1	4.5
小学校以上 18歳未満	いない	1,372	15.7	80.1	4.2
	無回答	39	41.0	56.4	2.6

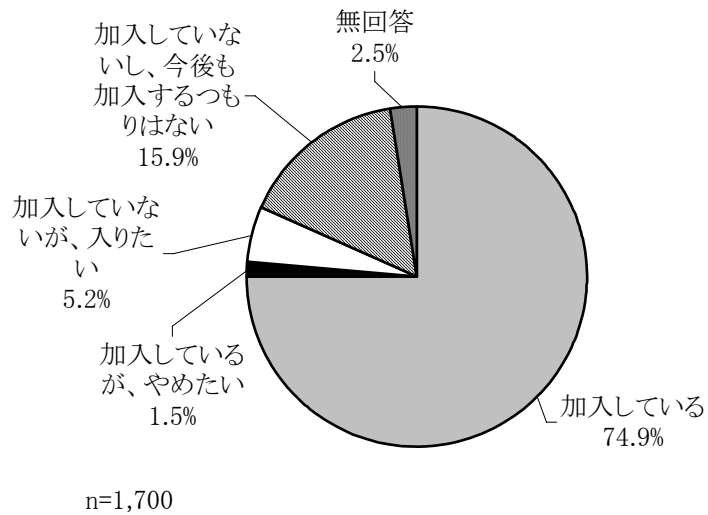
3) 自治会・町内会について

(1) 自治会・町内会への加入状況

問16 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

- ・ 「加入している」(74.9%) が4分の3を占めており、次いで「加入していないし、今後も加入するつもりはない」(15.9%)、「加入していないが、入りたい」(5.2%)、「加入しているが、やめたい」(1.5%)の順となっている。

図 自治会・町内会への加入状況



■年齢別 自治会・町内会への加入状況（F2×問16）

- ・ 年齢が上がるほど「加入している」の割合は高まる傾向がみられ、40代以上では、「45～49歳」を除いて全ての年齢層で8割を超えている。20代では「加入している」の割合は40%台にとどまっており、「加入していないが、入りたい」が約1割いる一方で「加入していないし、今後も加入するつもりはない」も4割を超えている。
- ・ 「50～54歳」では「加入しているが、やめたい」の割合が5.2%で、他の年齢層に比べてやや高くなっている。

■居住地域別 自治会・町内会への加入状況（F3×問16）

- ・ 「神奈川幸ヶ谷」を除く全ての地域で「加入している」の割合は7割以上である。「松見」が85.2%で最も高く、「神大寺」と「菅田」も8割を超えている。
- ・ 「神奈川幸ヶ谷」では「加入している」の割合は56.8%にとどまっており、3割近くは「加入していないし、今後も加入するつもりはない」としているが、「加入していないが、入りたい」も約1割いる。「羽沢」でも「加入していないが、入りたい」の割合が1割近くあり、やや高い。
- ・ 「神西神北」と「青木」では「加入していないし、今後も加入するつもりはない」が2割である。
- ・ 「松見」では「加入しているが、やめたい」の割合が4.9%で他の地域に比べてやや高い。

表 年齢別、居住地域別 自治会・町内会への加入状況

問16 自治会・町内会への加入

		全体	加入している	加入しているが、やめたい	加入していないが、入りたい	加入していないし、今後も加入するつもりはない	無回答	
全 体		1,700	1,274	25	88	271	42	
		100.0	74.9	1.5	5.2	15.9	2.5	
F 2 年齢	20～24歳	62	46.8	0.0	11.3	40.3	1.6	
	25～29歳	115	40.9	0.0	12.2	46.1	0.9	
	30～34歳	144	55.6	1.4	7.6	34.7	0.7	
	35～39歳	187	63.6	2.7	8.6	24.1	1.1	
	40～44歳	165	81.2	1.2	4.2	13.3	0.0	
	45～49歳	127	77.2	1.6	3.9	14.2	3.1	
	50～54歳	115	80.0	5.2	1.7	12.2	0.9	
	55～59歳	174	90.2	1.1	2.9	4.0	1.7	
	60～64歳	167	85.0	1.2	3.6	5.4	4.8	
	65～69歳	118	81.4	0.8	6.8	7.6	3.4	
	70～74歳	119	86.6	0.0	2.5	7.6	3.4	
	75歳以上	180	84.4	1.7	2.2	5.6	6.1	
	無回答	27	92.6	0.0	0.0	0.0	7.4	
F 3 居住地域	青木	168	75.0	0.6	2.4	20.2	1.8	
	大口七島	106	72.6	0.9	5.7	16.0	4.7	
	片倉三枚	120	79.2	0.8	4.2	13.3	2.5	
	神奈川幸ヶ谷	169	56.8	1.2	11.8	27.2	3.0	
	神ノ木西寺尾	130	77.7	3.1	3.1	14.6	1.5	
	子安入江	122	75.4	0.0	4.1	16.4	4.1	
	白幡浦島丘	121	72.7	2.5	4.1	17.4	3.3	
	神西神北	135	70.4	3.0	5.2	20.7	0.7	
	神大寺	88	81.8	0.0	2.3	15.9	0.0	
	菅田	132	80.3	1.5	6.1	9.1	3.0	
	羽沢	83	75.9	1.2	9.6	10.8	2.4	
	松見	81	85.2	4.9	4.9	4.9	0.0	
	三ツ沢	122	76.2	0.8	4.1	13.1	5.7	
	六角橋	89	78.7	1.1	3.4	15.7	1.1	
		無回答	34	91.2	0.0	5.9	2.9	0.0

■同居家族の人数別 自治会・町内会への加入状況（F5×問16）

- 同居家族の人数別に自治会・町内会への加入状況を見ると、人数が多くなるほど「加入している」の割合は高くなる傾向がみられ、「6人以上」では9割を超えている。「1人」では「加入していないが、入りたい」が約1割いる一方で「加入していないし、今後も加入するつもりはない」も4割を超えている。

■住居の形態別 自治会・町内会への加入状況（問34×問16）

- 住居の形態別に自治会・町内会への加入状況を見ると、「戸建て住宅（持ち家）」で「加入している」の割合が最も高く、「戸建て住宅（賃貸）」で最も低い。「マンション等集合住宅」では「加入している」の割合は64.7%である。「戸建て住宅（賃貸）」では「加入していないが、入りたい」が12.2%であるが、「加入していないし、今後も加入するつもりはない」も30.6%である。

表 同居家族の人数別、住居の形態別 自治会・町内会への加入状況

		問16 自治会・町内会への加入					
		全体	加入している	加入しているが、やめたい	加入していないが、入りたい	加入していないし、今後も加入するつもりはない	無回答
全体		1,700	1,274	25	88	271	42
		100.0	74.9	1.5	5.2	15.9	2.5
F5 同居家族 の人数	1人	209	45.5	1.0	10.0	40.2	3.3
	2人	515	74.0	2.1	6.0	15.3	2.5
	3人	421	79.1	1.4	4.3	13.3	1.9
	4人	310	82.3	0.6	3.2	11.0	2.9
	5人	105	79.0	3.8	6.7	9.5	1.0
	6人以上	84	90.5	0.0	1.2	7.1	1.2
	無回答	56	91.1	0.0	0.0	3.6	5.4
問34 住居形態	戸建て住宅（持ち家）	766	87.7	2.0	2.3	5.9	2.1
	戸建て住宅（賃貸）	98	46.9	2.0	12.2	30.6	8.2
	マンション等集合住宅	748	64.7	1.1	7.6	24.9	1.7
	社宅・官舎・寮	48	75.0	0.0	2.1	20.8	2.1
	無回答	40	90.0	0.0	0.0	0.0	10.0

(2) 自治会・町内会をやめたい・加入したくない理由

問17 問16で「2 自治会・町内会をやめたい」、「4 加入していないし、今後も加入するつもりはない」と答えた方にうかがいます。その理由は何ですか。

- 「自治会・町内会をやめたい」、「加入していないし、今後も加入するつもりはない」の理由について、全部で251件の意見が得られた。内容について分類したところ、「仕事等で忙しく、生活に余裕がない、時間がない」の意見が最も多く65件であった。また「自治会・町内会の活動がよくわからない」、「必要性を感じない」、「運営方針に納得できない」等の意見が59件、「煩わしい」、「面倒である」等の意見も38件であった。

表 「自治会・町内会をやめたい」または「今後も加入するつもりはない」理由

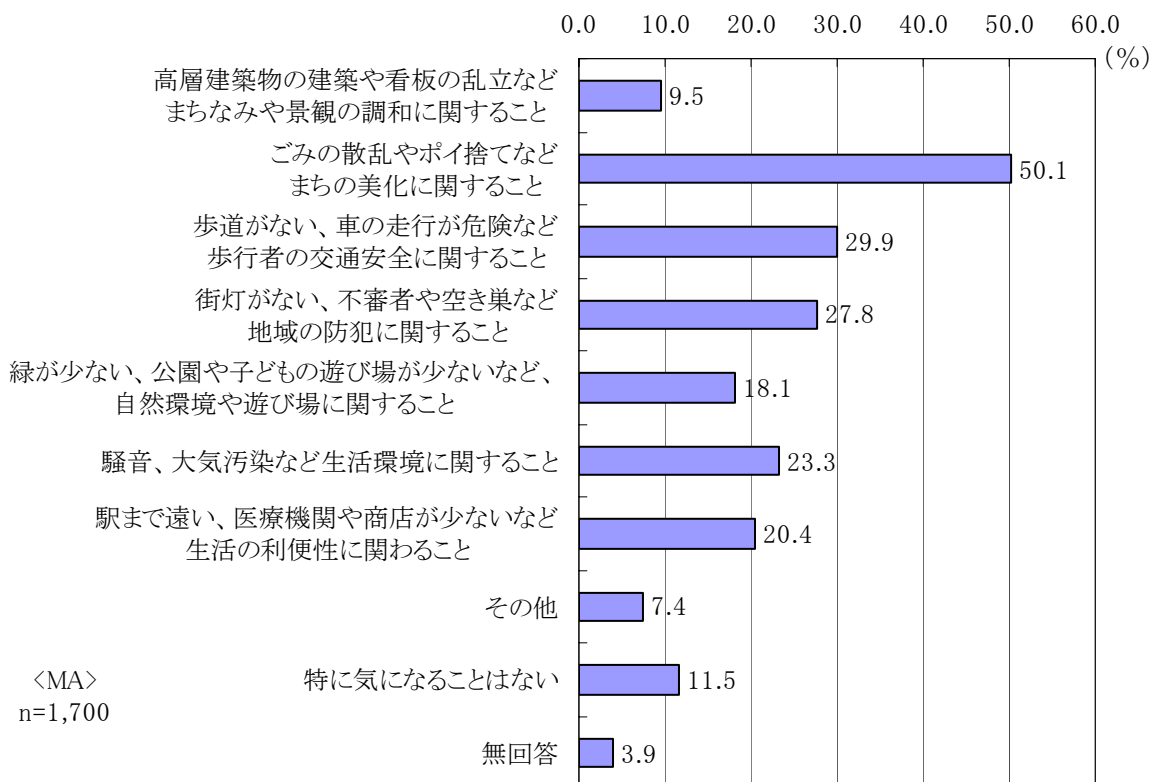
分類	件数	内容	件数
忙しい、余裕がない	65	仕事等で忙しく、時間がない	62
		余裕がない	3
活動内容や必要性がわからない、納得できない	59	活動をよく知らない	30
		必要性を感じない	23
		活動がない	2
		その他	4
煩わしい、面倒である	38	面倒だから	19
		興味がない、好きではない	12
		人間関係がわずらわしい	7
居住形態による理由	33	賃貸住宅に住んでいるから	21
		マンションの管理組合があるため	8
		その他	4
世帯状況等による理由	33	他の家族が加入している	9
		独身のため	7
		高齢のため	6
		近所に知人がいない	4
		その他	7
引越したばかり・引越の予定	8	引越す予定があるため	7
		引越してきたばかり	1
その他	15	経済的理由	3
		加入をすすめられない	2
		わからない	2
		その他	8
	251	合計	251

4) 地域の気になる問題や課題

問18 お住まいの地域で、気になる問題や課題はありますか。(〇はいくつでも)

- ・ 「ごみの散乱やポイ捨てなどまちの美化に関すること」(50.1%) が特に多く、全体の半数が挙げている。次いで、「歩道がない、車の走行が危険など歩行者の交通安全に関すること」(29.9%)、「街灯がない、不審者や空き巣など地域の防犯に関すること」(27.8%)、「騒音、大気汚染など生活環境に関すること」(23.3%)、「駅まで遠い、医療機関や商店が少ないなど生活の利便性に関すること」(20.4%)、「緑が少ない、公園や子どもの遊び場が少ないなど、自然環境や遊び場に関すること」(18.1%)、「高層建築物の建築や看板の乱立などまちなみや景観の調和に関すること」(9.5%) の順となっている。地域の美化を挙げる意見が特に高く、次いで、地域の安全・安心に関すること、生活環境に関することへの意見が多くなっている。
- ・ 「特に気になることはない」は11.5%にとどまっている。
- ・ 「その他」を挙げているのは7.4%である。

図 地域の気になる問題や課題



■年齢別 地域の気になる問題や課題 (F2×問18)

- 20代を除いて全ての年齢層で「ごみの散乱やポイ捨てなどまちの美化に関すること」が最も高くなっている。20代では「街灯がない、不審者や空き巣など地域の防犯に関すること」が最も高い(但し「20～24歳」では「美化」と「防犯」は同率1位)。「美化」に関しては、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がある。
- 「歩道がない、車の走行が危険など歩行者の交通安全に関すること」については、「35～39歳」、「40～44歳」で高く、「緑が少ない、公園や子どもの遊び場が少ないなど、自然環境や遊び場に関すること」は「35～39歳」と「25～29歳」で高くなっており、子育て世代の意識を反映したものと考えられる。
- 「駅まで遠い、医療機関や商店が少ないなど生活の利便性に関わること」については、「25～29歳」と「30～34歳」でやや高くなっている。

表 年齢別 地域の気になる問題や課題

問18 居住地域での、気になる問題や課題(複数回答)

		全体	高層建築物の建築や看板の乱立などまちなみや景観の調和に関すること	ごみの散乱やポイ捨てなどまちの美化に関すること	歩道がない、車の走行が危険など歩行者の交通安全に関すること	街灯がない、不審者や空き巣など地域の防犯に関すること	緑が少ない、公園や子どもの遊び場が少ないなど、自然環境や遊び場に関すること	騒音、大気汚染など生活環境に関すること	駅まで遠い、医療機関や商店が少ないなど生活の利便性に関すること	その他	特に気になることはない	無回答
全 体		1,700	162	852	509	472	308	396	346	125	196	66
		—	9.5	50.1	29.9	27.8	18.1	23.3	20.4	7.4	11.5	3.9
F 2 年齢	20～24歳	62	8.1	33.9	21.0	33.9	21.0	16.1	17.7	0.0	19.4	3.2
	25～29歳	115	12.2	35.7	29.6	37.4	26.1	29.6	26.1	6.1	8.7	2.6
	30～34歳	144	6.3	43.8	31.9	33.3	18.8	20.8	28.5	9.0	8.3	2.1
	35～39歳	187	12.3	43.9	38.0	33.2	26.7	26.7	23.5	5.9	8.0	2.7
	40～44歳	165	7.3	50.9	38.2	37.6	21.2	27.3	21.8	8.5	8.5	1.2
	45～49歳	127	7.9	53.5	32.3	41.7	15.0	29.1	20.5	7.9	7.1	1.6
	50～54歳	115	9.6	56.5	31.3	27.8	13.9	24.3	9.6	13.0	13.0	3.5
	55～59歳	174	12.1	52.3	24.1	23.0	17.8	24.7	15.5	8.0	12.6	2.9
	60～64歳	167	7.8	57.5	28.1	19.2	18.0	25.1	16.8	8.4	13.8	4.2
	65～69歳	118	7.6	57.6	27.1	18.6	14.4	16.9	21.2	6.8	11.9	6.8
	70～74歳	119	8.4	57.1	28.6	18.5	14.3	19.3	21.8	5.9	14.3	5.0
75歳以上	180	12.2	51.1	26.1	16.7	12.2	15.0	21.7	6.1	16.1	9.4	
無回答	27	11.1	48.1	11.1	18.5	3.7	25.9	7.4	3.7	14.8	7.4	

■居住地域別 地域の気になる問題や課題 (F3×問18)

- ・ 「神大寺」、「菅田」、「羽沢」を除く全ての地域で「ごみの散乱やポイ捨てなどまちの美化に関すること」が最も多くなっている。特に「神西神北」では6割を超えている。
- ・ 「神大寺」では「歩道がない、車の走行が危険など歩行者の交通安全に関すること」(44.3%)が最も多く、「菅田」、「羽沢」では「駅まで遠い、医療機関や商店が少ないなど生活の利便性に関わること」が半数以上となっている。また「羽沢」では「歩道がない、車の走行が危険など歩行者の交通安全に関すること」、「街灯がない、不審者や空き巣など地域の防犯に関すること」も高くなっている。
- ・ 「緑が少ない、公園や子どもの遊び場が少ないなど、自然環境や遊び場に関すること」については、「子安入江」や「神ノ木西寺尾」、「白幡浦島丘」で高く、「騒音、大気汚染など生活環境に関すること」は「子安入江」、「神奈川幸ヶ谷」で4割を超えている。

表 居住地域別 地域の気になる問題や課題

問18 居住地域での、気になる問題や課題(複数回答)

		全体	高層建築物の建築や看板の乱立などまちなみや景観の調和に関すること	ごみの散乱やポイ捨てなどまちの美化に関すること	歩道がない、車の走行が危険など歩行者の交通安全に関すること	街灯がない、不審者や空き巣など地域の防犯に関すること	緑が少ない、公園や子どもの遊び場が少ないなど、自然環境や遊び場に関すること	騒音、大気汚染など生活環境に関すること	駅まで遠い、医療機関や商店が少ないなど生活の利便性に関わること	その他	特に気になることはない	無回答
全体		1,700	162	852	509	472	308	396	346	125	196	66
		—	9.5	50.1	29.9	27.8	18.1	23.3	20.4	7.4	11.5	3.9
F3 居住地域	青木	168	16.1	51.2	25.0	26.8	15.5	20.8	7.7	6.0	15.5	4.2
	大口七島	106	10.4	48.1	22.6	23.6	21.7	17.0	7.5	7.5	16.0	5.7
	片倉三枚	120	5.8	45.8	32.5	30.8	4.2	18.3	20.0	7.5	15.8	1.7
	神奈川幸ヶ谷	169	13.0	52.7	18.3	19.5	18.9	40.8	21.9	11.8	10.1	3.6
	神ノ木西寺尾	130	4.6	47.7	42.3	34.6	25.4	22.3	20.0	6.2	13.1	2.3
	子安入江	122	13.9	51.6	16.4	21.3	28.7	43.4	9.8	8.2	8.2	7.4
	白幡浦島丘	121	10.7	53.7	31.4	38.8	26.4	23.1	21.5	9.9	5.8	3.3
	神西神北	135	12.6	64.4	27.4	20.7	21.5	21.5	6.7	4.4	13.3	2.2
	神大寺	88	5.7	38.6	44.3	26.1	14.8	18.2	27.3	6.8	12.5	1.1
	菅田	132	2.3	34.1	29.5	29.5	9.1	12.9	53.8	3.8	12.9	4.5
	羽沢	83	0.0	45.8	44.6	39.8	10.8	13.3	66.3	2.4	0.0	4.8
	松見	81	13.6	50.6	34.6	35.8	21.0	19.8	11.1	9.9	13.6	4.9
	三ツ沢	122	10.7	54.9	29.5	29.5	15.6	21.3	11.5	11.5	10.7	5.7
六角橋	89	6.7	58.4	40.4	22.5	20.2	19.1	16.9	6.7	7.9	4.5	
無回答	34	11.8	50.0	23.5	17.6	14.7	29.4	8.8	2.9	17.6	0.0	

- ・ 「その他」の内容としては、下表のような意見が挙げられた。意見数は141件で「道路・交通」に関するものから「近隣との関係」まで多岐にわたっている。

表 地域の気になる問題や課題（「その他」の内容）

大分類	件数	意見内容	件数
生活環境	59	地域の高齢化	9
		町の老朽化や開発問題	7
		鳩・カラスの増加	6
		野良猫の問題	6
		子育て支援、子育て環境	6
		幼稚園・保育園の不足	5
		避難場所など災害時の対応	5
		防犯・治安	3
		その他生活環境	12
		道路・交通	51
道路の整備	12		
歩行者の安全確保	6		
駐車場、駐輪場	5		
坂が多い	5		
駅の老朽化や施設整備	4		
バスの利用	4		
マナー	20	ペットの糞等の始末	6
		まちの美化	5
		公共マナー、モラル	4
		喫煙者のマナー	3
		公園の利用について	2
近隣の人との関係	8	思いやりが欠けている	3
		その他	5
その他	3	その他	3
合計	141	合計	141

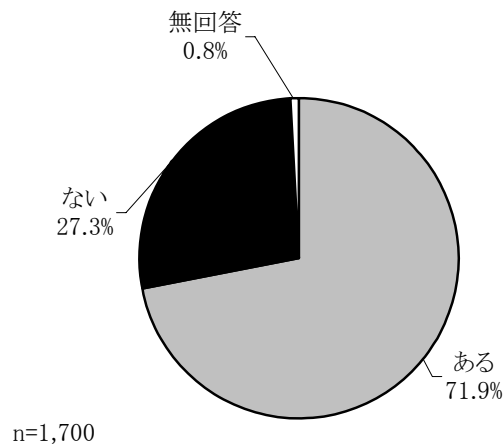
3. 健康・食生活について

1) かかりつけの診療所・病院の有無

問19 あなたは、かかりつけの診療所や病院がありますか。(○は1つ)

- ・ 「ある」(71.9%) が全体の7割を占めており、「ない」(27.3%) を大きく上回っている。

図 かかりつけの診療所や病院の有無



■男女別 かかりつけ医の有無 (F1×問19)

- ・ 男女ともに「ある」の割合の方が高くなっているが、「女性」(76.2%) が男性 (65.8%) を上回っている。

■年齢別 かかりつけ医の有無 (F2×問19)

- ・ 全ての年齢で「ある」の割合の方が高くなっており、年齢が高くなるほど「ある」の割合も高くなる。65歳以上では8割を超えており、70代以上では9割以上となっている。

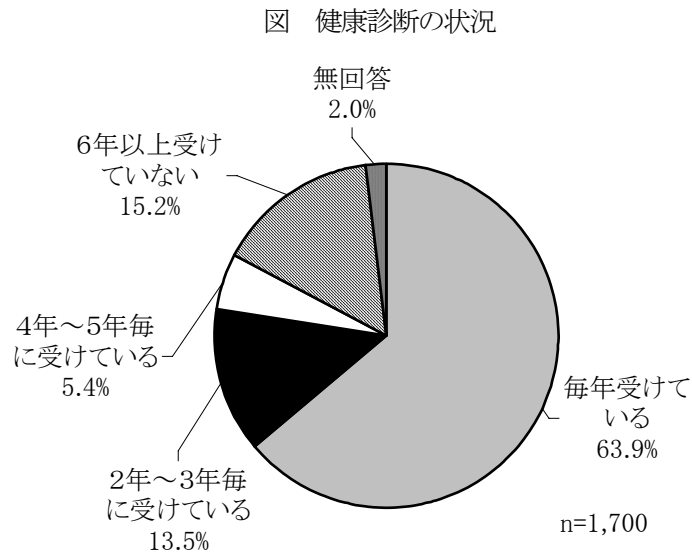
表 男女別、年齢別 かかりつけの診療所や病院の有無

		問19 かかりつけの診療所や病院の有無			
		全体	ある	ない	無回答
全 体		1,700	1,222	464	14
		100.0	71.9	27.3	0.8
F 1 性別	男性	713	65.8	33.1	1.1
	女性	951	76.2	23.3	0.4
	無回答	36	77.8	16.7	5.6
F 2 年齢	20～24歳	62	56.5	43.5	0.0
	25～29歳	115	54.8	43.5	1.7
	30～34歳	144	54.9	44.4	0.7
	35～39歳	187	67.4	32.6	0.0
	40～44歳	165	66.7	33.3	0.0
	45～49歳	127	61.4	38.6	0.0
	50～54歳	115	70.4	29.6	0.0
	55～59歳	174	72.4	26.4	1.1
	60～64歳	167	74.9	23.4	1.8
	65～69歳	118	83.9	14.4	1.7
	70～74歳	119	92.4	7.6	0.0
	75歳以上	180	95.6	3.9	0.6
	無回答	27	66.7	22.2	11.1

2) 健康診断の状況

問20 あなたは健康診断を受けていますか。(○は1つ)

- ・ 「毎年受けている」(63.9%) が最も多くなっているが、次に「6年以上受けていない」(15.2%) が多くっており、長期間にわたって健康診断を受けていない人も多いことがわかる。次いで「2年～3年毎に受けている」(13.5%)、「4年～5年毎に受けている」(5.4%) の順である。



■男女別 健康診断の状況 (F1×問20)

- ・ 男女ともに「毎年受けている」の割合が最も高くなっているが、「男性」では「毎年受けている」が77.6%で「女性」(54.0%)を大きく上回っている。
- ・ 「女性」では2割が「6年以上受けていない」としている。

■年齢別 健康診断の状況 (F2×問20)

- ・ 全ての年齢で「毎年受けている」が最も高くなっており、「20～24歳」と70歳以上では「毎年受けている」が7割を超えている。最も低いのは「60～64歳」である。
- ・ 30代では2割以上が「6年以上受けていない」としており、特に「30～34歳」では25.7%となっている。

表 男女別、年齢別 健康診断の状況

問20 健康診断の受診有無

		全体	毎年受けている	2年～3年毎に受けている	4年～5年毎に受けている	6年以上受けていない	無回答
全 体		1,700	1,087	230	91	258	34
		100.0	63.9	13.5	5.4	15.2	2.0
F 1 性別	男性	713	77.6	9.3	2.9	8.4	1.8
	女性	951	54.0	16.7	6.9	20.5	1.8
	無回答	36	55.6	13.9	11.1	8.3	11.1
F 2 年齢	20～24歳	62	72.6	11.3	1.6	11.3	3.2
	25～29歳	115	62.6	15.7	5.2	15.7	0.9
	30～34歳	144	54.9	10.4	8.3	25.7	0.7
	35～39歳	187	60.4	13.4	4.3	20.3	1.6
	40～44歳	165	69.1	12.1	3.6	15.2	0.0
	45～49歳	127	66.9	12.6	6.3	14.2	0.0
	50～54歳	115	61.7	13.9	9.6	13.0	1.7
	55～59歳	174	64.9	13.2	4.0	15.5	2.3
	60～64歳	167	51.5	18.6	7.8	19.2	3.0
	65～69歳	118	61.9	17.8	6.8	11.9	1.7
	70～74歳	119	71.4	16.0	2.5	8.4	1.7
	75歳以上	180	76.1	8.3	3.3	8.3	3.9
	無回答	27	51.9	14.8	7.4	7.4	18.5

■男女別・年齢別 健康診断の状況 (F1×F2×問20)

- ・ 男性では全ての年齢で「毎年受けている」が6割以上となっており、特に35～49歳と55～59歳では8割を超えている。最も低いのは「65～69歳」(62.5%)である。
- ・ 女性では男性と比較して「毎年受けている」の割合が低く、6割を超えているのは「20～24歳」と65歳以上のみである。「30～34歳」の34.8%が「6年以上受けていない」としており最も高くなっている。また35～49歳と55～64歳の年齢層でも「6年以上受けていない」が2割を超えており、女性の健康診断の受診率の低さが顕著である。

表 男女別・年齢別 健康診断の状況
問20 健康診断の受診有無

				全体	毎年受けている	2年～3年毎に受けている	4年～5年毎に受けている	6年以上受けていない	無回答
全体				1,700	1,087	230	91	258	34
				100.0	63.9	13.5	5.4	15.2	2.0
F1 性別	男性	F2 年齢	20～24歳	28	78.6	7.1	0.0	14.3	0.0
			25～29歳	50	74.0	12.0	2.0	12.0	0.0
			30～34歳	52	78.8	7.7	3.8	9.6	0.0
			35～39歳	70	82.9	7.1	0.0	10.0	0.0
			40～44歳	77	87.0	5.2	1.3	6.5	0.0
			45～49歳	57	86.0	3.5	3.5	7.0	0.0
			50～54歳	46	73.9	13.0	8.7	4.3	0.0
			55～59歳	73	84.9	8.2	0.0	4.1	2.7
			60～64歳	64	68.8	14.1	4.7	7.8	4.7
			65～69歳	64	62.5	15.6	7.8	10.9	3.1
			70～74歳	49	75.5	12.2	2.0	8.2	2.0
			75歳以上	83	74.7	7.2	2.4	9.6	6.0
			無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
F1 性別	女性	F2 年齢	20～24歳	34	67.6	14.7	2.9	8.8	5.9
			25～29歳	65	53.8	18.5	7.7	18.5	1.5
			30～34歳	92	41.3	12.0	10.9	34.8	1.1
			35～39歳	116	47.4	17.2	6.0	26.7	2.6
			40～44歳	88	53.4	18.2	5.7	22.7	0.0
			45～49歳	69	50.7	20.3	8.7	20.3	0.0
			50～54歳	69	53.6	14.5	10.1	18.8	2.9
			55～59歳	100	50.0	17.0	7.0	24.0	2.0
			60～64歳	103	40.8	21.4	9.7	26.2	1.9
			65～69歳	53	60.4	20.8	5.7	13.2	0.0
			70～74歳	69	69.6	18.8	2.9	7.2	1.4
			75歳以上	92	78.3	8.7	3.3	7.6	2.2
			無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

■男女別・就労状況別 健康診断の状況 (F1×F11×問20)

- 男女別、就労状況別にみると、男女ともに「会社員・公務員・団体職員」と「学生」で「毎年受けている」の割合が高く、特に男性の「会社員・公務員・団体職員」では9割近い受診率となっている。「自営業」と「パート・アルバイト等」では男女ともに「6年以上受けていない」の割合が高く、特に女性の「自営業」では3割を超えている。
- 男性の「就労していない」では「6年以上受けていない」の割合が12.2%であるのに対して、女性の「就労していない」では26.5%であるなど、同じ就労形態でも男性より女性の方が受診率が低い傾向が伺える。
- 健康診断を「6年以上受けていない」と回答した258人の内訳をみると、「男性」60人に対して「女性」が195人と4分の3を占めている。さらに女性195人の就労状況の内訳では、「就労していない」87人(44.6%)、「パート・アルバイト」52人(26.7%)と約7割を占めていることがわかる。

表 男女別・就労状況別 健康診断の状況

				問20 健康診断の受診有無					
				全体	毎年受けている	2年～3年毎に受けている	4年～5年毎に受けている	6年以上受けていない	無回答
全体				1,700	1,087	230	91	258	34
				100.0	63.9	13.5	5.4	15.2	2.0
F1 性別	男性	F11 就労状況	自営業	76	53.9	13.2	7.9	21.1	3.9
			会社員・公務員・団体職員	394	88.6	5.8	1.8	3.6	0.3
			学生	17	82.4	5.9	0.0	11.8	0.0
			パート・アルバイト等	39	56.4	17.9	5.1	20.5	0.0
			就労していない	147	65.3	15.0	2.7	12.2	4.8
			その他	29	82.8	0.0	3.4	6.9	6.9
			無回答	11	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0
F1 性別	女性	F11 就労状況	自営業	61	37.7	24.6	1.6	34.4	1.6
			会社員・公務員・団体職員	221	74.2	13.6	3.6	8.1	0.5
			学生	13	69.2	7.7	7.7	15.4	0.0
			パート・アルバイト等	196	45.4	17.3	7.7	26.5	3.1
			就労していない	387	49.6	17.3	8.8	22.5	1.8
			その他	53	49.1	13.2	9.4	26.4	1.9
			無回答	20	55.0	25.0	10.0	5.0	5.0

表 健康診断を「6年以上受けていない」と回答した人(258人)の内訳

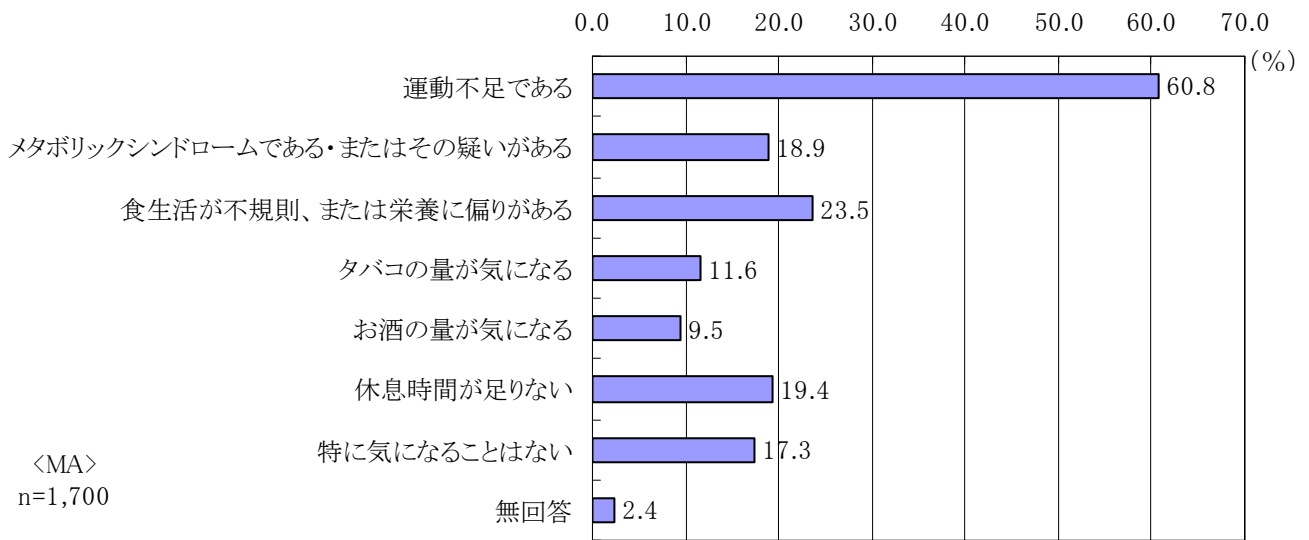
性別	就労状況・内訳	(人)	(%)	女性 (195人) 構成比・%
男性 60人	自営業	16	6.2	
	会社員・公務員・団体職員	14	5.4	
	学生	2	0.8	
	パート・アルバイト等	8	3.1	
	就労していない	18	7.0	
	その他	2	0.8	
女性 195人	自営業	21	8.1	10.8
	会社員・公務員・団体職員	18	7.0	9.2
	学生	2	0.8	1.0
	パート・アルバイト等	52	20.2	26.7
	就労していない	87	33.7	44.6
	その他	14	5.4	7.2
	無回答	1	0.4	0.5
無回答		3	1.2	
		258	100.0	

3) 健康で気になっていること

問21 下記の中で、あなたが気になっていることがありますか。(〇はいくつでも)

- ・ 「運動不足である」(60.8%)が突出して多くなっており、6割が挙げている。次に「食生活が不規則、または栄養に偏りがある」(23.5%)、「休息時間が足りない」(19.4%)、「メタボリックシンドロームである・またはその疑いがある」(18.9%)の順となっている。次いで「特に気になることはない」(17.3%)と続き、「タバコの量が気になる」(11.6%)、「お酒の量が気になる」(9.5%)の順となっている。

図 健康面で気になっていること



■男女別 健康面で気になっていること (F1×問21)

- 男女別に健康面で気になっていることをみると、女性の方が「特に気になることはない」がやや高く、また「運動不足である」も男性よりも高くなっている。その他の項目では全て男性の方が高くなっており、特に「メタボリックシンドロームである・またはその疑いがある」については3割近くの男性が挙げており、女性を大きく上回っている。

■年齢別 健康面で気になっていること (F2×問21)

- 全ての年齢で過半数が「運動不足である」を挙げており、特に「40～44歳」では7割以上が挙げている。「メタボリックシンドロームである・またはその疑いがある」については、「60～64歳」で最も多く、「食生活が不規則、または栄養に偏りがある」と「休息時間が足りない」は「25～29歳」で多くなっている。

表 男女別、年齢別 健康面で気になっていること

問21 気になっていること (複数回答)

		全体	運動不足である	メタボリックシンドロームである・またはその疑いがある	食生活が不規則、または栄養に偏りがある	タバコの量が気になる	お酒の量が気にならない	休息時間が足りない	特に気になることはない	無回答
全 体		1,700	1,034	321	400	197	161	329	294	40
		—	60.8	18.9	23.5	11.6	9.5	19.4	17.3	2.4
F 1 性別	男性	713	59.0	29.2	25.2	17.7	17.1	22.4	13.6	2.1
	女性	951	62.8	11.5	22.8	7.0	3.9	17.7	19.7	2.1
	無回答	36	44.4	11.1	8.3	11.1	5.6	2.8	27.8	13.9
F 2 年齢	20～24歳	62	58.1	6.5	38.7	14.5	6.5	27.4	22.6	0.0
	25～29歳	115	67.0	11.3	44.3	11.3	10.4	33.0	10.4	0.0
	30～34歳	144	61.8	17.4	38.2	11.1	6.9	31.9	18.1	0.0
	35～39歳	187	69.0	17.6	24.6	15.5	7.5	27.8	12.3	0.5
	40～44歳	165	71.5	20.6	32.1	11.5	9.7	31.5	7.3	0.0
	45～49歳	127	63.0	21.3	31.5	14.2	15.0	24.4	11.0	1.6
	50～54歳	115	60.0	21.7	20.0	15.7	10.4	22.6	13.0	1.7
	55～59歳	174	64.9	20.7	14.4	12.6	15.5	16.1	18.4	1.7
	60～64歳	167	50.9	24.6	12.6	12.6	9.6	11.4	22.8	3.0
	65～69歳	118	53.4	22.9	12.7	11.9	11.0	6.8	22.0	4.2
	70～74歳	119	57.1	21.8	16.0	5.0	7.6	5.9	21.8	4.2
	75歳以上	180	52.8	14.4	14.4	4.4	3.9	2.2	26.1	8.3
	無回答	27	44.4	14.8	7.4	14.8	7.4	3.7	33.3	7.4

■男女別・年齢別 健康面で気になっていること (F1×F2×問21)

- 「75歳以上・男性」を除く全ての年齢で過半数が「運動不足である」を挙げており、特に「55～59歳・男性」、「25～29歳・女性」、「35～39歳・女性」、「40～44歳・女性」では7割以上となっている。「メタボリックシンドロームである・またはその疑いがある」については、全体的に男性で割合が高く、「30～34歳・男性」で最も多いが、「70～74歳・女性」でも2割となっている。「食生活が不規則、または栄養に偏りがある」については「25～29歳・女性」の半数近くが挙げており、男性では「30～34歳」が最も高くなっている。タバコとお酒の量についても女性よりも男性で割合が高く、特に50代の男性で高い。「休息時間が足りない」は、20代後半から30代の男性の4割以上が挙げており、年齢が上がるにつれて割合は減少している。
- 「特に気になることはない」は男女ともに「75歳以上」で最も高くなっている。

表 男女別・年齢別 健康面で気になっていること

問21 気になっていること (複数回答)

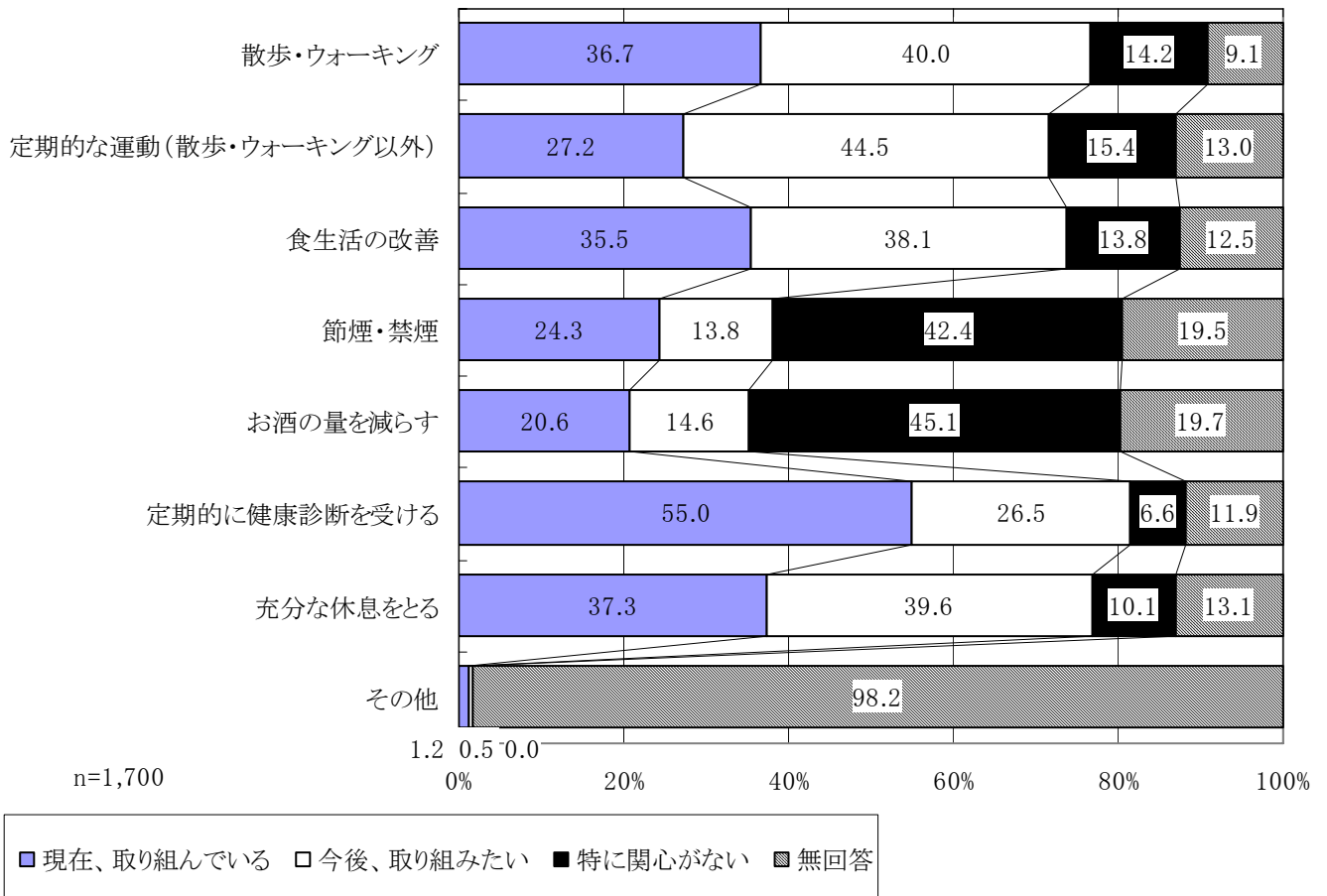
				全体	運動不足である	メタボリックシンドロームである・またはその疑い	食生活が不規則、または栄養に偏りがある	タバコの量が気になる	お酒の量が気になる	休息時間が足りない	特に気になることはない	無回答
全体				1,700	1,034	321	400	197	161	329	294	40
				—	60.8	18.9	23.5	11.6	9.5	19.4	17.3	2.4
F 1 性別	男性	F 2 年齢	20～24歳	28	57.1	14.3	35.7	21.4	7.1	25.0	21.4	0.0
			25～29歳	50	54.0	22.0	40.0	18.0	14.0	46.0	12.0	0.0
			30～34歳	52	55.8	36.5	44.2	23.1	15.4	42.3	15.4	0.0
			35～39歳	70	65.7	28.6	27.1	21.4	10.0	41.4	2.9	0.0
			40～44歳	77	68.8	35.1	37.7	19.5	15.6	33.8	5.2	0.0
			45～49歳	57	61.4	29.8	35.1	19.3	24.6	24.6	7.0	1.8
			50～54歳	46	58.7	34.8	17.4	23.9	19.6	28.3	10.9	2.2
			55～59歳	73	72.6	32.9	16.4	17.8	27.4	12.3	11.0	2.7
			60～64歳	64	51.6	35.9	15.6	17.2	23.4	15.6	14.1	3.1
			65～69歳	64	51.6	29.7	15.6	18.8	20.3	6.3	21.9	4.7
			70～74歳	49	57.1	24.5	8.2	8.2	18.4	2.0	22.4	6.1
75歳以上	83	49.4	19.3	18.1	8.4	7.2	2.4	24.1	3.6			
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
F 1 性別	女性	F 2 年齢	20～24歳	34	58.8	0.0	41.2	8.8	5.9	29.4	23.5	0.0
			25～29歳	65	76.9	3.1	47.7	6.2	7.7	23.1	9.2	0.0
			30～34歳	92	65.2	6.5	34.8	4.3	2.2	26.1	19.6	0.0
			35～39歳	116	70.7	11.2	23.3	12.1	6.0	19.8	18.1	0.9
			40～44歳	88	73.9	8.0	27.3	4.5	4.5	29.5	9.1	0.0
			45～49歳	69	65.2	14.5	29.0	10.1	7.2	24.6	13.0	1.4
			50～54歳	69	60.9	13.0	21.7	10.1	4.3	18.8	14.5	1.4
			55～59歳	100	59.0	12.0	13.0	9.0	7.0	19.0	24.0	1.0
			60～64歳	103	50.5	17.5	10.7	9.7	1.0	8.7	28.2	2.9
			65～69歳	53	56.6	15.1	9.4	3.8	0.0	7.5	22.6	1.9
			70～74歳	69	56.5	20.3	21.7	2.9	0.0	8.7	21.7	2.9
75歳以上	92	56.5	10.9	10.9	1.1	1.1	2.2	29.3	10.9			
無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

4) 健康のために取り組んでいること

問 22 あなたが健康のために取り組んでいることはありますか。また、今後取り組みたいことはありますか。
 (各項目の1、2、3のいずれかに○をしてください)

- ・ 「現在、取り組んでいる」こととしては、「定期的に健康診断を受ける」(55.0%) が特に高く、次いで「十分な休息をとる」(37.3%)、「散歩・ウォーキング」(36.7%)、「食生活の改善」(35.5%)、「定期的な運動(散歩・ウォーキング以外)」(27.2%)、「節煙・禁煙」(24.3%)、「お酒の量を減らす」(20.6%) となっている。
- ・ 「今後、取り組みたい」こととしては、「定期的な運動(散歩・ウォーキング以外)」(44.5%) や「散歩・ウォーキング」(40.0%) など、運動不足の悩みを反映してか、身体を動かすことを挙げている人が多く、次いで「十分な休息をとる」(39.6%)、「食生活の改善」(38.1%)、「定期的に健康診断を受ける」(26.5%)、「お酒の量を減らす」(14.6%)、「節煙・禁煙」(13.8%) の順である。
- ・ 「特に興味がない」こととしては「節煙・禁煙」(42.4%)、「お酒の量を減らす」(45.1%) が多く、もともと喫煙や飲酒の習慣がない人がいることによるものが考えられる。

図 健康のために取り組んでいること



■ 男女別・年齢別 健康のために取り組んでいること (F1×F2×問22)

- ・ 「現在、取り組んでいる」こととして、「散歩・ウォーキング」については、「75歳以上・男性」で最も高く約6割が挙げている一方、「35～39歳・男性」では15.7%にとどまっており特に低くなっている。「定期的な運動（散歩・ウォーキング以外）」では、20代の男性の4割が挙げている一方、「55～59歳・男性」では12.3%となっている。「食生活の改善」については「35～39歳・女性」が半数近くで最も高い。「節煙・禁煙」については「25～29歳・女性」と「30～34歳・女性」で3割を超えている。「お酒の量を減らす」については、「70～74歳・男性」で高い。「定期的に健康診断を受ける」については、全体的に女性よりも男性の方が高くなっているが、「40～44歳・男性」で特に高く8割を超えている。また「十分な休息をとる」については「70～74歳・男性」で高い。

表 男女別・年齢別 健康面のために取り組んでいること（「現在、取り組んでいる」の割合、無回答を含む）

				問22 健康のために取り組んでいること							
				全体	散歩・ウォーキング	定期的な運動（散歩・ウォーキング以外）	食生活の改善	節煙・禁煙	お酒の量を減らす	定期的に健康診断を受ける	十分な休息をとる
全 体				1,700	624	462	604	413	351	935	634
				100.0	36.7	27.2	35.5	24.3	20.6	55.0	37.3
F 1 性別	男性	F 2 年齢	20～24歳	28	25.0	42.9	17.9	25.0	10.7	50.0	14.3
			25～29歳	50	26.0	46.0	40.0	36.0	30.0	58.0	30.0
			30～34歳	52	26.9	38.5	36.5	30.8	25.0	67.3	30.8
			35～39歳	70	15.7	20.0	30.0	22.9	24.3	68.6	31.4
			40～44歳	77	36.4	35.1	28.6	29.9	20.8	80.5	27.3
			45～49歳	57	33.3	26.3	33.3	38.6	24.6	73.7	31.6
			50～54歳	46	39.1	26.1	28.3	26.1	19.6	71.7	26.1
			55～59歳	73	34.2	12.3	27.4	34.2	27.4	72.6	31.5
			60～64歳	64	46.9	25.0	34.4	29.7	21.9	59.4	40.6
			65～69歳	64	51.6	32.8	31.3	29.7	28.1	51.6	35.9
			70～74歳	49	51.0	32.7	36.7	34.7	36.7	61.2	57.1
75歳以上	83	59.0	24.1	28.9	25.3	19.3	53.0	47.0			
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
F 1 性別	女性	F 2 年齢	20～24歳	34	38.2	14.7	38.2	26.5	26.5	50.0	35.3
			25～29歳	65	30.8	29.2	35.4	33.8	29.2	47.7	40.0
			30～34歳	92	34.8	20.7	45.7	33.7	30.4	37.0	32.6
			35～39歳	116	33.6	30.2	48.3	26.7	26.7	50.0	44.8
			40～44歳	88	38.6	20.5	38.6	22.7	17.0	51.1	25.0
			45～49歳	69	29.0	31.9	37.7	8.7	13.0	55.1	37.7
			50～54歳	69	34.8	36.2	33.3	20.3	15.9	50.7	30.4
			55～59歳	100	31.0	34.0	44.0	21.0	21.0	51.0	41.0
			60～64歳	103	48.5	31.1	44.7	16.5	13.6	45.6	48.5
			65～69歳	53	39.6	26.4	39.6	17.0	13.2	41.5	54.7
			70～74歳	69	40.6	27.5	33.3	11.6	7.2	56.5	42.0
75歳以上	92	30.4	12.0	25.0	5.4	6.5	47.8	40.2			
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

■ 男女別・年齢別 健康のために取り組みたいこと (F1×F2×問22)

- 「今後、取り組みたい」こととして、「散歩・ウォーキング」については、「35～39歳・男性」と「25～29歳・女性」で高くなっている。「定期的な運動（散歩・ウォーキング以外）」については、「55～59歳・男性」と「20～24歳・女性」で高い。「食生活の改善」については「25～29歳・女性」で高くなっている。「節煙・禁煙」については「50～54歳・男性」で、「お酒の量を減らす」については「60～64歳・男性」で、それぞれ3割を超えている。「定期的に健康診断を受ける」については「30～34歳・女性」で特に高く、半数を超えている。また「十分な休息をとる」については若年層の男性で高く、30代男性では65%となっている。

表 男女別・年齢別 健康面のために取り組んでいること（「今後、取り組みたい」の割合、無回答を含む）

				問22 健康のために今後取り組みたいこと							
				全体	散歩・ウォーキング	定期的な運動（散歩・ウォーキング以外）	食生活の改善	節煙・禁煙	お酒の量を減らす	定期的に健康診断を受ける	十分な休息をとる
全 体				1,700	680	756	648	234	248	451	673
				100.0	40.0	44.5	38.1	13.8	14.6	26.5	39.6
F 1 性別	男性	F 2 年齢	20～24歳	28	42.9	39.3	53.6	21.4	21.4	17.9	64.3
			25～29歳	50	36.0	36.0	48.0	14.0	18.0	28.0	60.0
			30～34歳	52	34.6	44.2	50.0	23.1	26.9	28.8	65.4
			35～39歳	70	58.6	51.4	51.4	24.3	22.9	21.4	65.7
			40～44歳	77	39.0	53.2	53.2	26.0	24.7	11.7	57.1
			45～49歳	57	43.9	52.6	42.1	24.6	28.1	7.0	52.6
			50～54歳	46	32.6	45.7	30.4	30.4	28.3	13.0	52.2
			55～59歳	73	47.9	65.8	49.3	21.9	27.4	11.0	46.6
			60～64歳	64	32.8	39.1	37.5	20.3	31.3	28.1	26.6
			65～69歳	64	25.0	29.7	31.3	21.9	23.4	25.0	29.7
	70～74歳	49	38.8	38.8	24.5	8.2	10.2	14.3	10.2		
	75歳以上	83	13.3	16.9	18.1	6.0	10.8	6.0	8.4		
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
F 1 性別	女性	F 2 年齢	20～24歳	34	50.0	70.6	50.0	11.8	5.9	32.4	52.9
			25～29歳	65	58.5	61.5	58.5	12.3	20.0	46.2	53.8
			30～34歳	92	40.2	65.2	40.2	6.5	5.4	51.1	52.2
			35～39歳	116	47.4	56.0	42.2	15.5	14.7	44.8	46.6
			40～44歳	88	45.5	67.0	43.2	9.1	11.4	40.9	61.4
			45～49歳	69	50.7	55.1	46.4	11.6	11.6	33.3	42.0
			50～54歳	69	40.6	40.6	42.0	13.0	13.0	33.3	44.9
			55～59歳	100	56.0	47.0	34.0	14.0	9.0	33.0	36.0
			60～64歳	103	35.9	31.1	32.0	7.8	4.9	32.0	25.2
			65～69歳	53	35.8	37.7	22.6	1.9	0.0	26.4	11.3
	70～74歳	69	33.3	21.7	26.1	5.8	4.3	17.4	20.3		
	75歳以上	92	25.0	16.3	19.6	2.2	1.1	8.7	6.5		
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

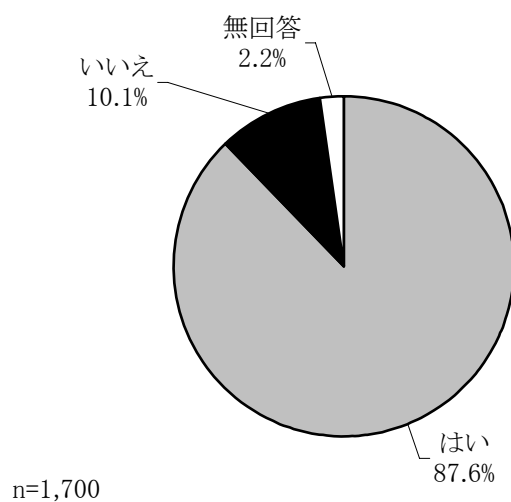
5) 食や健康に関する情報について

(1)食に関する情報への関心の有無

問 23 あなたは、食に関する情報に関心がありますか。(○は1つ)

- ・ 「はい」 (87.6) が9割近くを占めており、「いいえ」(10.1%) を大きく上回っている。

図 食に関する情報への関心の有無



■ 男女別・年齢別 食に関する情報への関心の有無(F1×F2×問23)

- 男女別、年齢別に食に関する情報への関心の有無をみると、どの性別・年齢でも「はい」の割合が高く、7割以上となっている。全体的に男性よりも女性の方が「はい」の割合が高い。男性では「50～54歳」と「60～64歳」で最も高く、「20～24歳」で最も低い。女性では「40～44歳」で最も高く、「50～54歳」で低い。

表 男女別・年齢別 食に関する情報への関心の有無

問23 食に関する情報に関心がありますか

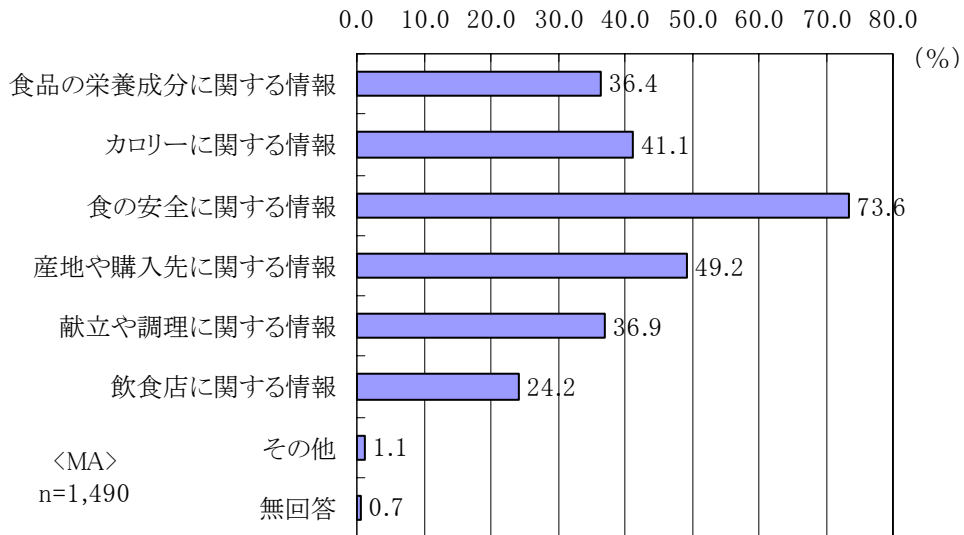
				全体	はい	いいえ	無回答
全 体				1,700	1,490	172	38
				100.0	87.6	10.1	2.2
F 1 性別	男性	F 2 年齢	20～24歳	28	71.4	28.6	0.0
			25～29歳	50	82.0	18.0	0.0
			30～34歳	52	86.5	13.5	0.0
			35～39歳	70	82.9	15.7	1.4
			40～44歳	77	84.4	14.3	1.3
			45～49歳	57	84.2	10.5	5.3
			50～54歳	46	89.1	8.7	2.2
			55～59歳	73	82.2	15.1	2.7
			60～64歳	64	89.1	6.3	4.7
			65～69歳	64	81.3	14.1	4.7
			70～74歳	49	85.7	14.3	0.0
			75歳以上	83	78.3	16.9	4.8
			無回答	0	0.0	0.0	0.0
F 1 性別	女性	F 2 年齢	20～24歳	34	88.2	11.8	0.0
			25～29歳	65	95.4	4.6	0.0
			30～34歳	92	94.6	5.4	0.0
			35～39歳	116	94.0	6.0	0.0
			40～44歳	88	96.6	3.4	0.0
			45～49歳	69	92.8	7.2	0.0
			50～54歳	69	84.1	13.0	2.9
			55～59歳	100	88.0	11.0	1.0
			60～64歳	103	92.2	5.8	1.9
			65～69歳	53	90.6	9.4	0.0
			70～74歳	69	92.8	4.3	2.9
			75歳以上	92	85.9	5.4	8.7
			無回答	1	0.0	0.0	100.0

(2) 欲しい食に関する情報の内容

問24 食に関してどのような情報が欲しいですか。(〇はいくつでも)

- 食に関する情報に関心があるという人(1,490人)に対して、どのような情報が欲しいかきいたところ、「食の安全に関する情報」(73.6)が特に多くなっており、次いで「産地や購入先に関する情報」(49.2%)、「カロリーに関する情報」(41.1%)、「献立や調理に関する情報」(36.9%)、「食品の栄養成分に関する情報」(36.4%)、「飲食店に関する情報」(24.2%)の順となっている。

図 欲しい食に関する情報の内容



■ 男女別 欲しい食に関する情報の内容 (F1×問24)

- 男女別に欲しい食に関する情報の内容をみると、「食の安全に関する情報」、「産地や購入先に関する情報」、「献立や調理に関する情報」では女性が男性を大きく上回っている。食の安全性や調理等に関して、女性の方がニーズが高いことがわかる。

■ 年齢別 欲しい食に関する情報の内容 (F2×問24)

- 年齢別に欲しい食に関する情報の内容をみると、「食品の栄養成分に関する情報」については「75歳以上」で最も高く、「カロリーに関する情報」は「20～24歳」が最も高くなっている。「食の安全に関する情報」については「65～69歳」と「70～74歳」で8割を超えており、「産地や購入先に関する情報」については「70～74歳」で最も高く、高齢者の食の安全性への関心の高さがうかがえる。「献立や調理に関する情報」については「25～29歳」の半数近くが挙げており、「飲食店に関する情報」については「45～49歳」で最も高い。

表 男女別、年齢別 欲しい食に関する情報の内容

問24 食に関してどのような情報が欲しいですか(複数回答)

		全体	食品の栄養成分に関する情報	カロリーに関する情報	食の安全に関する情報	産地や購入先に関する情報	献立や調理に関する情報	飲食店に関する情報	その他	無回答
全体		1,490	543	613	1,096	733	550	361	17	10
		—	36.4	41.1	73.6	49.2	36.9	24.2	1.1	0.7
F1 性別	男性	594	35.9	41.2	69.0	41.4	25.8	26.8	1.9	0.7
	女性	869	36.7	41.3	77.1	55.1	44.8	22.9	0.7	0.7
	無回答	27	40.7	33.3	59.3	29.6	29.6	11.1	0.0	0.0
F2 年齢	20～24歳	50	44.0	54.0	60.0	36.0	26.0	36.0	4.0	0.0
	25～29歳	103	32.0	45.6	65.0	40.8	49.5	35.9	2.9	0.0
	30～34歳	132	38.6	37.9	70.5	50.0	42.4	34.1	0.0	0.0
	35～39歳	168	35.1	35.7	73.2	51.2	45.2	32.1	1.8	0.6
	40～44歳	150	36.7	38.0	76.7	52.7	30.7	34.0	0.7	0.0
	45～49歳	113	32.7	52.2	72.6	51.3	44.2	37.2	0.9	0.9
	50～54歳	99	34.3	42.4	72.7	47.5	33.3	16.2	1.0	0.0
	55～59歳	148	35.8	39.2	73.6	50.0	39.2	20.9	1.4	0.0
	60～64歳	152	32.9	43.4	73.7	55.9	35.5	16.4	0.0	0.7
	65～69歳	101	33.7	39.6	82.2	56.4	25.7	10.9	0.0	0.0
	70～74歳	107	33.6	40.2	80.4	57.0	36.4	10.3	0.0	1.9
	75歳以上	147	47.6	38.8	76.2	36.1	28.6	11.6	2.7	3.4
	無回答	20	45.0	35.0	60.0	35.0	30.0	15.0	0.0	0.0

(3) 欲しい健康に関する情報の内容

問 25 健康に関して区役所から欲しい情報はありますか。自由にお書きください。

- 健康に関して区役所からどのような情報が欲しいかきいたところ、全部で311件の意見が得られた。これらの内容を整理したところ、「地域の医療機関の案内」や「病気に関する情報」など医療に関する情報についての意見が157件で最も多く、次いで「食の安全」や「食品の情報」など食に関する情報についての意見が64件であった。また、「地域の運動施設の情報」などスポーツ・運動に関するニーズも高かった。

表 欲しい健康に関する情報の内容

大分類	件数	内容	件数
イベント・企画	14	イベントの企画、案内	8
		運動に関するイベント	3
		講習、講座等	3
医療	157	健康診断の情報	72
		地域の医療機関の案内	45
		流行している病気について	8
		病気の予防	6
		病気とその治療方法	4
		予防接種の情報	3
		小児医療	2
		その他 健康や病気、医療に関する情報	17
食品・食事	64	食の安心・安全	22
		食品の情報、販売店の情報	19
		献立、調理方法等	13
		栄養について	5
		カロリーに関する情報	3
		食育について	2
スポーツ・運動	40	地域の運動施設	29
		ウォーキングコース	3
		簡単な体操	3
		その他スポーツに関する情報	5
その他	36	情報の具体的内容や信頼性	18
		現状で充分	9
		情報ツールについて	4
		高齢者関係、介護関係	3
		その他	2
合計	311	合計	311

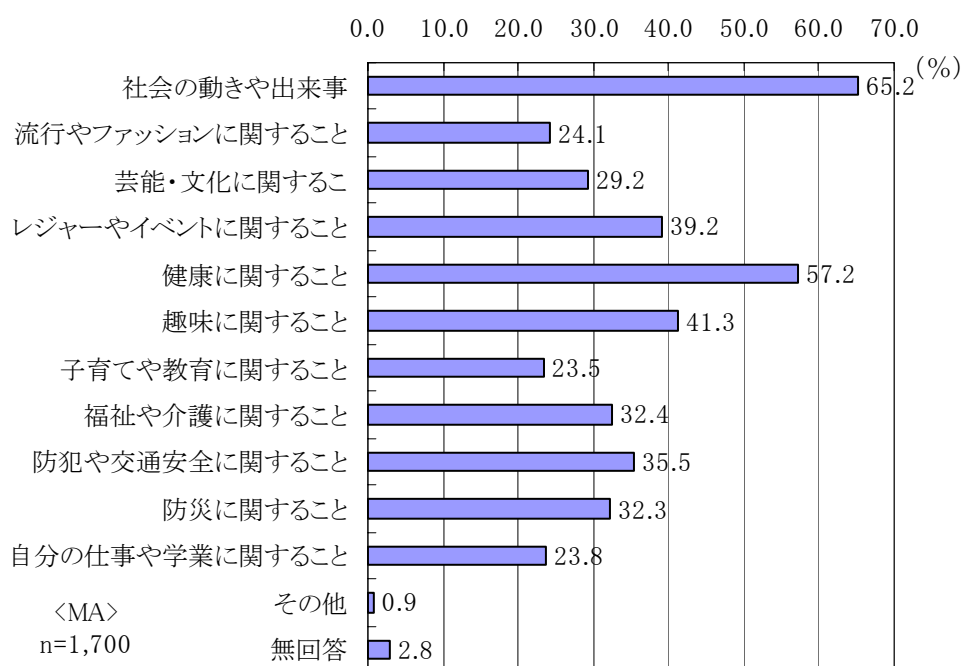
4. 身の回りの情報について

1) 興味・関心のある情報の分野

問 26 あなたは、下記の中で特にどのような情報に興味・関心がありますか。(〇はいくつでも)

- ・ 「社会の動きや出来事」(65.2%) が最も多く、次いで「健康に関すること」(57.2%) となっており、この2項目については半数以上が挙げている。次いで、「趣味に関すること」(41.3%)、「レジャーやイベントに関すること」(39.2%)、「防犯や交通安全に関すること」(35.5%)、「福祉や介護に関すること」(32.4%)、「防災に関すること」(32.3%)、「芸能・文化に関すること」(29.2%)、「流行やファッションに関すること」(24.1%)、「自分の仕事や学業に関すること」(23.8%)、「子育てや教育に関すること」(23.5%)、「その他」(0.9%) の順となっている。

図 興味・関心のある情報の分野



■男女別 興味・関心のある情報の分野 (F1×問26)

- 男女ともに「社会の動きや出来事」が最も多く、次いで「健康に関すること」となっており、いずれも半数以上が挙げている。次いで、男性では「趣味に関すること」が多く、女性では「レジャーやイベントに関すること」となっている。
- 男性では「趣味に関すること」や「自分の仕事や学業に関すること」へのニーズが女性に比べて高く、女性では「流行やファッションに関すること」、「芸能・文化に関すること」、「健康に関すること」、「子育てや教育に関すること」、「福祉や介護に関すること」の割合が高くなっている。

■年齢別 興味・関心のある情報の分野 (F2×問26)

- 年齢別にみると、「20～24歳」では「流行やファッションに関すること」、「25～29歳」では「レジャーやイベントに関すること」と「趣味に関すること」が最も高く、30代から60代前半までは「社会の動きや出来事」が最も高くなっている。65歳以降は「健康に関すること」のウエイトが高くなっている。
- 分野別にみると、「社会の動きや出来事」に関しては「45～49歳」、「流行やファッションに関すること」と「芸能・文化に関すること」、「自分の仕事や学業に関すること」については「20～24歳」、「レジャーやイベントに関すること」と「趣味に関すること」については「25～29歳」、「子育てや教育に関すること」については「30～34歳」、「福祉や介護に関すること」については「65～69歳」、「健康に関すること」、「防犯や交通安全に関すること」、「防災に関すること」については「70～74歳」で、それぞれ最も高くなっている。

表 男女別、年齢別 興味・関心のある情報の分野

問26 興味・関心がある情報（複数回答）

		全体	社会の動きや出来事	流行やファッションに関すること	芸能・文化に関すること	レジャーやイベントに関すること	健康に関すること	趣味に関すること	子育てや教育に関すること	福祉や介護に関すること	防犯や交通安全に関すること	防災に関すること	自分の仕事や学業に関すること	その他	無回答
全体		1,700	1,109	410	496	667	972	702	399	550	604	549	404	15	48
		—	65.2	24.1	29.2	39.2	57.2	41.3	23.5	32.4	35.5	32.3	23.8	0.9	2.8
F1 性別	男性	713	70.1	14.9	25.0	38.3	50.8	48.1	19.1	25.9	35.2	32.7	31.0	1.0	2.8
	女性	951	62.3	31.7	32.9	40.9	61.9	37.2	27.3	36.8	35.9	32.1	19.0	0.8	2.5
	無回答	36	47.2	8.3	13.9	13.9	58.3	13.9	8.3	41.7	33.3	30.6	5.6	0.0	11.1
F2 年齢	20～24歳	62	48.4	66.1	40.3	38.7	32.3	48.4	25.8	11.3	12.9	8.1	58.1	1.6	4.8
	25～29歳	115	53.9	54.8	40.0	56.5	46.1	56.5	34.8	8.7	26.1	21.7	37.4	1.7	0.0
	30～34歳	144	64.6	34.0	31.9	53.5	45.1	45.1	55.6	16.7	31.9	27.1	36.8	0.0	2.1
	35～39歳	187	62.6	35.8	30.5	59.9	55.1	42.2	49.2	15.0	40.6	29.4	39.6	1.6	1.1
	40～44歳	165	69.7	25.5	32.7	46.1	55.2	43.0	45.5	23.6	40.6	35.2	34.5	0.0	1.2
	45～49歳	127	74.0	25.2	35.4	44.9	52.8	52.8	22.0	27.6	29.1	34.6	27.6	1.6	1.6
	50～54歳	115	70.4	22.6	25.2	34.8	52.2	40.9	11.3	32.2	33.9	33.9	29.6	2.6	3.5
	55～59歳	174	69.5	14.9	30.5	42.0	59.2	42.5	8.0	37.4	31.0	31.6	21.8	1.1	1.7
	60～64歳	167	68.3	13.8	28.1	38.3	64.1	39.5	9.0	43.7	38.3	37.1	12.6	0.0	4.2
	65～69歳	118	65.3	11.0	17.8	22.9	68.6	39.8	7.6	55.9	38.1	38.1	8.5	0.8	1.7
	70～74歳	119	71.4	9.2	26.9	18.5	72.3	29.4	5.9	52.1	46.2	39.5	0.8	0.0	1.7
	75歳以上	180	60.0	7.8	20.6	15.6	67.8	28.9	3.9	51.7	41.7	38.3	0.0	0.6	7.8
無回答	27	44.4	11.1	14.8	7.4	51.9	14.8	11.1	40.7	29.6	22.2	7.4	0.0	14.8	

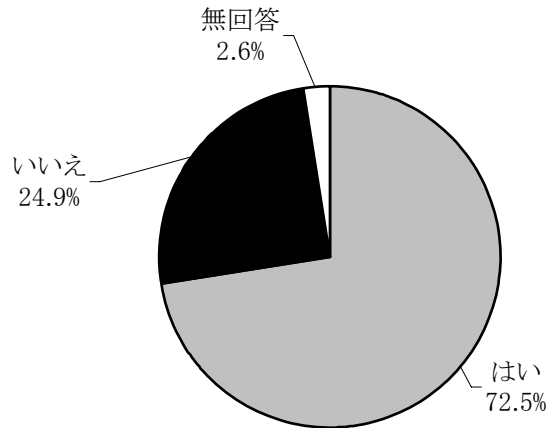
2)インターネットの利用について

(1)自宅でのインターネットへの接続環境の有無

問27 あなたのご自宅では、インターネットに接続できる環境にありますか。(○は1つ)

- ・ 「はい」 (72.5%) が4分の3を占めており、「いいえ」 (24.9%) を大きく上回っている。

図 自宅でのインターネットへの接続環境の有無



n=1,700

■年齢別 自宅でのインターネットへの接続環境の有無 (F2×問27)

- ・ 年齢別にみると、60代までの全ての年齢で「はい」が半数以上を占めており、70代以降では「いいえ」の割合の方が高くなっている。特に20代後半から40代にかけては「はい」の割合が高く、「30～34歳」では9割を超えている。

表 年齢別 自宅でのインターネットへの接続環境の有無

問27 ご自宅では、インターネットに接続できる環境にありますか

		全体	はい	いいえ	無回答
全 体		1,700	1,233	423	44
		100.0	72.5	24.9	2.6
F 2 年齢	20～24歳	62	83.9	12.9	3.2
	25～29歳	115	89.6	9.6	0.9
	30～34歳	144	93.1	6.9	0.0
	35～39歳	187	88.2	11.8	0.0
	40～44歳	165	87.9	11.5	0.6
	45～49歳	127	88.2	11.0	0.8
	50～54歳	115	81.7	15.7	2.6
	55～59歳	174	74.7	24.7	0.6
	60～64歳	167	61.7	35.3	3.0
	65～69歳	118	53.4	44.9	1.7
	70～74歳	119	47.1	47.9	5.0
	75歳以上	180	36.7	55.0	8.3
	無回答	27	37.0	37.0	25.9

■居住地域別 自宅でのインターネットへの接続環境の有無 (F3×問27)

- 居住地域別にみると、全ての地域で「はい」が半数以上を占めており、最も高いのは「神大寺」で8割を超えている。次いで「神奈川幸ヶ谷」、「子安入江」の順で高くなっている。「はい」の割合が最も低いのは「六角橋」(56.2%)である。

■同居家族構成別 自宅でのインターネットへの接続環境の有無 (F4×問27)

- 同居家族構成別にみると、全ての家族構成で「はい」が半数以上を占めており、最も高いのは「祖父母と親と子(3世代)」で9割近くに達している。次いで「親と子(2世代)」、「その他」、「夫婦のみ」の順で高くなっており、最も低いのは「ひとり暮らし」である。

表 居住地域別、同居家族構成別 自宅でのインターネットへの接続環境の有無

問27 ご自宅では、インターネットに接続できる環境にありますか

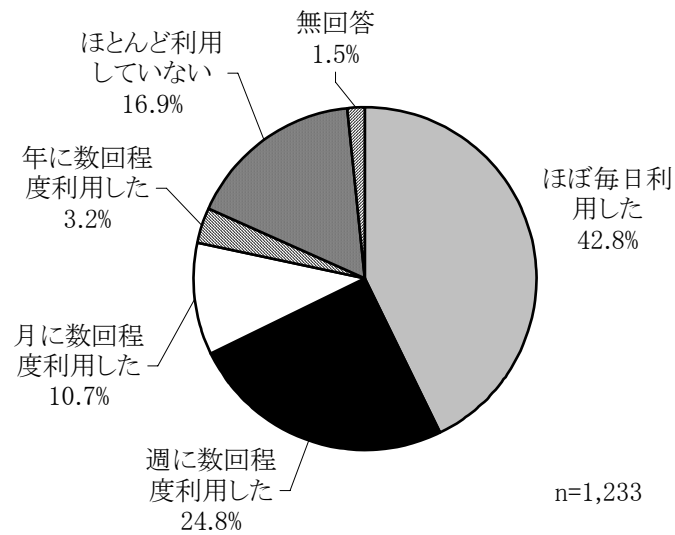
		全体	はい	いいえ	無回答
全 体		1,700	1,233	423	44
		100.0	72.5	24.9	2.6
F 3 居住地域	青木	168	76.8	20.2	3.0
	大口七島	106	70.8	25.5	3.8
	片倉三枚	120	76.7	21.7	1.7
	神奈川幸ヶ谷	169	79.9	17.8	2.4
	神ノ木西寺尾	130	66.9	32.3	0.8
	子安入江	122	77.9	20.5	1.6
	白幡浦島丘	121	76.0	20.7	3.3
	神西神北	135	74.1	22.2	3.7
	神大寺	88	83.0	17.0	0.0
	菅田	132	65.2	33.3	1.5
	羽沢	83	71.1	27.7	1.2
	松見	81	71.6	27.2	1.2
	三ツ沢	122	68.9	27.0	4.1
	六角橋	89	56.2	41.6	2.2
無回答	34	52.9	29.4	17.6	
F 4 同居家族 の構成	ひとり暮らし	209	57.4	38.3	4.3
	夫婦のみ	412	65.5	33.5	1.0
	親と子(2世代)	796	79.8	18.1	2.1
	祖父母と親と子(3世代)	122	89.3	9.0	1.6
	その他	103	68.9	27.2	3.9
無回答	58	48.3	37.9	13.8	

(2) 過去1年間の自宅でのインターネットの利用状況

問28 あなたは、この1年間にご自宅でインターネットをどのくらい利用しましたか。(○は1つ)

- ・ 「ほぼ毎日利用した」(42.8%)が最も多く、次いで「週に数回程度利用した」(24.8%)となっており、7割近くの方が、高い頻度で利用していることがわかる。次いで「ほとんど利用していない」(16.9%)であり、「月に数回程度利用した」(10.7%)、「年に数回程度利用した」(3.2%)と続いている。

図 過去1年間の自宅でのインターネットの利用状況



■男女別 インターネットの利用状況(F1×問28)

- 男女別にみると、男性では「ほぼ毎日利用した」が半数を超えており、女性を大きく上回っている。男性では7割以上が「ほぼ毎日」または「週に数回程度」の利用となっている。

■年齢別 インターネットの利用状況 (F2×問28)

- 年齢別にみると、若い年齢層ほど「ほぼ毎日利用した」の割合が高い傾向がみられ、20代では約7割となっている。30代では5割台、40代では4割台、50代では3割台が「ほぼ毎日利用した」としている。60代以降では2割以上が「ほぼ毎日利用した」と回答している一方、「ほとんど利用していない」の割合も高くなっており、75歳以上では57.6%が「ほとんど利用していない」としている。

表 男女別、年齢別 自宅でのインターネットの利用状況

問28 この1年間にご自宅でインターネットをどのくらい利用しましたか

		全体	ほぼ毎日 利用した	週に数回 程度利用 した	月に数回 程度利用 した	年に数回 程度利用 した	ほとんど 利用して いない	無回答
全 体		1,233 100.0	528 42.8	306 24.8	132 10.7	40 3.2	208 16.9	19 1.5
F 1 性別	男性	531	51.6	21.1	10.2	1.9	14.3	0.9
	女性	690	36.5	28.0	11.2	4.1	18.4	1.9
	無回答	12	16.7	8.3	8.3	16.7	41.7	8.3
F 2 年齢	20～24歳	52	69.2	19.2	3.8	0.0	7.7	0.0
	25～29歳	103	68.0	22.3	7.8	0.0	1.9	0.0
	30～34歳	134	51.5	29.1	13.4	2.2	3.7	0.0
	35～39歳	165	54.5	28.5	9.1	2.4	4.8	0.6
	40～44歳	145	49.0	34.5	9.7	1.4	4.1	1.4
	45～49歳	112	43.8	31.3	8.9	6.3	8.0	1.8
	50～54歳	94	31.9	33.0	9.6	2.1	21.3	2.1
	55～59歳	130	35.4	24.6	10.0	6.2	23.1	0.8
	60～64歳	103	27.2	12.6	20.4	2.9	35.0	1.9
	65～69歳	63	22.2	22.2	14.3	1.6	38.1	1.6
	70～74歳	56	26.8	8.9	14.3	7.1	37.5	5.4
	75歳以上	66	12.1	9.1	7.6	6.1	57.6	7.6
	無回答	10	20.0	10.0	0.0	20.0	50.0	0.0

■居住地域別 インターネットの利用状況

- ・ 居住地域別にみると、「神奈川幸ヶ谷」では「ほぼ毎日利用した」が半数を超えており、最も高くなっている。次いで「六角橋」、「大口七島」、「三ツ沢」、「神西神北」の順となっている。最も低いのは「神大寺」で34.2%である。
- ・ 「白幡浦島丘」、「菅田」、「羽沢」、「六角橋」では2割以上が「ほとんど利用していない」としている。

■同居家族構成別 インターネットの利用状況

- ・ 同居家族別にみると、「ほぼ毎日利用した」の割合が最も高いのは「ひとり暮らし」で6割となっている。「ひとり暮らし」では8割以上が「ほぼ毎日」または「週に数回程度」の利用となっており、利用頻度が高い。次いで利用頻度が高いのは「親と子（2世代）」と「夫婦のみ」となっており、「その他」では「ほとんど利用していない」の割合が高くなっている。

表 居住地域別、同居家族構成別 自宅でのインターネットの利用状況

問28 この1年間にご自宅インターネットをどのくらい利用しましたか

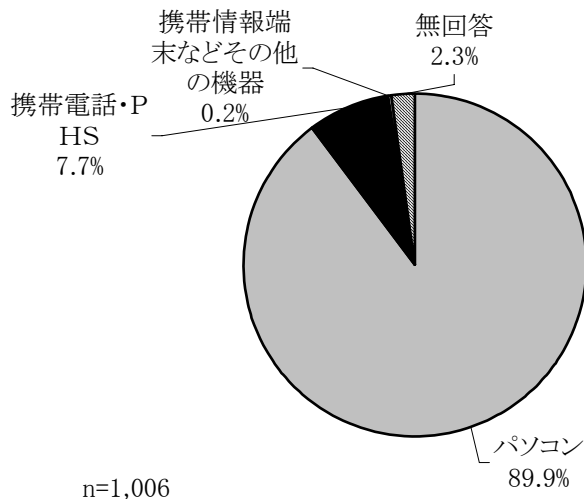
		全体	ほぼ毎日 利用した	週に数回 程度利用 した	月に数回 程度利用 した	年に数回 程度利用 した	ほとんど 利用して いない	無回答	
全 体		1,233	528	306	132	40	208	19	
		100.0	42.8	24.8	10.7	3.2	16.9	1.5	
F 3	青木	129	44.2	22.5	16.3	0.8	15.5	0.8	
居住地域	大口七島	75	45.3	26.7	12.0	2.7	10.7	2.7	
	片倉三枚	92	43.5	25.0	7.6	2.2	19.6	2.2	
	神奈川幸ヶ谷	135	50.4	25.2	5.2	4.4	13.3	1.5	
	神ノ木西寺尾	87	37.9	25.3	16.1	5.7	12.6	2.3	
	子安入江	95	41.1	29.5	8.4	2.1	15.8	3.2	
	白幡浦島丘	92	44.6	21.7	7.6	2.2	21.7	2.2	
	神西神北	100	45.0	23.0	14.0	3.0	14.0	1.0	
	神大寺	73	34.2	34.2	12.3	2.7	16.4	0.0	
	菅田	86	37.2	23.3	14.0	3.5	22.1	0.0	
	羽沢	59	39.0	25.4	10.2	3.4	20.3	1.7	
	松見	58	43.1	36.2	1.7	5.2	13.8	0.0	
	三ツ沢	84	45.2	17.9	14.3	3.6	16.7	2.4	
	六角橋	50	48.0	16.0	10.0	4.0	20.0	2.0	
	無回答	18	22.2	16.7	0.0	11.1	50.0	0.0	
	F 4	ひとり暮らし	120	60.0	21.7	5.8	0.8	11.7	0.0
	同居家族 の構成	夫婦のみ	270	42.6	24.8	14.4	1.9	15.2	1.1
親と子（2世代）		635	40.6	28.0	9.1	3.6	16.7	1.9	
祖父母と親と子（3世代）		109	41.3	19.3	13.8	6.4	17.4	1.8	
その他		71	45.1	11.3	15.5	1.4	26.8	0.0	
無回答		28	21.4	21.4	7.1	10.7	32.1	7.1	

(3) インターネットを利用する際に使用する機器

問 29 あなたは、インターネットを利用する際、主にどのような機器を使用していますか。(○は1つ)

- ・ 「パソコン」(89.9%) が最も多く、大半を占めている。「携帯電話・PHS」(7.7%)、「携帯情報端末などその他の機器」(0.2%) は少数である。

図 インターネットを利用する際に使用する機器

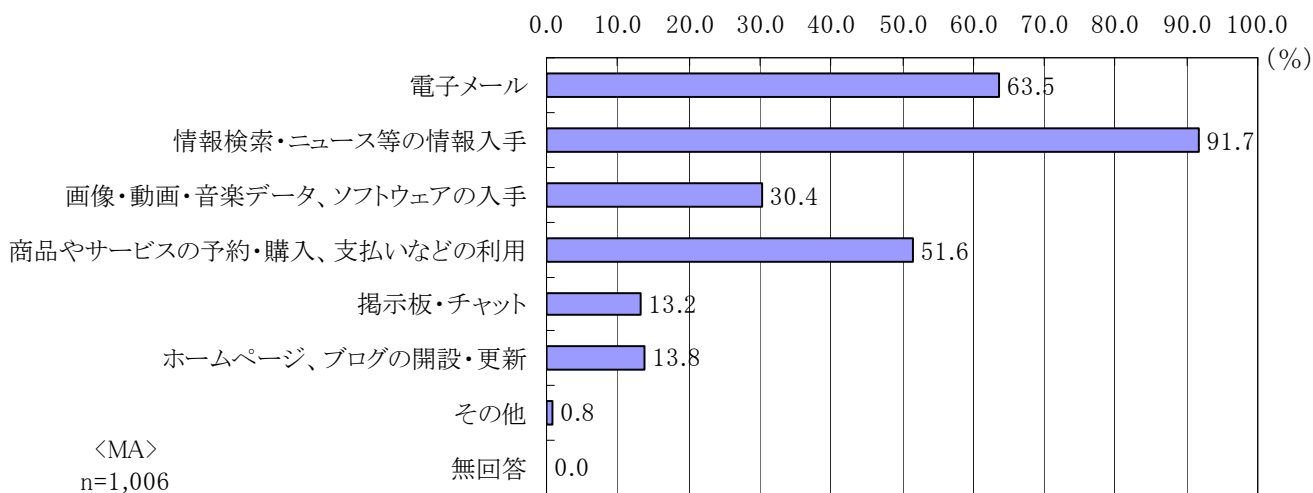


(4) インターネットを利用する目的

問 30 どのような時に、インターネットを利用しますか。(○はいくつでも)

- ・ 「情報検索・ニュース等の情報入手」(91.7%) が最も多く、9割以上が挙げている。次いで「電子メール」(63.5%)、「商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用」(51.6%) であり、以上の3項目は過半数が挙げている。次いで「画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手」(30.4%)、「ホームページ、ブログの開設・更新」(13.8%)、「掲示板・チャット」(13.2%)、「その他」(0.8%) となっている。

図 インターネットを利用する目的



■男女別 インターネットを利用する目的(F1×問30)

- ・ 男女別にみると、男性の方が「電子メール」と「画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手」の割合がやや高く、女性では「ホームページ、ブログの開設・更新」の割合がやや高くなっている。

■年齢別 インターネットを利用する目的(F1×問30)

- ・ 年齢別にみると、全ての年齢で「情報検索・ニュース等の情報入手」が最も多く、特に「30～34歳」では96.9%となっている。「電子メール」についても「75歳以上」を除く全ての年齢で半数以上が挙げており、「30～34歳」と「40～44歳」では7割を超えている。
- ・ 「画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手」、「掲示板・チャット」、「ホームページ、ブログの開設・更新」については20代の利用が高く、年齢が上がるにつれて割合が小さくなっている。「商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用」については、30代で最も高く、6割を超えている。

表 男女別、年齢別 インターネットを利用する目的

問30 どのような時に、インターネットを利用しますか（複数回答）

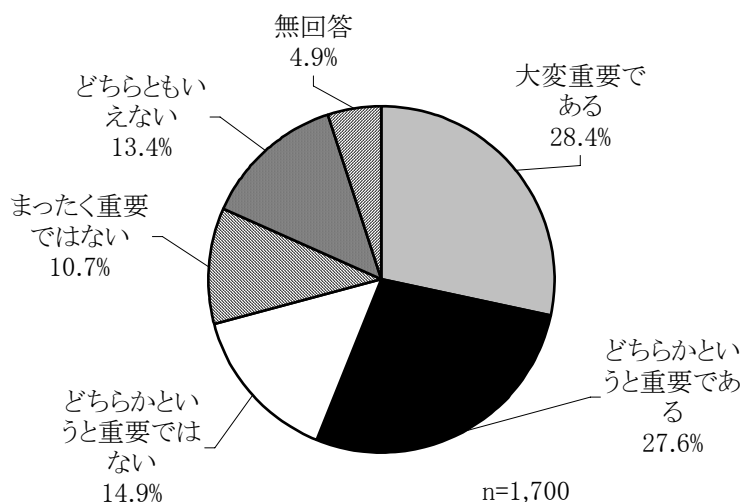
		全体	電子メール	情報検索・ニュース等の情報入手	画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手	商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用	掲示板・チャット	ホームページ、ブログの開設・更新	その他	無回答
全体		1,006	639	922	306	519	133	139	8	0
		—	63.5	91.7	30.4	51.6	13.2	13.8	0.8	0.0
F 1 性別	男性	450	68.2	92.0	34.7	52.4	14.7	11.8	0.9	0.0
	女性	550	60.0	91.5	26.9	50.7	12.2	15.5	0.7	0.0
	無回答	6	33.3	83.3	33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0
F 2 年齢	20～24歳	48	64.6	95.8	52.1	41.7	33.3	31.3	0.0	0.0
	25～29歳	101	63.4	93.1	47.5	58.4	25.7	19.8	0.0	0.0
	30～34歳	129	71.3	96.9	36.4	60.5	18.6	19.4	1.6	0.0
	35～39歳	156	65.4	94.9	30.1	64.1	12.8	15.4	0.0	0.0
	40～44歳	137	72.3	92.0	33.6	55.5	13.9	10.2	0.7	0.0
	45～49歳	101	67.3	89.1	31.7	54.5	8.9	12.9	1.0	0.0
	50～54歳	72	55.6	88.9	26.4	54.2	4.2	12.5	2.8	0.0
	55～59歳	99	54.5	89.9	19.2	44.4	9.1	11.1	1.0	0.0
	60～64歳	65	50.8	87.7	10.8	38.5	6.2	3.1	0.0	0.0
	65～69歳	38	65.8	92.1	15.8	15.8	5.3	7.9	2.6	0.0
	70～74歳	32	62.5	68.8	18.8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75歳以上	23	39.1	95.7	8.7	21.7	4.3	8.7	0.0	0.0	
無回答	5	40.0	80.0	40.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	

(5) 自分の生活におけるインターネットの重要度

問31 あなたの生活にとって、インターネットは重要ですか。(○は1つ)

- インターネットの重要性について、回答者全員に聞いたところ、「大変重要である」(28.4%)、「どちらかというと重要である」(27.6%)であり、あわせて半数以上が自分の生活にとってインターネットが重要であると回答している。次いで「どちらかというと重要ではない」(14.9%)、「どちらともいえない」(13.4%)、「まったく重要ではない」(10.7%)の順である。

図 自分の生活におけるインターネットの重要度



■インターネットの利用頻度別 インターネットの重要度(問28×問31)

- インターネットの利用頻度別にインターネットの重要性についてみると、「ほぼ毎日利用した」では66.9%で最も高い。「大変重要である」と「どちらかというと重要である」をあわせた割合では、「ほぼ毎日利用した」では97.2%にのぼっている。利用頻度が下がるほど重要性の割合も低くなる傾向がみられる。

表 インターネットの利用頻度別 自分の生活におけるインターネットの重要度

問31 あなたの生活にとって、インターネットは重要ですか

		全体	大変重要である	どちらかというと重要である	どちらかというと重要ではない	まったく重要ではない	どちらともいえない	無回答	大変重要である+どちらかというと重要である
全体		1,233	470	418	146	56	116	27	72.0
		100.0	38.1	33.9	11.8	4.5	9.4	2.2	
問28 インターネットの 利用頻度	ほぼ毎日利用した	528	66.9	30.3	0.9	0.4	0.9	0.6	97.2
	週に数回程度利用した	306	24.8	55.2	11.8	0.7	5.6	2.0	80.1
	月に数回程度利用した	132	20.5	43.9	26.5	0.8	6.8	1.5	64.4
	年に数回程度利用した	40	2.5	22.5	40.0	7.5	22.5	5.0	25.0
	ほとんど利用していない	208	5.8	9.1	24.5	21.2	34.6	4.8	14.9
	無回答	19	5.3	15.8	15.8	21.1	21.1	21.1	21.1

■男女別 インターネットの重要度(F1×問31)

- 男女別にインターネットの重要性についてみると、「大変重要である」は男性では35.3%で女性とは10ポイント以上の差がある。「大変重要である」と「どちらかというと重要である」をあわせた割合でも、男性は6割を超えており、女性よりも高い。

■年齢別 インターネットの重要度(F2×問31)

- 年齢別にインターネットの重要性についてみると、「大変重要である」の割合は「25～29歳」で最も高く65.2%となっており、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。「大変重要である」と「どちらかというと重要である」をあわせた割合では、30代前半までは8割を超えており、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。
- 年齢が上がるほど「重要ではない」、「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

表 男女別、年齢別 自分の生活におけるインターネットの重要度

問31 あなたの生活にとって、インターネットは重要ですか

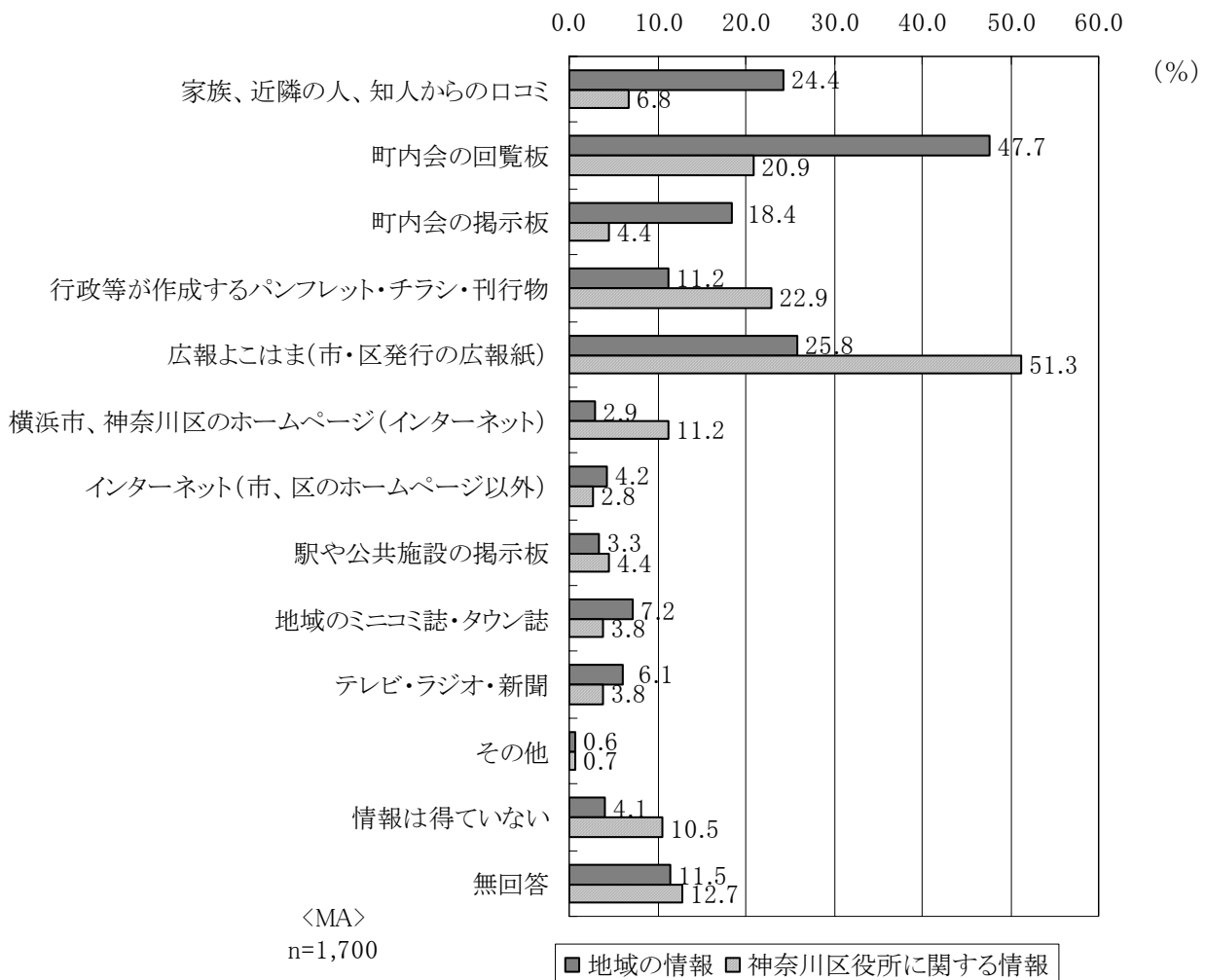
		全体	大変重要である	どちらかという と重要である	どちらか という と重要では ない	まったく 重要では ない	どちらと もいえない	無回答	大変重要で ある+どち らかという と重要であ る
全 体		1,700	483	469	254	182	228	84	
		100.0	28.4	27.6	14.9	10.7	13.4	4.9	56.0
F 1 性別	男性	713	35.3	26.6	13.9	9.8	9.8	4.5	62.0
	女性	951	24.0	29.1	15.8	11.0	15.6	4.5	53.1
	無回答	36	8.3	5.6	13.9	19.4	27.8	25.0	
F 2 年齢	20～24歳	62	58.1	24.2	4.8	3.2	6.5	3.2	82.3
	25～29歳	115	65.2	24.3	5.2	1.7	3.5	0.0	89.6
	30～34歳	144	38.9	41.7	11.1	3.5	4.2	0.7	80.6
	35～39歳	187	43.9	33.7	15.5	1.6	4.8	0.5	77.5
	40～44歳	165	40.0	38.2	14.5	2.4	4.2	0.6	78.2
	45～49歳	127	37.0	32.3	11.0	4.7	13.4	1.6	69.3
	50～54歳	115	26.1	28.7	18.3	10.4	12.2	4.3	54.8
	55～59歳	174	20.7	33.9	16.1	11.5	15.5	2.3	54.6
	60～64歳	167	13.8	22.8	21.6	13.8	22.8	5.4	36.5
	65～69歳	118	6.8	22.9	17.8	22.0	21.2	9.3	29.7
	70～74歳	119	12.6	15.1	21.8	18.5	21.0	10.9	27.7
	75歳以上	180	3.3	12.2	15.0	29.4	25.6	14.4	15.6
	無回答	27	11.1	7.4	11.1	14.8	22.2	33.3	18.5

3) 地域の情報、神奈川区役所に関する情報の入手先

問 32 地域の情報と神奈川区役所に関する情報を、主にどこから得ていますか。下記の1～12の中から主なものを選んで記入してください。(答えはそれぞれ2つまで)

- ・ 地域の情報については、「町内会の回覧板」(47.7%)が最も多く、次いで「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」(25.8%)であり、「家族、近隣の人、知人からの口コミ」(24.4%)、「町内会の掲示板」(18.4%)の順となっている。割合としては1割以下であるが、「地域のミニコミ誌・タウン誌」(7.2%)、「テレビ・ラジオ・新聞」(6.1%)から地域の情報を得ている人もいる。
- ・ 神奈川区役所に関する情報については、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」(51.3%)が最も多く、次いで「行政等が作成するパンフレット・チラシ・刊行物」(22.9%)、「町内会の回覧板」(20.9%)、「横浜市、神奈川区のホームページ(インターネット)」(11.2%)の順である。
- ・ 地域の情報については主に「町内会の回覧板」で、神奈川区役所に関する情報については、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」で得ている人が多いことがわかる。また、「家族、近隣の人、知人からの口コミ」や「町内会の掲示板」は地域の情報ではウエイトは高いが、神奈川区役所に関する情報ではウエイトは低く、「行政等が作成するパンフレット・チラシ・刊行物」、「横浜市、神奈川区のホームページ(インターネット)」は神奈川区役所に関する情報ではウエイトは高いが、地域の情報ではウエイトが低いことがわかる。

図 地域の情報、神奈川区役所に関する情報の入手先



■年齢別 地域の情報の入手先(F2×問32①)

- ・ 年齢別に地域の情報の入手先についてみたところ、「家族、近隣の人、知人からの口コミ」によるものは20代で割合が高く、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。「町内会の回覧板」については40代以降で高く、特に「55～59歳」では7割となっている。「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」については、40代後半から60代前半の利用が中心となっている。
- ・ 20代では「情報は得ていない」と「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が他の年齢に比べてやや高くなっている。

表 年齢別 地域の情報の入手先

問32① 地域の情報の入手先(2つまで回答)

		全体	家族、 近隣の 人、知 人から の口コ ミ	町内会 の回覧 板	町内会 の掲示 板	行政等 が作成 するパ ンフ レツ ト・チ ラシ・ 刊行物	広報よ こはま (市・ 区発行 の広報 紙)	横浜 市、神 奈川区 のホー ムペー ジ(イ ンター ネット 以外)	イン ター ネット (市、 区 の ホー ムペ ー ジ 以 外)	駅や公 共施設 の掲示 板	地域の ミニコ ミ誌・ タウン 誌	テレ ビ・ラ ジオ・ 新聞	その他	情報は 得てい ない	無回答
全 体		1,700	414	811	313	191	438	50	72	56	123	103	10	70	196
		—	24.4	47.7	18.4	11.2	25.8	2.9	4.2	3.3	7.2	6.1	0.6	4.1	11.5
F 2 年齢	20～24歳	62	38.7	27.4	12.9	6.5	11.3	3.2	8.1	4.8	8.1	11.3	1.6	12.9	4.8
	25～29歳	115	36.5	24.3	8.7	8.7	12.2	8.7	13.0	8.7	9.6	12.2	0.9	14.8	0.9
	30～34歳	144	25.0	34.7	19.4	9.7	24.3	7.6	6.9	5.6	13.2	4.9	0.7	5.6	2.8
	35～39歳	187	32.6	31.6	11.2	11.8	26.2	6.4	10.7	6.4	10.2	5.9	0.5	8.0	3.7
	40～44歳	165	34.5	49.7	19.4	17.6	29.7	2.4	6.7	3.0	9.1	2.4	0.0	3.6	1.8
	45～49歳	127	27.6	48.0	24.4	12.6	35.4	3.1	3.1	2.4	8.7	7.9	0.0	3.1	1.6
	50～54歳	115	22.6	60.0	26.1	8.7	30.4	1.7	3.5	1.7	11.3	6.1	0.0	1.7	4.3
	55～59歳	174	25.9	71.3	19.0	11.5	33.3	0.6	0.6	2.3	4.0	5.2	1.1	1.1	5.7
	60～64歳	167	17.4	63.5	25.1	13.2	30.5	1.8	0.6	1.8	6.6	6.0	1.2	1.8	9.0
	65～69歳	118	18.6	59.3	26.3	16.1	23.7	0.0	0.0	2.5	5.9	5.9	0.0	0.0	13.6
	70～74歳	119	12.6	52.1	12.6	10.1	29.4	0.8	0.0	1.7	2.5	4.2	0.8	2.5	28.6
75歳以上	180	10.6	40.6	15.6	6.7	16.1	0.0	0.6	0.6	0.6	6.1	0.6	0.6	46.1	
無回答	27	11.1	37.0	14.8	3.7	11.1	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	48.1	

■居住地域別 地域の情報の入手先(F3×問32①)

- 居住地域別に地域の情報の入手先についてみたところ、「家族、近隣の人、知人からの口コミ」によるものは「大口七島」で最も高く、「子安入江」で最も低くなっている。「町内会の回覧板」については地域により差が大きく、「羽沢」が66.3%で最も高いが、「神奈川幸ヶ谷」では17.2%で特に低くなっている。また「町内会の掲示板」については、「白幡浦島丘」で28.9%と最も高く、「菅田」では1割に満たない。また「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」については、「三ツ沢」が特に高くなっている。

表 居住地域別 地域の情報の入手先

問32① 地域の情報の入手先(2つまで回答)

		全体	家族、 近隣の 人、知 人から の口コ ミ	町内会 の回覧 板	町内会 の掲示 板	行政等 が作成 するパ ンフ レッ ト・チ ラシ・ 刊行物	広報よ こはま (市・ 区発行 の広報 紙)	横浜 市、神 奈川区 のホー ムペー ジ(イ ンター ネット)	イン ター ネット (市、 区 の ホー ム ペー ジ 以外)	駅や公 共施設 の掲示 板	地域の ミニコ ミ誌・ タウン 誌	テレ ビ・ラ ジオ・ 新聞	その他	情報は 得てい ない	無回答
全 体		1,700 —	414 24.4	811 47.7	313 18.4	191 11.2	438 25.8	50 2.9	72 4.2	56 3.3	123 7.2	103 6.1	10 0.6	70 4.1	196 11.5
F 3 居住 地域	青木	168	26.2	39.9	15.5	14.9	24.4	3.6	3.6	3.6	6.5	4.8	0.6	4.2	14.9
	大口七島	106	30.2	45.3	20.8	7.5	24.5	4.7	4.7	3.8	10.4	4.7	1.9	5.7	7.5
	片倉三枚	120	29.2	63.3	15.0	8.3	23.3	1.7	4.2	2.5	5.8	5.8	0.0	5.0	6.7
	神奈川幸ヶ谷	169	28.4	17.2	17.8	18.9	31.4	6.5	6.5	4.1	8.3	7.7	0.6	5.9	10.1
	神ノ木西寺尾	130	23.1	60.0	22.3	6.9	28.5	3.1	4.6	2.3	6.9	6.9	0.8	3.8	5.4
	子安入江	122	17.2	37.7	26.2	16.4	23.0	4.9	4.9	3.3	11.5	8.2	0.0	4.9	12.3
	白幡浦島丘	121	24.8	56.2	28.9	10.7	21.5	2.5	0.8	2.5	7.4	5.8	0.0	3.3	9.1
	神西神北	135	22.2	40.7	20.7	11.9	26.7	1.5	4.4	5.2	8.9	8.9	0.0	3.7	11.1
	神大寺	88	20.5	51.1	12.5	15.9	29.5	2.3	4.5	5.7	10.2	5.7	0.0	2.3	9.1
	菅田	132	25.0	59.8	9.8	7.6	21.2	2.3	5.3	3.8	4.5	4.5	2.3	2.3	13.6
	羽沢	83	27.7	66.3	10.8	6.0	21.7	1.2	4.8	3.6	3.6	8.4	1.2	2.4	12.0
	松見	81	29.6	61.7	22.2	8.6	25.9	0.0	1.2	2.5	4.9	3.7	0.0	2.5	8.6
	三ツ沢	122	18.0	46.7	18.9	11.5	35.2	2.5	4.9	2.5	4.9	5.7	0.8	4.1	13.9
	六角橋	89	21.3	49.4	15.7	6.7	23.6	1.1	4.5	1.1	7.9	3.4	0.0	5.6	21.3
無回答	34	14.7	41.2	14.7	5.9	17.6	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	5.9	32.4	

■自治会・町内会への加入状況別 神奈川区役所に関する情報の入手先(問16×問32②)

- 自治会・町内会への加入状況別に神奈川区役所に関する情報の入手先についてみたところ、加入していない人では加入している人に比べて「町内会の回覧板」や「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」の割合が低くなっている。
- 「加入していないが、入りたい」人では、「横浜市、神奈川区のホームページ（インターネット）」や「駅や公共施設の掲示板」の割合が高く、あらゆるツールから情報を得ていることがうかがえる。「加入していないし、今後も加入するつもりはない」では4分の1が「情報を得ていない」としている。

表 自治会・町内会への加入状況別 神奈川区役所に関する情報の入手先

問32② 神奈川区役所に関する情報の入手先（2つまで）

		全体	家族、近隣の人、知人からの口コミ	町内会の回覧板	町内会の掲示板	行政等が作成するパンフレット・チラシ・刊行物	広報よこはま（市・区発行の広報紙）	横浜市、神奈川区のホームページ（インターネット）
全体		1,700	115	355	75	389	872	190
		—	6.8	20.9	4.4	22.9	51.3	11.2
問16 自治会・町内会への加入	加入している	1,274	5.7	25.2	4.7	24.6	57.3	9.4
	加入しているが、やめたい	25	16.0	20.0	4.0	20.0	48.0	16.0
	加入していないが、入りたい	88	8.0	9.1	2.3	20.5	35.2	20.5
	加入していないし、今後も加入するつもりはない	271	10.3	5.9	3.3	18.5	31.7	17.0
	無回答	42	7.1	11.9	7.1	7.1	31.0	4.8

		インターネット（市、区のホームページ以外）	駅や公共施設の掲示板	地域のミニコミ誌・タウン誌	テレビ・ラジオ・新聞	その他	情報は得ていない	無回答
全体		47	75	64	64	12	179	216
		2.8	4.4	3.8	3.8	0.7	10.5	12.7
問16 自治会・町内会への加入	加入している	1.8	3.7	3.2	3.1	0.4	7.4	13.2
	加入しているが、やめたい	0.0	0.0	0.0	8.0	4.0	16.0	8.0
	加入していないが、入りたい	2.3	13.6	5.7	8.0	1.1	13.6	9.1
	加入していないし、今後も加入するつもりはない	7.7	5.5	5.9	4.1	1.8	25.1	7.4
	無回答	2.4	2.4	4.8	9.5	0.0	2.4	42.9

■居住地域別 神奈川県役所に関する情報の入手先(問16×問32②)

- 居住地域別に神奈川県役所に関する情報の入手先についてみたところ、「町内会の回覧板」については「羽沢」が最も高いが、「神奈川幸ヶ谷」で最も低くなっている。また「行政等が作成するパンフレット・チラシ・刊行物」については、「青木」で最も高く、「六角橋」で最も低い。また「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」については、「松見」で特に高く6割を超えている。また「横浜市、神奈川区のホームページ(インターネット)」については「子安入江」で2割近くとなっており、他の地域に比べて高くなっている。

表 居住地域別 神奈川県役所に関する情報の入手先

問32② 神奈川県役所に関する情報の入手先(2つまで回答)

	全体	家族、近隣の人、知人からの口コミ	町内会の回覧板	町内会の掲示	行政等が作成するパンフレット・チラシ・刊行物	広報よこはま(市・区発行の広報紙)	横浜市、神奈川区のホームページ(インターネット)	インターネット(市・区のホームページ以外)	駅や公共施設の掲示	地域のミニコミ誌・タウン誌	テレビ・ラジオ・新聞	その他	情報は得ていない	無回答	
全体	1,700	115	355	75	389	872	190	47	75	64	64	12	179	216	
	—	6.8	20.9	4.4	22.9	51.3	11.2	2.8	4.4	3.8	3.8	0.7	10.5	12.7	
F3															
居住地域	青木	168	3.0	22.0	3.6	26.2	54.2	10.1	2.4	3.0	1.8	1.8	0.6	8.9	16.7
	大口七島	106	11.3	21.7	4.7	20.8	47.2	11.3	3.8	3.8	4.7	2.8	1.9	15.1	9.4
	片倉三枚	120	6.7	24.2	2.5	25.8	56.7	11.7	0.0	5.0	6.7	5.8	0.0	10.0	7.5
	神奈川幸ヶ谷	169	7.7	10.1	5.3	25.4	49.7	13.0	4.1	4.1	3.0	3.6	1.2	13.0	10.7
	神ノ木西寺尾	130	10.0	24.6	7.7	23.1	51.5	11.5	3.1	1.5	3.1	4.6	1.5	9.2	5.4
	子安入江	122	6.6	12.3	5.7	23.8	47.5	19.7	0.8	4.1	3.3	2.5	0.0	13.9	13.9
	白幡浦島丘	121	7.4	28.1	3.3	24.0	57.0	8.3	0.0	5.8	7.4	3.3	0.0	9.1	10.7
	神西神北	135	8.9	21.5	6.7	18.5	43.7	12.6	4.4	5.9	3.0	5.9	0.7	11.9	12.6
	神大寺	88	6.8	20.5	1.1	27.3	51.1	12.5	2.3	6.8	2.3	4.5	1.1	8.0	10.2
	菅田	132	8.3	27.3	0.0	18.9	47.0	8.3	3.8	5.3	4.5	3.8	0.8	9.1	14.4
	羽沢	83	7.2	30.1	7.2	22.9	44.6	8.4	6.0	3.6	4.8	3.6	1.2	8.4	13.3
	松見	81	2.5	12.3	3.7	24.7	63.0	8.6	2.5	4.9	6.2	4.9	0.0	9.9	9.9
	三ツ沢	122	3.3	24.6	4.1	23.0	54.9	9.0	3.3	4.9	4.1	1.6	0.8	11.5	15.6
	六角橋	89	4.5	14.6	7.9	16.9	55.1	12.4	3.4	3.4	0.0	4.5	0.0	9.0	21.3
	無回答	34	5.9	20.6	0.0	14.7	44.1	2.9	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	35.3

5. 横浜市や神奈川区の取組について

1)「わが町かながわ 50選」について

問33 神奈川区では、区民の皆様のご意見をもとに、神奈川区らしい風景など、身近な場所・お気に入りの場所50か所を、「わが町 かながわ 50選」として選定しています。「わが町 かながわ 50選」をご存じですか。(○は1つ)

- ・ 『「わが町 かながわ50選」散歩道ガイド』を持っている」は5.8%、『「わが町 かながわ50選」散歩道ガイド』を持っていないが知っている」は24.9%であり、合わせて3割以上の人が何らかの形で認知していることがわかる。また「わが町 かながわ50選」は知らないが、とても興味がある」と回答した人も49.4%となっており、約半数が関心を示している。「わが町 かながわ50選」は知らないし、興味もない」は15.6%にとどまっている。
- ・ 平成18年度調査と比較すると、大きな変化はみられないが、『「わが町 かながわ50選」散歩道ガイド』を持っていないが知っている」が3.3ポイント下がっており、「わが町 かながわ50選」は知らないが、とても興味がある」が2.5ポイント上がっている。

図 「わが町かながわ 50選」の認知度

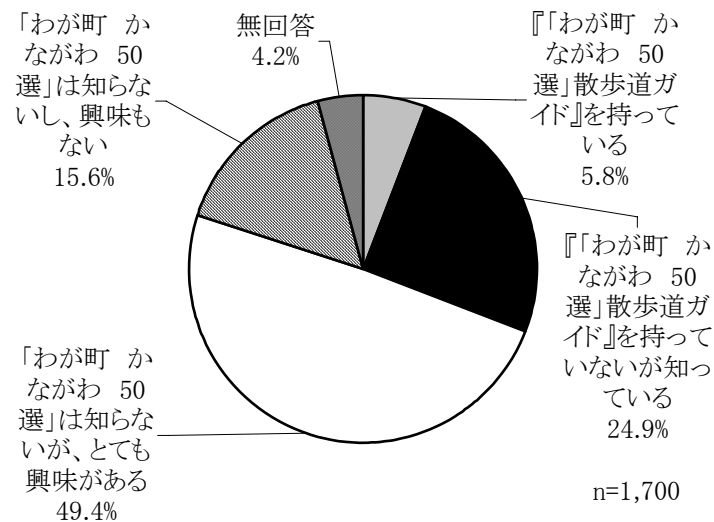
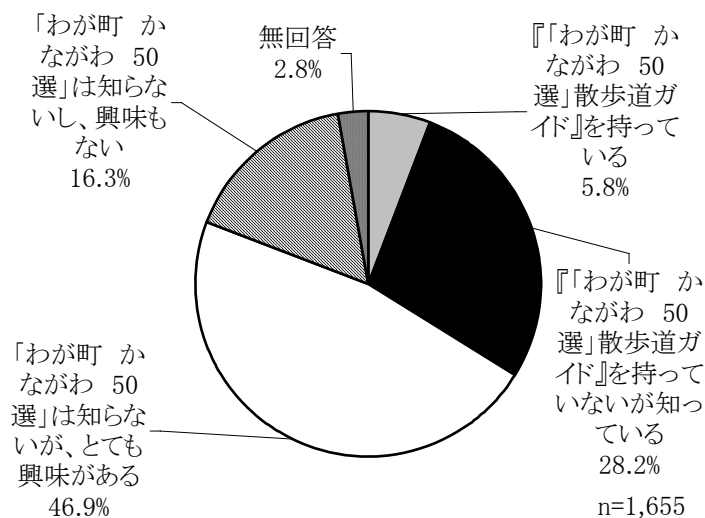


図 「わが町かながわ 50選」の認知度（平成18年度調査）



■男女別「わが町かながわ 50選」の認知度(F1×問33)

- 男女別に認知度をみると、女性の方が『「わが町 かながわ 50選」散歩道ガイド』を持っていないが知っている」がやや高く、男性の方が「「わが町 かながわ 50選」は知らないが、とても興味がある」がやや高い。

■年齢別「わが町かながわ 50選」の認知度 (F2×問33)

- 年齢別に認知度をみると、『「わが町 かながわ 50選」散歩道ガイド』を持っている」は「60～64歳」で1割となっており、他の年齢と比べて高くなっている。「わが町 かながわ 50選」は知らないが、とても興味がある」についても60代で高くなっている。「わが町 かながわ 50選」は知らないし、興味もない」は若年層で高く、特に20代では3割を超えている。

表 男女別、年齢別 「わが町かながわ 50選」の認知度

問33 「わが町 かながわ 50選」をご存じですか

		全体	『「わが町 かながわ 50 選」散歩道ガ イド』を持っ ている	『「わが町 かながわ 50 選」散歩道ガ イド』を持っ ていないが 知っている	「わが町 か ながわ 50 選」は知らな いが、とても 興味がある	「わが町 か ながわ 50 選」は知らな いし、興味も ない	無回答
全 体		1,700	99	423	840	266	72
		100.0	5.8	24.9	49.4	15.6	4.2
F 1 性別	男性	713	5.6	21.9	53.0	17.5	2.0
	女性	951	6.2	27.9	48.1	14.5	3.4
	無回答	36	0.0	5.6	13.9	8.3	72.2
F 2 年齢	20～24歳	62	1.6	14.5	43.5	38.7	1.6
	25～29歳	115	0.0	13.9	52.2	33.9	0.0
	30～34歳	144	2.8	22.2	48.6	26.4	0.0
	35～39歳	187	2.7	27.8	46.5	22.5	0.5
	40～44歳	165	3.6	37.6	43.0	15.8	0.0
	45～49歳	127	7.9	26.0	53.5	11.8	0.8
	50～54歳	115	7.0	28.7	45.2	15.7	3.5
	55～59歳	174	7.5	27.6	52.9	8.0	4.0
	60～64歳	167	10.8	24.0	58.1	4.8	2.4
	65～69歳	118	7.6	23.7	58.5	8.5	1.7
	70～74歳	119	6.7	30.3	51.3	5.9	5.9
	75歳以上	180	9.4	18.9	47.8	13.3	10.6
	無回答	27	0.0	0.0	0.0	3.7	96.3

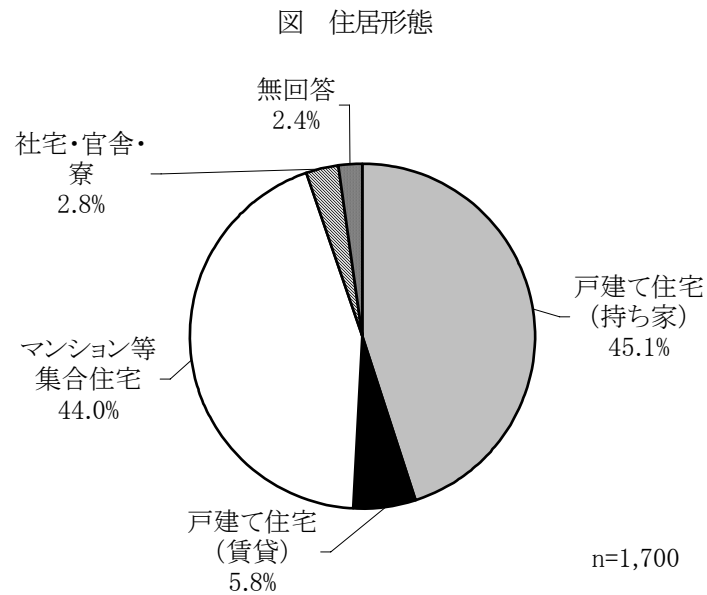
2)「木造耐震診断制度」について

(1)住宅の形態

問34 横浜市の「木造耐震診断制度(※)」についておたずねします。はじめに、あなたの現在の住居の形態をお答えください。(〇は1つ)

(※) 昭和56年5月31日以前に建築確認を得て着工した木造個人住宅について、横浜市が無料で耐震診断を行う制度

- ・ 「戸建て住宅(持ち家)」(45.1%)と「マンション等集合住宅」(44.0%)が拮抗している。「戸建て住宅(賃貸)」は5.8%、「社宅・官舎・寮」は2.8%である。



■居住地域別 住居形態 (F3×問34)

- 居住地域別に住居形態をみると、「戸建て住宅 (持ち家)」の割合が高いのは「六角橋」、「羽沢」、「白幡浦島丘」でいずれも6割を超えている。「神奈川幸ヶ谷」では7割以上が「マンション等集合住宅」である。

■居住年数別 住居形態 (F10×問34)

- 居住年数別に住居形態をみると、居住年数が高いほど「戸建て住宅 (持ち家)」の割合が高く、居住年数が短いほど「マンション等集合住宅」の割合が高い。「居住年数20年以上」の7割は「戸建て住宅 (持ち家)」となっている。

表 居住地域別、居住年数別 住居形態

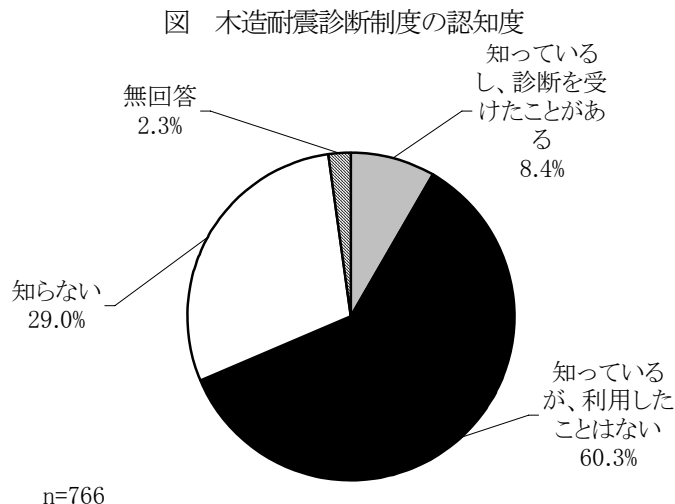
問34 住居形態

		全体	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (賃貸)	マンション等集合住宅	社宅・官舎・寮	無回答
全 体		1,700	766	98	748	48	40
		100.0	45.1	5.8	44.0	2.8	2.4
F 3 居住地域	青木	168	47.0	4.2	42.9	4.8	1.2
	大口七島	106	47.2	10.4	37.7	2.8	1.9
	片倉三枚	120	45.8	2.5	48.3	1.7	1.7
	神奈川幸ヶ谷	169	18.3	4.1	74.0	3.0	0.6
	神ノ木西寺尾	130	41.5	6.2	47.7	3.8	0.8
	子安入江	122	37.7	5.7	55.7	0.8	0.0
	白幡浦島丘	121	62.0	8.3	26.4	3.3	0.0
	神西神北	135	47.4	10.4	38.5	2.2	1.5
	神大寺	88	35.2	1.1	58.0	3.4	2.3
	菅田	132	42.4	5.3	50.8	0.8	0.8
	羽沢	83	62.7	2.4	32.5	1.2	1.2
	松見	81	56.8	3.7	34.6	3.7	1.2
	三ツ沢	122	54.1	7.4	33.6	4.1	0.8
六角橋	89	64.0	10.1	21.3	4.5	0.0	
	無回答	34	11.8	0.0	17.6	0.0	70.6
F 10 居住年数	3年未満	292	20.9	8.2	63.0	6.8	1.0
	3～5年未満	170	19.4	8.2	67.1	4.7	0.6
	5年～10年未満	296	33.8	5.7	56.8	2.7	1.0
	10～20年未満	319	45.1	4.7	45.8	1.9	2.5
	20年以上	597	70.4	4.7	21.1	0.8	3.0
		無回答	26	30.8	0.0	38.5	3.8

(2)「木造耐震診断制度」の認知度

問35 あなたは「木造耐震診断制度」をご存知ですか。(○は1つ)

- 「戸建て住宅（持ち家）」に住んでいる人（766人）に制度の認知度をきいたところ、「知っているが、利用したことはない」（60.3%）が最も多く、次いで「知らない」（29.0%）、「知っているし、診断を受けたことがある」（8.4%）となっている。



■居住地域別 木造耐震診断制度の認知度（F3×問35）

- 居住地域別に制度の認知度をきいたところ、回答者数が少ないので比較が難しいが、全ての地域で「知っているが、利用したことはない」が最も多くなっている。特に「松見」では7割を超えて最も割合が高い。「知っているし、診断を受けたことがある」では「神ノ木西寺尾」（14.8%）で他の地域に比べて高くなっている。また「知らない」については、「神大寺」で最も高く4割を超えている。

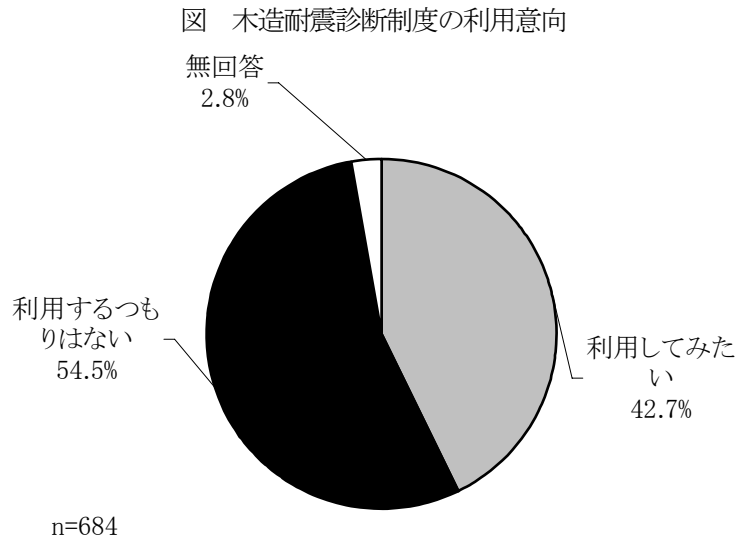
表 居住地域別 木造耐震診断制度の認知度

		問35 「木造耐震診断制度」をご存知ですか				
		全体	知っているし、診断を受けたことがある	知っているが、利用したことはない	知らない	無回答
全 体		766	64	462	222	18
		100.0	8.4	60.3	29.0	2.3
F 3 居住地域	青木	79	10.1	58.2	30.4	1.3
	大口七島	50	2.0	68.0	24.0	6.0
	片倉三枚	55	9.1	70.9	18.2	1.8
	神奈川幸ヶ谷	31	9.7	61.3	29.0	0.0
	神ノ木西寺尾	54	14.8	50.0	35.2	0.0
	子安入江	46	10.9	50.0	32.6	6.5
	白幡浦島丘	75	10.7	61.3	28.0	0.0
	神西神北	64	9.4	56.3	29.7	4.7
	神大寺	31	6.5	48.4	45.2	0.0
	菅田	56	5.4	57.1	37.5	0.0
	羽沢	52	9.6	55.8	32.7	1.9
	松見	46	8.7	73.9	17.4	0.0
	三ツ沢	66	4.5	62.1	30.3	3.0
	六角橋	57	5.3	64.9	22.8	7.0
	無回答	4	0.0	100.0	0.0	0.0

(3)「木造耐震診断制度」の利用意向

問36 あなたはこの制度を利用してみたいですか。(○は1つ)

- ・ 「利用するつもりはない」(54.5%)が「利用してみたい」(42.7%)を上回っている。



■居住地域別 木造耐震診断制度の利用意向 (F3×問36)

- ・ 居住地域別に制度の利用意向をきいたところ、回答者数が少ないので比較が難しいが、「利用してみたい」の割合が多いのは「羽沢」と「神大寺」である。「利用するつもりはない」については、「松見」、「六角橋」、「三ツ沢」、「菅田」でいずれも6割を超えている。

表 居住地域別 木造耐震診断制度の利用意向

問36 この制度を利用してみたいですか

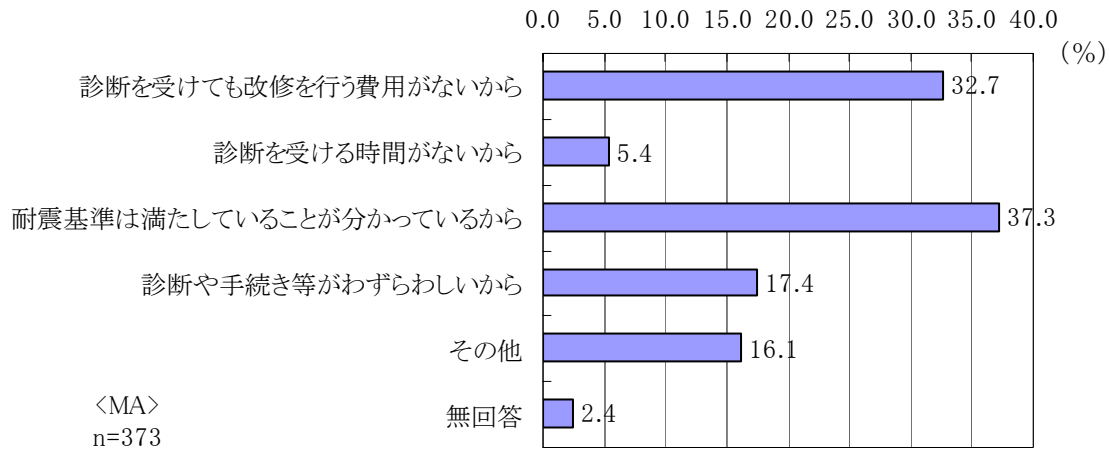
		全体	利用してみたい	利用するつもりはない	無回答
全 体		684	292	373	19
		100.0	42.7	54.5	2.8
F 3	青木	70	42.9	57.1	0.0
居住地域	大口七島	46	45.7	50.0	4.3
	片倉三枚	49	46.9	49.0	4.1
	神奈川幸ヶ谷	28	46.4	53.6	0.0
	神ノ木西寺尾	46	37.0	58.7	4.3
	子安入江	38	42.1	52.6	5.3
	白幡浦島丘	67	44.8	49.3	6.0
	神西神北	55	40.0	56.4	3.6
	神大寺	29	58.6	41.4	0.0
	菅田	53	39.6	60.4	0.0
	羽沢	46	58.7	37.0	4.3
	松見	42	35.7	64.3	0.0
	三ツ沢	61	36.1	60.7	3.3
	六角橋	50	34.0	64.0	2.0
	無回答	4	25.0	75.0	0.0

(4)「木造耐震診断制度」を利用しない理由

問 37 「制度を利用するつもりはない」のはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- ・ 「制度を利用するつもりはない」と回答した 373 人にその理由をきいたところ、「耐震基準は満たしていることが分かっているから」(37.3%)が最も多く、次いで「診断を受けても改修を行う費用がないから」(32.7%)、「診断や手続き等がわずらわしいから」(17.4%)、「その他」(16.1%)、「診断を受ける時間がないから」(5.4%)となっている。

図 制度を利用するつもりはない理由

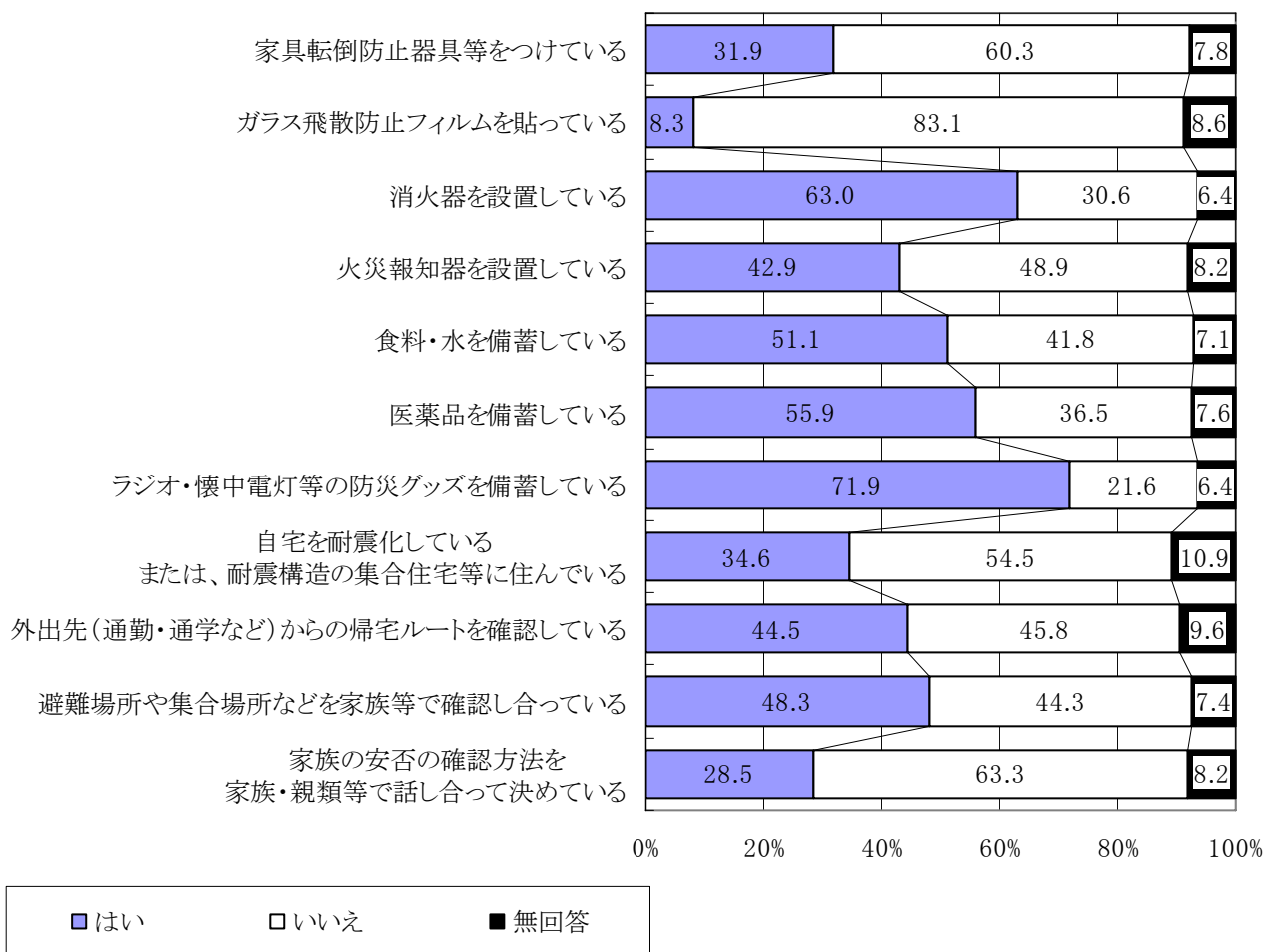


3) 災害時に備えた取り組みについて

問 38 あなたのご自宅では、災害時に備えて以下のことを行っていますか。
 (各項目の1、2のいずれかに○をしてください)

- 各家庭の災害時に向けた取組状況をきいたところ、「はい」の割合が高いのは、「ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」(71.9%)、「消火器を設置している」(63.0%)、「医薬品を備蓄している」(55.9%)、「食料・水を備蓄している」(51.1%)で、この4項目は半数以上が取り組んでいる項目である。
- 次いで、「避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている」(48.3%)、「外出先(通勤・通学など)からの帰宅ルートを確認している」(44.5%)、「火災報知器を設置している」(42.9%)、「自宅を耐震化している、または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる」(34.6%)、「家具転倒防止器具等をつけている」(31.9%)、「家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている」(28.5%)、「ガラス飛散防止フィルムを貼っている」(8.3%)となっている。

図 災害時に備えた取り組みについて



■年齢別 災害時に備えた取り組み(F2×問38)

- 年齢別に取り組み状況をみると、「家具転倒防止器具等をつけている」、「消火器を設置している」、「医薬品を備蓄している」については「65～69歳」で最も高くなっている。「ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」については「70～74歳」で最も高い。「避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている」は「60～64歳」で最も高い。「食料・水を備蓄している」、「家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っていて決めている」は「55～59歳」で最も高い。「ガラス飛散防止フィルムを貼っている」と「火災報知器を設置している」については「35～39歳」が最も高く、「外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している」については「40～44歳」で高い。「自宅を耐震化している、または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる」は「45～49歳」で最も高い。項目によって異なるが、全体的には20代の実施率が低く、高齢者の実施率が高い傾向がみられる。

表 年齢別 災害時に備えた取り組みについて（「はい」の割合、無回答を含む）

問38 ご自宅では、災害時に備えて以下のことを行っていますか

		全体	家具転倒防止器具等をつけている	ガラス飛散防止フィルムを貼っている	消火器を設置している	火災報知器を設置している	食料・水を備蓄している
全 体		1,700	542	141	1,071	729	869
		100.0	31.9	8.3	63.0	42.9	51.1
F 2 年齢	20～24歳	62	17.7	9.7	48.4	48.4	43.5
	25～29歳	115	19.1	6.1	47.8	45.2	37.4
	30～34歳	144	27.8	7.6	53.5	50.7	47.2
	35～39歳	187	34.8	12.8	55.6	57.2	51.3
	40～44歳	165	36.4	8.5	61.8	55.2	57.6
	45～49歳	127	37.0	10.2	66.1	52.8	47.2
	50～54歳	115	33.0	7.0	70.4	46.1	48.7
	55～59歳	174	33.9	8.6	69.5	35.6	60.3
	60～64歳	167	32.3	7.2	70.7	37.1	56.3
	65～69歳	118	44.9	8.5	75.4	36.4	53.4
	70～74歳	119	30.3	8.4	69.7	29.4	55.5
	75歳以上	180	31.7	6.1	70.0	30.0	53.3
無回答	27	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	

		医薬品を備蓄している	ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	自宅を耐震化しているまたは、耐震構造の集合住宅等に住んでいる	外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している	避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている	家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っていて決めている
全 体		951	1,223	589	757	821	485
		55.9	71.9	34.6	44.5	48.3	28.5
F 2 年齢	20～24歳	59.7	54.8	37.1	53.2	41.9	24.2
	25～29歳	54.8	50.4	25.2	50.4	34.8	22.6
	30～34歳	58.3	68.8	31.3	43.1	39.6	27.1
	35～39歳	58.8	68.4	36.4	43.9	44.9	29.4
	40～44歳	58.2	70.9	43.0	53.9	51.5	33.9
	45～49歳	48.0	76.4	48.0	47.2	42.5	22.8
	50～54歳	59.1	73.9	36.5	46.1	48.7	21.7
	55～59歳	54.0	75.9	37.4	46.6	54.6	37.4
	60～64歳	59.3	85.0	31.7	50.3	59.9	29.3
	65～69歳	60.2	81.4	36.4	44.9	57.6	30.5
	70～74歳	58.8	87.4	28.6	37.8	58.8	35.3
	75歳以上	53.9	72.2	30.6	31.7	47.8	26.7
無回答	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	

■居住地域別 災害時に備えた取り組み(F3×問38)

- 居住地域別に取り組み状況を見ると、「家具転倒防止器具等をつけている」、「ガラス飛散防止フィルムを貼っている」、「医薬品を備蓄している」については「片倉三枚」で最も高い。「消火器を設置している」は「松見」で最も高い。「火災報知器を設置している」と「自宅を耐震化している、または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる」は「神奈川幸ヶ谷」で突出して高くなっている。「食料・水を備蓄している」については「松見」と「羽沢」で高く、「ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している」は「松見」と「白幡浦島丘」で高い。「外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している」については「羽沢」で最も高く、「避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている」は「六角橋」で最も高い。「家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている」は「青木」で最も高い。

表 居住地域別 災害時に備えた取り組みについて（「はい」の割合、無回答を含む）

問38 ご自宅では、災害時に備えて以下のことを行っていますか

		全体	家具転倒防止器具等をつけている	ガラス飛散防止フィルムを貼っている	消火器を設置している	火災報知器を設置している	食料・水を備蓄している
全 体		1,700 100.0	542 31.9	141 8.3	1,071 63.0	729 42.9	869 51.1
F 3	青木	168	34.5	9.5	60.7	48.2	56.0
居住地域	大口七島	106	23.6	7.5	63.2	45.3	47.2
	片倉三枚	120	37.5	12.5	58.3	42.5	50.8
	神奈川幸ヶ谷	169	33.1	11.2	67.5	76.3	46.2
	神ノ木西寺尾	130	33.8	6.2	63.1	47.7	47.7
	子安入江	122	26.2	11.5	65.6	52.5	47.5
	白幡浦島丘	121	33.1	8.3	61.2	28.9	59.5
	神西神北	135	31.1	8.9	65.9	43.0	55.6
	神大寺	88	31.8	5.7	47.7	36.4	55.7
	菅田	132	34.1	3.8	68.2	26.5	45.5
	羽沢	83	36.1	7.2	66.3	32.5	61.4
	松見	81	37.0	7.4	77.8	45.7	61.7
	三ツ沢	122	28.7	8.2	63.9	31.1	54.1
	六角橋	89	33.7	6.7	65.2	31.5	44.9
	無回答	34	5.9	2.9	20.6	11.8	8.8

		医薬品を備蓄している	ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	自宅を耐震化しているまたは、耐震構造の集合住宅等に住んでいる	外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している	避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている	家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている
全 体		951 55.9	1,223 71.9	589 34.6	757 44.5	821 48.3	485 28.5
F 3	青木	53.6	74.4	37.5	43.5	47.0	33.3
居住地域	大口七島	55.7	64.2	26.4	47.2	43.4	22.6
	片倉三枚	65.0	78.3	31.7	50.8	49.2	30.8
	神奈川幸ヶ谷	55.0	72.8	64.5	49.1	45.6	32.5
	神ノ木西寺尾	53.8	73.1	37.7	43.1	46.9	30.0
	子安入江	56.6	65.6	43.4	42.6	38.5	23.8
	白幡浦島丘	58.7	81.0	27.3	51.2	49.6	28.1
	神西神北	57.0	68.9	29.6	42.2	50.4	29.6
	神大寺	59.1	72.7	29.5	40.9	55.7	27.3
	菅田	55.3	73.5	26.5	44.7	54.5	28.0
	羽沢	59.0	73.5	26.5	54.2	56.6	32.5
	松見	49.4	81.5	35.8	40.7	45.7	27.2
	三ツ沢	58.2	68.0	29.5	41.0	50.8	30.3
	六角橋	62.9	79.8	29.2	42.7	61.8	25.8
	無回答	8.8	14.7	5.9	5.9	5.9	2.9

〈 参考:横浜市民意識調査との比較 〉

- 横浜市民意識調査（平成 19 年度）の結果と比較すると、一部設問内容は異なるものの、「家具の転倒防止」、「消火器の設置」、「食料や飲料水の準備」、「ラジオ・懐中電灯等の準備」など、全体的に神奈川区の方が実施している家庭の割合が高いことがわかる。

表 災害時に備えた取り組みについて（横浜市民意識調査との比較）

	神奈川区 n=1,700	横浜市 n=3,698
家具転倒防止器具等をつけている	31.9	24.5
ガラス飛散防止フィルムを貼っている	8.3	—
消火器を設置している	63.0	38.6
火災報知器を設置している	42.9	—
食料・水を備蓄している	51.1	39.2
医薬品を備蓄している	55.9	—
ラジオ・懐中電灯等の防災グッズを備蓄している	71.9	56.5
自宅を耐震化している または、耐震構造の集合住宅等に住んでいる	34.6	10.2
外出先（通勤・通学など）からの帰宅ルートを確認している	44.5	—
避難場所や集合場所などを家族等で確認し合っている	48.3	30.3
家族の安否の確認方法を家族・親類等で話し合っている	28.5	20.8

※平成 19 年度横浜市民意識調査の調査項目にないものは「—」で表示している。